南部拠点地区遺跡群No.12

店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書No.12

2022.10

前橋市教育委員会
イケア・ジャパン株式会社
技研コンサル株式会社

南部拠点地区遺跡群No.12

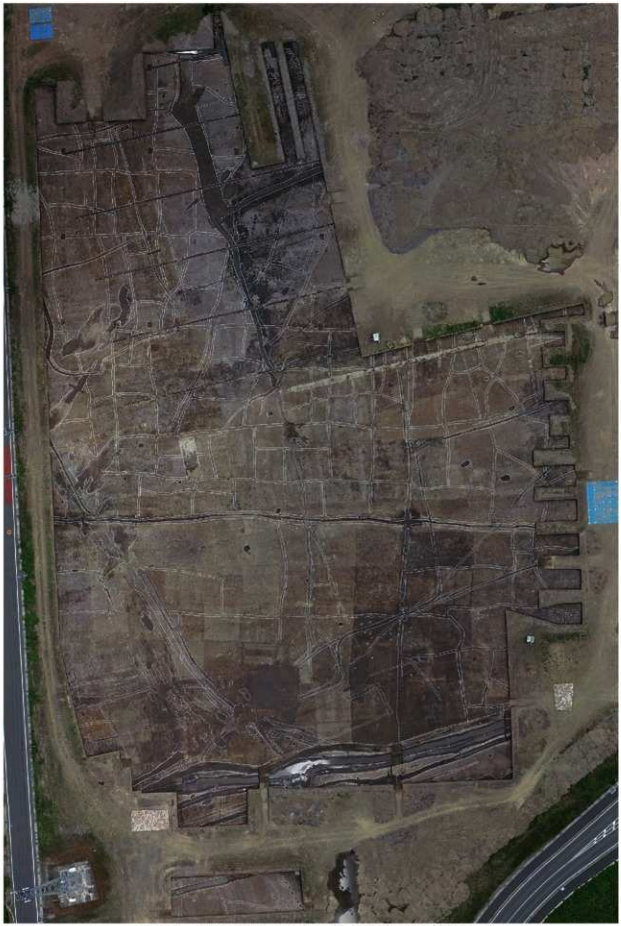
店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書No.12

2022.10

前橋市教育委員会
イケア・ジャパン株式会社
技研コンサル株式会社

A－１・２区１面遠景（南東から）

B－１～４区１面遠景（前方奥に赤城山　南から）



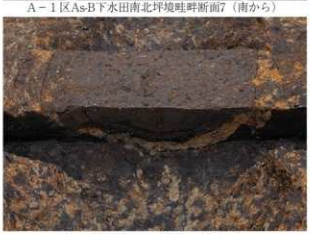
A－1・2区1面全景（上が東　オルソ画像による合成写真）

A－1区As-B下水田南北坪境畦畔全景（南から）

A－1区As-B下水田東西坪境畦畔全景（東から）

B－1～4区1面全景（北が上）

A－1区As-B下水田南北坪境畦畔断面7（南から）



B－1区2面W－19断面5（南から）

B－1区2面全景（南から）

B－1区2面Hr-FA洪水層下水田全景（北から）

B－1区2面W－22・26全景（北東から）

B－1区2面W－23全景（南から）

B－1区2面1号周溝状遺構全景（東から）

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる群馬県の県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始め、市内のいたる所にその息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。律令時代になってからは、総社・元総社地区に山王廃寺、国府、国分僧寺、国分尼寺など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東七名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた前橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地となり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する南部拠点地区遺跡群 No.12 は、本市南部に位置します。この地域は古墳時代以降、水田地帯であったことが知られており、店舗の建設に伴い発掘調査を行いました。今回の調査では、周辺に広がる平安時代の水田跡のほか、低く谷状となる部分からは、これに先駆けた古墳時代の水田跡や、大規模な溝跡が検出されました。長きに亘り、土地の起伏を利用して暮らしを営んだ状況が窺えます。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、開発者であるイケア・ジャパン株式会社をはじめ、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進めることができました。また、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和４年 10 月

前橋市教育委員会

教育長　　吉　川　真　由　美

例　言

1　本書は店舗建設事業に伴う「南部拠点地区遺跡群 No.12（前橋市 0379 遺跡）」（前橋市遺跡コード：３Ｇ76）の発掘調査報告書である。

2　発掘調査から報告書刊行に至るまでの一連の作業は、イケア・ジャパン株式会社の費用負担によって実施された。

3　遺跡の発掘調査および整理事業は、イケア・ジャパン株式会社から委託を受けた技研コンサル株式会社が、前橋市教育委員会事務局文化財保護課の監理指導のもと実施した。

4　発掘調査および整理事業の体制は下記のとおりである。

遺跡名	南部拠点地区遺跡群 No.12（前橋市 0379 遺跡）
遺跡所在地	群馬県前橋市亀里町 2008
監理指導	並木史一（前橋市教育委員会）
調査担当	前田和昭　茂木佑輔（技研コンサル株式会社）
調査員	岡野　茂　佐野一未　曽根　裕　松村春樹（技研コンサル株式会社）
発掘調査期間	令和４年３月 18 日～６月 29 日
整理事業期間	令和４年６月 30 日～ 10 月 31 日
調査面積	18,011 ㎡

発掘調査参加者および整理作業参加者は次のとおりである。

大川明子　佐野良平（技研コンサル株式会社）

青木美好　青山純二　秋山　修　浅香孝子　畔見恒夫　新井一史　荒井滋道　新井　實　新井友己　安藤三枝子　池田正恵　石川承子　石原　修　市川嘉久　稲田　實　今井志郎　上沢公一　梅島邦一　宇貫美代子　江田則男　江原正良　太田英明　太田文江　大澤孝雄　大竹　努　大谷真由美　岡　眞　岡田　功　岡田秀夫　岡田美恵子　岡部四郎　岡本陽一　小川希望　小川春花　小川汐音　荻原一行　小楠和也　小澤宏之　小田切幹緒　鬼形俊雄　小野田勝実　加藤智恵子　金井美由紀　金子択生　鎌田　昇　鴨田榮作　川野京子　菊田武明　木暮朱実　北爪二郎　北野進二　北原広志　黒崎香織　黒沢日出夫　小内武明　木暮知二　小関泰洋　児玉慶治　後藤次雄　小林　平　小林　和　小舘淳一　小山　勉　近藤益美　佐藤興雄　佐藤之勇　佐藤秀幸　佐藤文江　澤崎春希　白砂福造　新開昌代　杉田友香　鈴木邦穂　須田藍士　諏訪典子　関根信子　曽根良美　髙瀬京子　高津邦道　高橋　徹　立川千栄子　田代京子　田代光男　田所順子　田中克悦　田村道文　千野根俊男　塚越　昇　土屋和美　土屋利治　角田拓弥　富岡信行　富岡　恵　中沢孝夫　中嶋知恵子　野本由紀夫　萩原　薫　萩原正夫　羽鳥　智　羽鳥眞臣　馬場陽典　平井国栄　平澤小夜子　福田邦弘　星野　博　星野正也　星野陽子　細井美佐子　細野竹美　本田勝彦　松下　明　松本兼太郎　松本幸男　宮澤秀昭　宮島　誠　武者　勉　村田稔男　矢島正志　山口拓郎　山田　進　横堀久子　吉浦英和　吉田豊文　六本木和幸

5　本書の編集は茂木が行い、原稿執筆はⅠを並木が、他を茂木が行なった。

6　発掘調査で出土した遺物および図面等の資料は、一括して前橋市教育委員会で保管されている。

7　下記の機関に御指導・御協力を賜りました。記して謝意を表します。

山下工業株式会社

凡　例

1　本遺跡におけるグリッドの座標値は国家座標（座標第Ⅸ系：世界測地系）を使用した。方位北は座標北を示す。また、従来通りに遺跡毎の任意座標は『南部拠点地区遺跡群 No. 1』で設定されたX＝0（Y＝－ 67,400）、Y＝0（X＝ 37,300）を使用した。なお、調査区位置図および調査区毎の遺構全体図においては国家座標・任意座標を併記したが、個別平面図および遺構計測表においては、今回調査対象となった遺構が調査区外の広範囲にも同一面として検出される水田跡という特性を鑑み、共通の数値となる国家座標の表記を優先させた。

2　挿図に国土地理院発行1/200,000『宇都宮』『長野』、1/25,000『前橋』『高崎』、前橋市発行1/2,500都市計画図、群馬県耕地課作成前橋南部地形図1/2,500（昭和40年）を使用した。

3　写真図版に国土画像情報（空中写真）、USA-R1250-38（1948年撮影）を編集して使用し、表紙の写真はCKT20203-C1-13・14・15、CKT20203-C2-13・14・15、CKT20203-C3-13・14・15（2020年以降撮影）を合成・編集して使用した。

4　土層および遺物の色調は『新版標準土色帖』（農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修）に拠る。

5　遺構表示の記号は、溝：W、土坑：D、道路状遺構：Aとした。

6　遺構・遺物実測図の縮尺は原則的に次のとおりである。その他各図スケールを参照されたい。
遺構　溝・土坑・道路状遺構・・・1/60、1/100　全体図1/100、1/150、1/200
遺物　土器・・・1/3、1/4　銅製品・・・1/2　木製品・・・1/3

7　本文および表中の計測値については（　）は残存値を、〔　〕は復元値を表す。

8　遺構図のトーン表現は以下の通りである。
掘削面下： 　降下火山灰一次堆積層： 　降下火山灰混入洪水層：
水田畦畔：

9　主な火山灰降下物等の略称と年代は次の通りである。
浅間A軽石（As-A）・天明3年（1783）浅間山噴火による降下テフラ
浅間B軽石（As-B）・天仁元年（1108）浅間山噴火による降下テフラ
榛名二ッ岳伊香保テフラ（Hr-FP）・6世紀中葉の榛名山二ッ岳噴火による降下テフラ
榛名二ッ岳渋川テフラ（Hr-FA）・6世紀初頭の榛名山二ッ岳噴火による降下テフラ
浅間C軽石（As-C）・3世紀後葉～4世紀初頭の浅間山噴火による降下テフラ

目　次

巻頭図版

はじめに

例言・凡例

Ⅰ　調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ　遺跡の位置と環境 …… 2

1　地理的環境

2　歴史的環境

Ⅲ　調査の方法と経過 …… 6

1　調査範囲と基本方針

2　調査経過

Ⅳ　基本層序 …… 8

Ⅴ　検出された遺構と遺物

1　第１面

（１）調査の概要 …… 10

（２）平安時代末期以降 …… 11

（３）As-B下 …… 30

2　第２面

（１）調査の概要 …… 81

（２）古墳時代後期～平安時代 …… 81

（３）Hr-FA洪水層下 …… 83

（４）古墳時代前期 …… 86

3　第３面

（１）調査の概要 …… 99

Ⅵ　発掘調査の成果と課題 …… 101

挿図目次

Fig.1　前橋の地形

Fig.2　遺跡の位置 …… 1

Fig.3　周辺遺跡図 …… 3

Fig.4　調査区位置図 …… 7

Fig.5　基本層序 …… 8

Fig.6　A－1・2区１面全体図 …… 9

Fig.7　A－3区、B－1～4区１面全体図 …… 10

Fig.8　A－1区１面全体図（1） …… 41

Fig.9　A－1区１面全体図（2） …… 42

Fig.10　A－1区１面全体図（3） …… 43

Fig.11　A－1区１面全体図（4） …… 44

Fig.12　A－1区１面全体図（5） …… 45

Fig.13　A－1区１面全体図（6） …… 46

Fig.14　A－1区１面全体図（7） …… 47

Fig.15　A－1区１面全体図（8） …… 48

Fig.16　A－1区１面全体図（9） …… 49

Fig.17　A－1区１面全体図（10） …… 50

Fig.18　A－1区１面全体図（11） …… 51

Fig.19　A－1区１面全体図（12） …… 52

Fig.20　A－1区１面全体図（13） …… 53

Fig.21　A－1区１面全体図（14） …… 54

Fig.22　A－2区１面全体図 …… 55

Fig.23　A－3区１面全体図 …… 56

Fig.24　A区１面平安時代末期以降の溝（1） …… 57

Fig.25　A区１面平安時代末期以降の溝（2） …… 58

Fig.26　A区１面平安時代末期以降の溝（3） …… 59

Fig.27　A区１面平安時代末期以降の溝（4） …… 60

Fig.28　A区１面平安時代末期以降の溝（5）、１面崖地（1） …… 61

Fig.29　A区１面崖地（2） …… 62

Fig.30　A区１面崖地（3）A－2区西壁、１面道路状遺構 …… 63

Fig.31　A区１面土坑（1） …… 64

Fig.32　A区１面土坑（2） …… 65

Fig.33　A区１面土坑（3） …… 66

Fig.34　A区１面土坑（4） …… 67

Fig.35　A区１面土坑（5） …… 68

Fig.36　A区１面土坑（6） …… 69

Fig.37　A区１面土坑（7） …… 70

Fig.38　A区As-B下水田畦畔（1） …… 71

Fig.39　A区As-B下水田畦畔（2） …… 72

Fig.40　A区As-B下水田畦畔（3）・水口・溝（W－43・87・88） …… 73

Fig.41　B－1区１面全体図（1） …… 74

Fig.42　B－1区１面全体図（2） …… 75

Fig.43　B－2区1面全体図 …… 76
Fig.44　B－3・4区1面全体図 …… 77
Fig.45　B区As-B下水田畦畔、1面溝（1） …… 78
Fig.46　B区1面溝（2）、1面窪地（1） …… 79
Fig.47　B区1面窪地（2）、1面土坑 …… 80
Fig.48　1面出土遺物 …… 80
Fig.49　A－1区2面全体図 …… 87
Fig.50　A－1区2面溝 …… 88
Fig.51　A－1区2面確認トレンチ …… 89
Fig.52　B－1区2面全体図（1） …… 90
Fig.53　B－1区2面全体図（2） …… 91
Fig.54　B－1区2面溝（1） …… 92
Fig.55　B－1区2面溝（2）、2面土坑 …… 93
Fig.56　B－1区Hr-FA洪水層下水田（1） …… 94
Fig.57　B－1区Hr-FA洪水層下水田（2） …… 95
Fig.58　B－1区2面因溝状遺構 …… 96
Fig.59　B－2～4区2面全体図・確認トレンチ・土坑 …… 97
Fig.60　2面出土遺物（1） …… 98
Fig.61　2面出土遺物（2） …… 99
Fig.62　B－1区3面全体図・窪地 …… 100
Fig.63　Hr-FA洪水層下水田取配水の方向 …… 102
Fig.64　前橋台地南部地域のAs-B下水田 …… 104

表目次

Tab.1　周辺遺跡一覧 …… 4
Tab.2　1面土坑計測表 …… 34
Tab.3　As-B下水田計測表 …… 38
Tab.4　1面出土遺物観察表 …… 80
Tab.5　Hr-FA洪水層下水田計測表 …… 86
Tab.6　2面出土遺物観察表 …… 99

写真図版目次

PL.1　A－2区1面全景（上が西）
A－3区1面全景（北西から）
PL.2　A－1区W－1・93号溝（北西部分）全景（南西から）
A－1区W－2号溝全景（南西から）
A－1区W－3・6・20号溝、工具痕全景（南から）
A－1区W－5号溝全景（南から）
A－1区W－8号溝全景（東から）
A－1区W－9号溝全景（北東から）
A－1区W－10号溝全景（東から）
A－1区W－11号溝全景（北から）
PL.3　A－1区西端溝群全景（上が西）
A－1区W－14号溝全景（北から）
A－1区W－15号溝木杭列検出状況（南から）
A－1区W－15～17・19号溝全景（南から）
A－1区W－15～17・19号溝全景（北から）
PL.4　A－1区W－16～19・89・90号溝全景（北から）
A－1区W－20号溝全景（南から）
A－1区W－21・30号溝全景（東から）
A－1区W－21・35号溝全景（北西から）
A－1区W－26・27号溝全景（南西から）
A－1区W－34号溝全景（南東から）
A－1区W－34・46号溝全景（北西から）
A－1区W－37～39号溝全景（南西から）
PL.5　A－1区W－33・44号溝全景（上が北）
A－1区W－42・53号溝全景（南から）
A－1区W－45号溝全景（南東から）
A－1区W－48・49号溝全景（南東から）
A－1区W－51号溝全景（南から）
PL.6　A－1区W－56号溝全景（南東から）
A－1区W－57・58号溝、8号窪地全景（北から）
A－1区W－59～61号溝、7号窪地全景（北から）
A－1区W－65号溝全景（西から）
A－1区W－72号溝全景（東から）
A－2区W－73号溝全景（南から）
A－1区W－75号溝全景（南西から）
A－1区W－77～79号溝全景（北から）
PL.7　A－3区W－96～99号溝全景（南東から）
A－1区1号窪地全景（東から）
A－1区2号窪地全景（北東から）
A－1区4号窪地全景（南西から）
A－1区5号窪地全景（北西から）
A－1区6・10号窪地全景（東から）
A－1区11号窪地全景（西から）
A－1区12号窪地全景（南東から）
PL.8　A－1区13号窪地断面223（南東から）
A－1区13号窪地全景（南東から）
A－1区14号窪地全景（南東から）
A－1区A－1号道路状遺構全景（南西から）
A－1区D－93号土坑全景（東から）
A－1区D－210号土坑礫検出状況（東から）
A－2区D－230～236・238号土坑全景（北東から）
A－2区D－238号土坑断面（南東から）
PL.9　A－1区As-B下水田南北坪境畦畔周辺全景（南から）
A－1区As-B下水田南北坪境畦畔断面8（南から）
A－1区As-B下水田南北坪境畦畔断面41（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面72～75）全景（南から）
A－1区As-B下水田水口（断面76）全景（南から）
PL.10　A－1区As-B下水田水口（断面77～79）全景（南から）
A－1区As-B下水田水口（断面80）全景（南から）
A－1区As-B下水田水口（断面81）全景（南から）
A－1区As-B下水田水口（断面82）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面83）全景（南から）
A－1区As-B下水田水口（断面84）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面85）全景（北から）
A－1区As-B下水田水口（断面86）全景（南から）
PL.11　A－1区As-B下水田水口（断面87）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面88）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面89）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面90）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面91）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面92）全景（北西から）
A－1区As-B下水田水口（断面93）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面94）全景（南から）

PL.12　A－1区As-B下水田水口（断面95）全景（北西から）
A－1区As-B下水田水口（断面96）全景（北西から）
A－1区As-B下水田水口（断面97）全景（西から）
A－1区As-B下水田水口（断面98）全景（北西から）
A－1区As-B下水田水口（断面99）全景（南東から）
A－1区As-B下水田水口（断面100）全景（南から）
A－1区北東As-B下水田置石検出状況（南から）
A－1区W－43号溝全景（北西から）
PL.13　A－1区W－88号溝全景（南から）
A－1区W－22号溝全景（南から）
A－1区W－71号溝全景（南西から）
A－1区W－94・95号溝全景（北から）
A－1区8号トレンチ断面（南から）
A－1区9号トレンチ断面（南から）
A－1区9号トレンチ全景（西から）
A－1区作業風景（東から）
PL.14　B－1区1面全景（上が北）
B－1区2面全景（上が北）
PL.15　B－2区1面全景（上が北）
B－3区1面全景（上が西）
PL.16　B－4区1面全景（上が北）
B－4区W－1号溝全景（北から）
B－3区W－2・5号溝全景（西から）
B－3区W－3・4号溝全景（西から）
B－2区W－6号溝全景（西から）

PL.17　B－2区W－9号溝全景（北東から）
B－1区W－15号溝全景（東から）
B－1区2号窪地全景（北西から）
B－1区3・4号窪地全景（北から）
B－1区5号窪地全景（北西から）
B－1区6号窪地全景（北から）
B－1区As-B下水田東西坪境畦畔・W－4号溝全景（西から）
B－4区As-B下水田東西坪境畦畔・W－4号溝全景（西から）
PL.18　B－1区As-B下水田畦畔断面7（東から）
B－2区W－8溝全景（東から）
B－1区W－13号溝全景（北から）
B－1区W－14号溝全景（北から）
B－1区1号窪地全景（北東から）
B－1区W－17号溝全景（北から）
B－1区W－17・19・24・25・30号溝全景（南から）
B－1区W－18号溝全景（北から）
PL.19　B－1区W－18・21号溝全景（南から）
B－1区W－20号溝全景（南から）
B－1区W－22号溝断面8（西から）
B－1区W－27号溝全景（南から）
B－1区W－28号溝全景（南から）
B－1区W－29号溝全景（東から）
B－3区D－3号土坑（西から）
B－1区D－5号土坑全景（東から）
PL.20　B－1区D－6号土坑全景（西から）
B－3区2面確認トレンチ全景（南から）

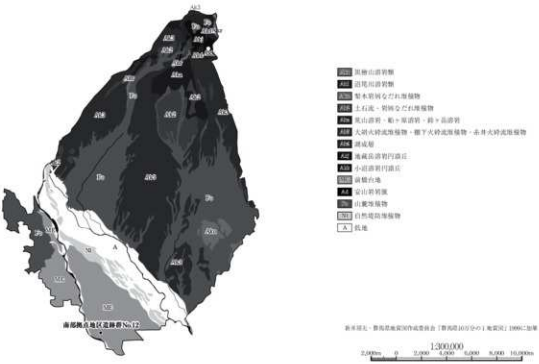


Fig. 1　前橋の地形

Ⅰ　調査に至る経緯

令和３年４月、亀里町における店舗建設を目的とした埋蔵文化財の取扱いについて前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）へ照会があった。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地「前橋市 0379 遺跡」内であるため、文化財保護法第 93 条第１項の届出を提出する必要がある旨を、開発事業者であるイケア・ジャパン株式会社（以下「開発者」という。）の代理人へ回答した。また、当該地は、区画整理事業に伴って平成 25 年に確認調査を実施しており、浅間Ｂ軽石で覆われた水田跡が確認されているため、工事により遺構が保護できない場合は、工事着手前に発掘調査を要する旨を説明した。この後、数度の協議を経て、記録保存を目的とした発掘調査を実施することで合意に至り、工事内容が確定した令和３年 11 月 22 日、開発者から文化財保護法第 93 条第１項の届出が提出された。

発掘調査の実施にあたり、市教委は他の直営調査を実施中で、本開発に係る直営での調査実施は困難であるため、「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要綱」に則り、市教委の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下、民間調査組織による発掘調査とした。令和４年３月９日付けで開発者と民間調査組織である技研コンサル株式会社の間で業務委託の契約が締結されるとともに、両者に市教委を加えた三者で協定を締結し、発掘調査に着手した。

なお、遺跡名称「南部拠点地区遺跡群 No.12」（遺跡コード：3G76）の「南部拠点地区」は区画整理事業名、数字の「No.12」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

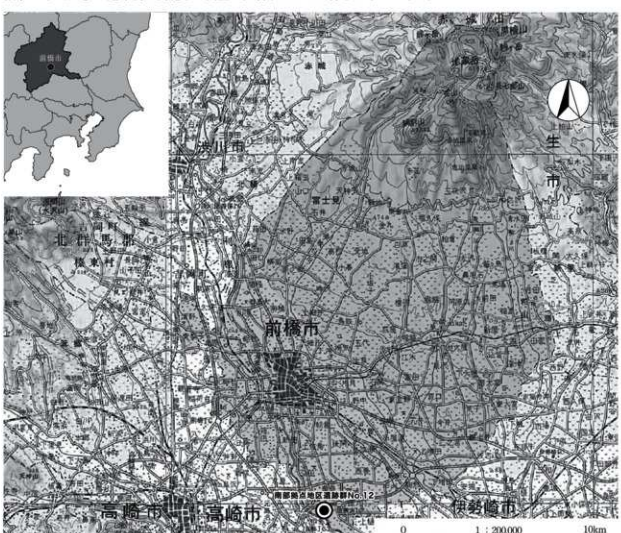


Fig. 2　遺跡の位置

Ⅱ　遺跡の位置と環境

1　地理的環境

南部拠点地区遺跡群 No.12 は群馬県前橋市亀里町地内に所在し、JR 前橋駅から南南東に約 6 km、前橋南 IC から西におよそ 700m の場所に位置する。遺跡の北側は北関東自動車道が東西方向に走行し、西・南西側は住宅街、東・南東側はショッピングモールに囲まれている。以前遺跡地周辺は水田地帯であったが、現在は宅地や商業施設が増加し、農地は後退している。本遺跡は、前橋台地上の後背湿地に位置する。前橋台地は、約 24,000 年前の浅間山の山体崩壊によって利根川を流下してきた火山泥流堆積物（前橋泥流堆積物）が基となっている。泥流堆積後、小河川による浸食・堆積作用を受ける。その後河川の流路は安定し、現在は微高地と後背湿地の入り組んだ地形となっている。遺跡地周辺の河川を見ると、西と南側は利根川が南・南東方向に、東側は端気川が南東方向に流下している。利根川は以前広瀬川低地帯を流れていた（旧利根川）が、応永あるいは天文年間に現在の流路へ変わったと考えられている。端気川は、元々自然の流路であったものを旧利根川から取水するように改修されており、この改修は古代に始まったと考えられている。

2　歴史的環境

縄文・弥生時代　公田池尻遺跡（12）、西田Ⅲ遺跡（28）、徳丸仲田遺跡（36）、砂町遺跡（46）では草創期の有舌尖頭器が確認されている。また、前橋南 IC が建設された村中遺跡（24）、西田遺跡（26）では、中期から後期の土器が出土しており、近辺に集落が存在したと推定されている。台地東部では、広瀬川沿いの微高地に位置する山王若宮Ⅴ遺跡で縄文中期の住居跡が 1 軒確認されている。弥生時代では、徳丸高堰遺跡（34）で溝・土坑・ピットが確認されている。全体としては、前橋台地における古墳時代より以前の遺跡の確認事例は少ない。

古墳時代　古墳時代に入ると遺跡数は急増する。本遺跡周辺においても、S 字甕を代表とする東海西部系や、東海東部、南関東系や北陸系などの土器が出土している。南部拠点地区遺跡群 No.10・11（2）、横手早稲田遺跡（18）、横手湯田遺跡（23）、中内村前遺跡では周溝を持つ建物跡が確認されており、この時期は住居形態も移入されている。住居跡は他に公田池尻遺跡、徳丸仲田遺跡、西善尻司遺跡（37）で確認されている。また低地の開発が進み、上滝榎町北遺跡（42）で As-C 下水田跡が、公田池尻遺跡、村中遺跡、西田遺跡、徳丸仲田遺跡で As-C を耕作土に含む水田跡が確認されている。また、用水路と推定される 4 世紀後半の大溝が徳丸仲田遺跡、砂町遺跡で確認されている。首長墓は広瀬川沿いの微高地上に築造されており、4 世紀初頭～前半の八幡山古墳、前橋天神山古墳がある。また、本遺跡から南西に約 2 km 離れた場所には 4 世紀初頭の元島名将軍塚古墳（全長 96m、前方後方墳）がある。群馬県内で最も初期段階の古墳と想定されており、四獣鏡や石釧が出土している。その他、公田東遺跡（11）とその北側の柵島川端遺跡では前期の周溝墓が 10 基確認されており、鳥形土製品が 1 点出土している。後期に入るとより遺跡数が増加する。下佐鳥遺跡（7）、朝倉工業団地遺跡群（8）、川曲遺跡（9）、公田東遺跡、公田池尻遺跡で住居跡が確認されている。生産遺跡としては、南部拠点地区遺跡群 No. 1・4・5・11、公田東遺跡、公田池尻遺跡、亀里平塚遺跡（13）、横手宮田遺跡（15）、横手早稲田遺跡（18）、横手南川端遺跡（22）、横手湯田遺跡、西田遺跡、徳丸仲田遺跡、西善尺司遺跡、下阿内壱町畑（38）、西横手遺跡群（40）、上滝榎町北遺跡、上滝五反畑遺跡（43）で Hr-FA 下水田が確認されている。その内、横手宮田遺跡、横手早稲田遺跡、横手湯田遺跡では Hr-FP 下水田も確認されている。古墳は 6 世紀初頭の亀塚山古墳（a）、6 世紀後半の山王金冠塚古墳（b）がある。現在の文京町、朝倉町、広瀬町、山王町、東善町の前橋台地では、前橋八幡山・天神山古墳をはじめとして、前期から後期まで継続して古墳が築造されている。

奈良・平安時代　前橋市元総社町付近に造営された国府と、郡ごとに置かれた郡衙を中心に、律令制に基づく統一的な国づくりが進められた。前橋台地上においても、条里型地割に基づいた水田開発が行われた。水田開発の

Fig.3　周辺遺跡図

最初の施工時期は明らかではないが、前橋市内の中原遺跡群では弘仁９（818）年の地震による土石流に埋没した条里型地割の水田が検出されている。また、西田遺跡では As-B 下水田の下から９世紀後半の住居跡が確認されている。したがって、遅くとも９世紀代には条里型水田の開発が行われたと考えられる。また、弘仁９年の地震の痕跡としては、南部拠点地区遺跡群 No. 4・上滝榎町北遺跡で噴砂が確認されている。

平安時代末期の 1108 年には浅間山が大噴火を起こし、群馬県内に大量のテフラ（As-B）を降らせた。県内の発掘調査で As-B に埋没した水田が多数確認されており、広範囲に大きな被害をもたらしたことが分かっている。As-B 下水田が確認された遺跡は、上佐鳥中原前遺跡（６）・公田東遺跡・公田池尻遺跡・亀里平塚遺跡・亀里銭面遺跡（19）・亀里油免Ⅱ遺跡（20）・鶴光路練引遺跡（21）・村中遺跡・西田遺跡・徳丸仲田遺跡・下阿内亳町畑遺跡等、数多く確認されている。この時期には、前橋台地上に水田地帯が広範囲に広がっていたと考えら

れる。水田の復旧に伴う痕跡は、公田東遺跡・公田池尻遺跡・中内村前遺跡で上層の As-B を掻き込んだ無数の半円形の掘削痕が As-B 下水田面に検出されている。また、本遺跡北側の横手湯田遺跡では、中世の洪水層直下から、概ね As-B 下水田畦畔を踏襲した水田が検出されている。このような大規模災害が起きた平安時代末頃はすでに中央集権的な律令体制は崩壊しており、土地開発は国ではなく在地勢力が主体となって各地に多くの荘園を形成するようになる。この時代の集落は朝倉工業団地遺跡群・公田東遺跡・西田Ⅱ遺跡（27）・西田Ⅵ遺跡（31）・鶴光路梵橋遺跡（32）・鶴光路梵橋Ⅱ遺跡（33）・徳丸仲田遺跡・西善尺司遺跡・西横手遺跡群・柄田添遺跡（45）で確認されている。

中近世　本遺跡周辺では多くの城館や環濠遺構群が確認されている。周辺の城館は、宿阿内城・阿内古城・力丸城・新堀城がある。また、中世の居館に関する遺構が公田東遺跡、公田池尻遺跡、横手湯田遺跡、徳丸高堰遺跡、徳丸仲田遺跡、西善尺司遺跡、西横手遺跡群、上滝穂町北遺跡で確認されている。天明３年（1783 年）には、浅間山の噴火によって浅間Ａ軽石（As-A）が広域に降下した。横手宮田遺跡（15）、横手早稲田遺跡、横手湯田遺跡、下阿内壱町畑遺跡、下阿内前田遺跡（39）、宿横手三波川遺跡（41）では As-A を地中に埋めて処理した土坑や溝が多数確認されている。

Tab. 1　周辺遺跡一覧

番号	遺跡名	遺跡の概要	報告書・参考文献
1	南部拠点地区遺跡群 No.12	本遺跡	本報告書
2	南部拠点地区遺跡群 No.1 ～ 11	古墳時代：周溝状遺構、井戸、溝、Hr-FA 下水田。奈良・平安時代：溝。As-B 下水田、中世：環濠遺構。	2009『南部拠点地区遺跡群 No. 1』『南部拠点地区遺跡群 No. 2』、2010『南部拠点地区遺跡群 No. 3』前橋市埋蔵文化財発掘調査団。2010『南部拠点地区遺跡群 No. 4』『南部拠点地区遺跡群 No. 5』、2011『南部拠点地区遺跡群 No. 6』2014『南部拠点地区遺跡群 No. 7』『南部拠点地区遺跡群 No. 8』『南部拠点地区遺跡群 No. 9』『南部拠点地区遺跡群 No.10』『南部拠点地区遺跡群 No.11』
3	沼丸塚町遺跡	古墳時代：中期住居跡。奈良・平安時代：住居跡、溝。	2010『沼丸塚町遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
4	西善福蔵遺跡	平安時代：As-B 下水田、中近世：大溝。	2021『西善福蔵遺跡』前橋市教育委員会
5	西善鍛冶屋遺跡	平安時代：住居跡、掘立柱建物跡、溝、土坑。	1996『西善鍛冶屋遺跡』西善鍛冶遺跡調査会
6	上佐鳥中原前遺跡・上佐鳥中原前Ⅱ遺跡・上佐鳥中原前Ⅲ遺跡	平安時代：As-B 下水田。	1998『上佐鳥中原前遺跡』、2004『上佐鳥中原前Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団、2013『上佐鳥中原前Ⅲ遺跡』前橋市教育委員会
7	下佐鳥遺跡	古墳時代後期の住居跡。	1982『須賀野遺跡・下佐鳥遺跡・宿内西城跡』群馬県教育委員会
8	朝倉工業団地遺跡群 No.1 ～ 7	古墳時代：後期住居跡。Hr-FA 下・Hr-FP 下水田。平安時代：住居跡、As-B 下水田。中世：溝。近代：幾条溝。	2011『朝倉工業団地埋蔵文化財確認調査報告書』-2012『朝倉工業団地遺跡群』『朝倉工業団地遺跡群 No. 3』-2013『朝倉工業団地遺跡群 No. 2』『朝倉工業団地遺跡群 No. 4』『朝倉工業団地遺跡群 No. 5』『朝倉工業団地遺跡群 No. 6』-2015『朝倉工業団地遺跡群 No. 7』前橋市教育委員会
9	川曲遺跡	古墳時代：後期住居跡。	1982『川曲遺跡・東公田古墳』群馬県教育委員会
10	東田遺跡	古墳時代：前期の遺物出土。	1998『東田遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
11	公田東遺跡	古墳時代：前期周溝墓より箱型土製品、後期住居跡・Hr-FA 下水田。奈良・平安時代：住居跡・掘立柱建物・As-B 下水田。中世：居館。	1997『勝呂川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
12	公田池尻遺跡	縄文時代：有舌尖頭器。古墳時代：AsC 混土下水田・Hr-FA 下水田。古墳時代：前期・後期住居跡。平安時代：住居跡、掘立柱建物、As-B 下水田。中世：居館。	
13	亀里平塚遺跡	古墳時代：Hr-FA 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：洪水層下水田。近世：土坑墓。	2001『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
14	宮地中田遺跡	平安時代：As-B 下水田。	1997『宮地中田遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
15	横手宮田遺跡	古墳時代：Hr-FA 下水田・Hr-FP 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：洪水層下水田。近世：As-A 復旧畑。	2001『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
16	横手宮田遺跡Ⅱ	平安時代：As-B 下水田。	2004『横手宮田Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
17	井戸南遺跡	古墳時代：Hr-FA 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：洪水層下水田。区画。近世：畠・As-A 復旧土坑群。	2001『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
18	横手早稲田遺跡	古墳時代：住居跡、Hr-FA 下・Hr-FP 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：洪水層下水田。近世：畠・As-A 復旧土坑群。	2001『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
19	亀里鎮座遺跡・亀里鎮座Ⅱ遺跡	平安時代：As-B 下水田。中近世：掘立柱建物跡、井戸、土坑、溝	2001『亀里鎮座遺跡』『亀里鎮座Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
20	亀里前先Ⅱ遺跡	平安時代：As-B 下水田。中世：溝。	2005『亀里前先Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
21	鶴光路梵引遺跡	平安時代 As-B 下水田。	1997『鶴光路梵引遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
22	横手南川端遺跡	古墳時代：住居跡、祭祀跡、井戸、Hr-FA 下水田。平安時代：As-B 下水田。溝。中近世：浅底下水田、屋敷跡、灰溜３穴	2001『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
23	横手湯田遺跡・横手湯田Ⅱ遺跡・横手湯田Ⅲ遺跡・横手湯田Ⅳ遺跡・横手湯田Ⅵ遺跡	古墳時代：前期周溝墓、住居跡、Hr-FA 下・Hr-FP 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：洪水層下水田。居館。近世：畑畝屋敷、As-A 復旧土坑群。	2002『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団。1966『横手湯田Ⅱ遺跡・西田Ⅱ遺跡』『横手湯田Ⅲ遺跡・徳丸仲田Ⅱ遺跡・西善尺司Ⅱ遺跡・下堀田越渕Ⅲ遺跡』『横手湯田Ⅳ遺跡』・2001『横手湯田Ⅴ遺跡・徳丸仲田Ⅳ遺跡』・2000『横手湯田Ⅵ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
24	村中遺跡	古墳時代：AsC 混土下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：居館。近世：屋敷、土坑墓。	2002『西田遺跡・村中遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

番号	遺跡名	遺跡の概要	報告書・参考文献
25	村中Ⅱ遺跡	平安時代：溝、土坑。	2001「村中Ⅱ遺跡・西田Ⅴ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
26	西田遺跡	古墳時代：As-C 混土下水田、Hr-FA 下水田。平安時代：後期住居跡、As-B 下水田。江戸時代：土坑墓。	2002「西田遺跡・村中遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
27	西田Ⅱ遺跡	平安時代：As-B 下水田、後期住居跡。	1998「横手湯田Ⅱ遺跡・西田Ⅱ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
28	西田Ⅲ遺跡	縄文時代：草創期有舌尖頭器。古墳時代：溝、土坑。平安時代：As-B 下水田、掘立柱建物。中近世：溝。	1999「西田Ⅲ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
29	西田遺跡・西田Ⅳ遺跡	平安時代：As-B 下水田。中近世：溝。	1999「西田Ⅳ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
30	西田Ⅴ遺跡	平安時代：溝、土坑。	2001「村中Ⅱ遺跡・西田Ⅴ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
31	西田Ⅵ遺跡	平安時代：As-B 下水田、住居跡、溝。中近世：溝。	2001「西田Ⅵ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
32	鶴光路榎橋遺跡	平安時代：住居跡、掘立柱建物、As-B 下水田。中近世：中世居館、掘立柱建物。	2002「鶴光路榎橋遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
33	鶴光路榎橋Ⅱ遺跡	平安時代：住居跡、溝。中近世：土坑、溝。	2000「鶴光路榎橋Ⅱ遺跡・徳丸高堀Ⅲ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
34	徳丸高堀遺跡・徳丸高堀Ⅱ遺跡	弥生以前：溝、土坑、ピット。古墳時代：前期遺物。平安時代：As-B 下水田。中世：居館、溝、土坑。	1999「徳丸高堀Ⅱ遺跡・徳丸仲田Ⅲ遺跡・西善尺司Ⅲ遺跡・下増田常木Ⅱ遺跡・下増田越渡Ⅳ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団、2005「徳丸高堀遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
35	徳丸高堀Ⅲ遺跡・徳丸高堀Ⅳ遺跡	平安時代：住居跡、溝。中近世：溝	2000「鶴光路榎橋Ⅱ遺跡・徳丸高堀Ⅲ遺跡」「徳丸高堀Ⅳ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
36	徳丸仲田遺跡・徳丸仲田Ⅱ遺跡・徳丸仲田Ⅲ遺跡・徳丸仲田Ⅳ遺跡	縄文時代：草創期隆起線文土器・有舌尖頭器。古墳時代：前期・後期住居跡、As-C 混土下水田・水路、Hr-FA 下水田。平安時代：住居跡、掘立柱建物、As-B 下水田。中世：居館。	2001「徳丸仲田遺跡（1）」・2003「徳丸仲田遺跡（2）」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団、1998「横手湯田Ⅲ遺跡・徳丸仲田Ⅱ遺跡・西善尺司Ⅱ遺跡・下増田越渡Ⅲ遺跡」・1999「徳丸高堀Ⅱ遺跡・徳丸仲田Ⅲ遺跡・西善尺司Ⅲ遺跡・下増田常木Ⅱ遺跡・下増田越渡Ⅳ遺跡」・2001「横手湯田Ⅴ遺跡・徳丸仲田Ⅳ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
37	西善尺司遺跡・西善尺司Ⅱ遺跡	縄文時代：石器ブロック。古墳時代：前期周溝墓、後期 Hr-FA 下水田。奈良・平安時代：住居跡、As-B 下水田。中世：居館、火葬墓。	2001「西善尺司遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団、1998「横手湯田Ⅲ遺跡・徳丸仲田Ⅱ遺跡・西善尺司Ⅱ遺跡・下増田越渡Ⅲ遺跡」前橋市埋蔵文化財発掘調査団
38	下阿内壱町畑遺跡	古墳時代：円形建物跡、土器集積遺構、溝、井戸、Hr-FA 下水田。平安時代：As-B 下水田。近世：As-A 灰掻き穴。	2001「下阿内壱町畑遺跡・下阿内前田遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
39	下阿内前田遺跡	古墳時代：土坑、溝、As-C 混土上水田。平安時代：As-B 下水田。近世：As-A 灰掻き穴、復旧溝。	
40	西横手遺跡群	古墳時代：Hr-FA 下水田、Hr-FP 下水田。奈良・平安時代：住居跡、溝、土坑。中世：居館の堀。近世：墓坑群	2001「西横手遺跡群」・2002「宿横手三波川遺跡・西横手遺跡群」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
41	宿横手三波川遺跡	古墳時代：Hr-FA 下・Hr-FP 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：掘立柱建物、土坑、畠。近世：畠、灰掻き穴。	1999「宿横手三波川遺跡」・2001「宿横手三波川遺跡」・2002「宿横手三波川遺跡・西横手遺跡群」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
42	上滝榎町北遺跡	古墳時代：As-C 下・Hr-FA 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：屋敷跡。近世：水田。	2002「上滝榎町北遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
43	上滝五反畑遺跡	古墳時代：Hr-FA 下水田。平安時代：As-B 下水田。中世：溝、土坑。近世：水田。	1999「上滝五反畑遺跡」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
44	横丹遺跡	古墳時代：前期以前河川跡。平安時代：溝、As-B 下水田。中近世：土坑。近世以降：掘立柱建物跡、溝、土坑。	2009「横丹遺跡」玉村町教育委員会・玉村町遺跡調査会
45	柄田添遺跡	奈良・平安時代：住居跡、掘立柱建物、As-B 下水田。近世：As-A 下畠、水田跡。	2011「柄田添遺跡（第1次～第5次調査）」玉村町教育委員会
46	砂町遺跡	縄文時代：草創期有舌尖頭器。古墳時代：溝、土坑。奈良時代：道路（東山道駅路）。平安時代：As-B 下水田。近世：水田	2007「砂町遺跡・尾柄町Ⅲ遺跡・中之坊遺跡」玉村町教育委員会

	古墳名	所在地	残存	形態					時期			備考
				前方後方	前方後円	帆立貝形	円	方	前	中	後	
a	亀塚山古墳	前橋市山王町	○			●					●	全長 60m。
b	金冠塚古墳		○		●						●	全長 53m，金銅製金冠出土。
c	下川淵３号墳	前橋市公田町	○		●							後円部一部残存。
d	浅間神社古墳	前橋市横手町	○				●					直径約 32 m。

	城・環濠群名称	所在地	時期	築・在城者	遺構				備考
					堀	土居	戸口	他	
ア	宿阿内城	前橋市亀里町	16 C	三輪右丹	○	○	○	櫓台・根小屋	文献『松陰私語』
イ	阿内古城		文明９年	上杉顕定					文献『松陰私語』
ウ	力丸城	前橋市力丸町	15・16 C	力丸氏	○	○	○	根小屋	文献『永禄日記』『藤生文書』
エ	新堀城	前橋市新堀町	16 C	和田正盛					利根川氾濫により消滅。
オ	福島屋敷	前橋市上佐鳥町		福島氏	○	○	○		元屋敷から西原へ移る。
カ	後閑環濠集落	前橋市後閑町			○				
キ	山王環濠集落	前橋市山王町			○				
ク	下佐鳥環濠集落	前橋市下佐鳥町			○				
ケ	亀里環濠遺構群	前橋市亀里町			○				天神屋敷は２重の堀。
コ	三公田環濠遺構群	前橋市公田町			○				
サ	前田屋敷	前橋市亀里町			○				２重の堀。
シ	鶴光路亀里環濠遺構群	前橋市鶴小路町他			○				14 ヶ所の環濠遺構。
ス	東宮地環濠遺構群	前橋市宮地町			○				
セ	房丸東環濠遺構群	前橋市房丸町							
ソ	西善環濠遺構群	前橋市西善町			○	○			
タ	旧西善環濠遺構群	前橋市西善町	16 C	須田氏	○				２重の堀。
チ	横堀環濠遺構群	前橋市西善町			○	○			
ツ	東力丸環濠遺構群	前橋市力丸町			○				
テ	新居屋敷	高崎市西横手町		新井喜左衛門					
ト	田口屋敷	高崎市中島町	16 C	田口業祐	○	○			
ナ	横手環濠遺構群	前橋市横手町							防水の小型遺構。近世か。

Ⅲ　調査の方法と経過

1　調査範囲と基本方針

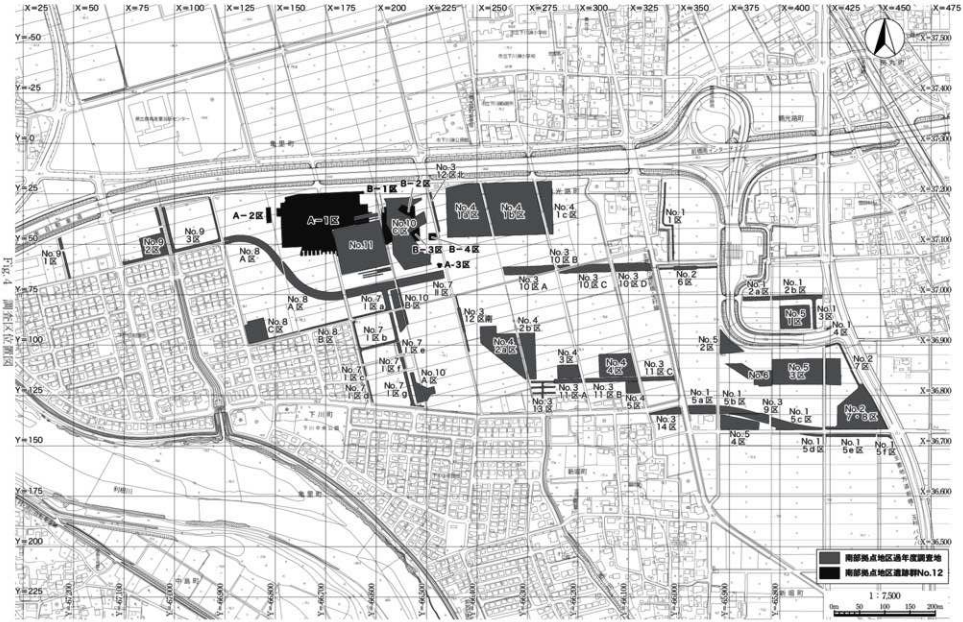
今回の発掘調査は、前橋市教育委員会が実施した試掘調査の結果に基づき、店舗建設に伴う工事計画から現状保存が困難な箇所について発掘調査を実施した。調査区の呼称は現場作業完了の期日が７月末の区画をＡ区、６月末の区画をＢ区とし、その内Ａ区は１～３区、Ｂ区は１～４区に分けた。遺構番号についても、Ａ区とＢ区でそれぞれ１番から付けている。グリッド座標は国家座標（世界測地系、平面直角座標第Ⅸ系）Ｘ＝37,300、Ｙ＝-67,400 を基点（Ｘ＝０、Ｙ＝０）とする４ｍ単位のものを使用し、経線をＸ、緯線をＹとして北西隅から番号を付与した。調査は遺構確認面まで重機（0.7 ㎥バックホウ）で表土を掘削した後、人力で遺構確認、遺構掘り下げ、遺構精査、測量・写真撮影の順で実施した。遺構の記録については、トータルステーション・電子平板を用いて測量・編集した。写真記録は 35mm モノクロ・リバーサルフィルムカメラ、デジタルカメラの３種類を使用し、Ａ－１・２区１面、Ｂ区１面、Ｂ－１区２面の全景撮影ではドローンによる空中撮影を行った。整理作業に当たっては、本文・図面・図版にわたる全ての作業をＤＴＰの手法を用いたデジタル編集・組版によって報告書を作成した。

2　調査経過

調査に先立って３月 22 日にプレハブ・トイレの設置、23 日に器材を搬入し、翌 24 日からＡ－１区とＢ区の表土掘削を開始した。26 日からは 0.7 ㎥バックホウと 10t ダンプを１台ずつ増やし、各３台の体制で掘削を進めた。重機での掘削は As-B 軽石上面までとし、調査はＢ区を先行して実施した。

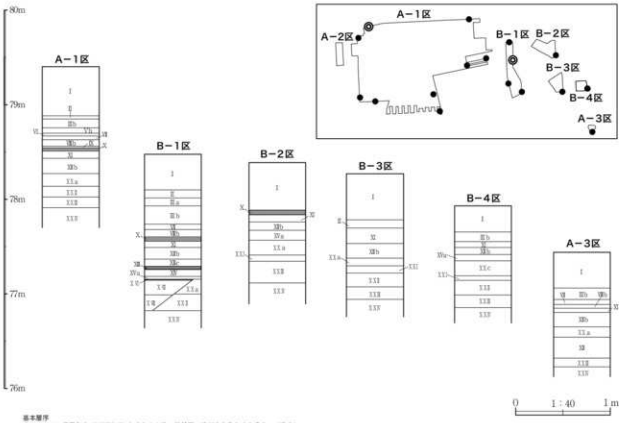
Ｂ区はそれぞれの調査区の隅に土層観察と排水を兼ねた深堀りトレンチを入れた。３・４区については As-B の残存状況が悪く、As-B 下水田面に相当する粘質土上面を目安にして表土掘削を進めた。その後の調査は勾配・移植ゴテを用いて人力で畦畔及び水田面を検出した。また、並行して上位から掘り込まれた中近世以降の溝・土坑を掘り下げも行っている。Ｂ区は４→３→２→１区の順に調査を進め、遺構の掘り下げを終えた部分からシートをかけて遺構面を保護した。排水条件はあまり良好ではなく、周囲の水が調査区内に流れ込みやすく、また遺構面が粘質土であるため、降雨後数日は水はけの悪い状態が続く。そのため、降雨後は水没する箇所に水中ポンプを入れて排水しながら作業を行った。４月８日にはＢ区１面目の全景撮影を行い、翌週 11 日に下層の確認調査に入った。Ｂ－２～４区は重機でトレンチを掘削して土層断面を確認し、３区では部分的に面を広げて遺構の調査を行い調査を終えた。埋め戻しは調査が終了した調査区から順次行った。Ｂ－１区では Hr-FA 洪水層が確認されたため、重機で洪水層上面まで掘削し、勾配・移植ゴテで水田面を検出した。降雨と湧水のため、日中は水中ポンプを稼働しながらの調査であった。４月 28 日にはＢ－１区の全景撮影を調査を行い、翌月５月２・６日に３面のトレンチ確認調査を行った。９～13 日で埋め戻しを行い、Ｂ区は全ての調査が終了した。

Ａ－１・２区の表土掘削は３月 24 日から４月 23 日にかけて行い、４月５日から人力で遺構の掘り下げを開始した。Ｂ区と同様降雨による作業中止や調査区の水没があったものの、５月 26 日には１・２区の全景撮影を実施することができた。５月 30 日～６月１日に畦畔の断ち割り調査、７～９日に重機でトレンチを掘削して下層の確認調査を行った。Ａ－３区については当初予定していた箇所が変更となり、調査範囲が現場プレハブ位置と一部重複する状況となった。そのため、13 日にプレハブを撤去した後、表土掘削・遺構調査を行い、14 日に調査区全景撮影を行った。Ａ区の埋め戻しは 0.7 ㎥バックホウ・10t クローラーダンプを各３台使用し、調査の終了した部分から順次進めた。埋め戻し作業は降雨による影響も少なく順調に進捗し、28 日にＡ区の埋め戻しが完了した。翌 29 日に全ての現場作業を終え、以降は整理作業を開始した。


X=25
X=50
X=75
X=100
X=125
X=150
X=175
X=200
X=225
X=250
X=275
X=300
X=325
X=350
X=375
X=400
X=425
X=450
X=475
Y=-50
Y=-25
Y=0
Y=25
Y=50
Y=75
Y=100
Y=125
Y=150
Y=175
Y=200
Y=225
X=37,500
X=37,400
X=37,300
X=37,200
X=37,100
X=37,000
X=36,900
X=36,800
X=36,700
X=36,600
X=36,500
A-1区
A-2区
B-1区
B-2区
B-3区
B-4区
A-3区
No.1 1区
No.1 2a区
No.1 2b区
No.1 3区
No.1 4区
No.1 5a区
No.1 5b区
No.1 5c区
No.1 5d区
No.1 5e区
No.1 5f区
No.2 6区
No.2 7区
No.2 7'区
No.3 9区
No.3 10区A
No.3 10区B
No.3 10区C
No.3 10区D
No.3 11区A
No.3 11区B
No.3 11区C
No.3 12区北
No.3 12区南
No.3 13区
No.3 14区
No.4 1c区
No.4 2b区
No.4 3区
No.4 4区
No.4 5区
No.4 10区
No.4 15区
No.5 2区
No.5 3区
No.5 4区
No.7 II区
No.7 I区a
No.7 I区b
No.7 I区c
No.7 I区d
No.7 I区e
No.7 I区f
No.7 I区g
No.8 A区
No.8 B区
No.8 C区
No.9 1区
No.9 2区
No.9 3区
No.10 A区
No.10 B区
No.10 C区
No.11 3区
No.11 4区
南部拠点地区過年度調査地
南部拠点地区道路幹No.12
1：7,500
0m
50
100
150
200m

Ⅳ　基本層序

平成 26 年の南部拠点地区遺跡群 No.10・11 の調査時には、昭和 40 年代の圃場整備によって造られた水田区画が残存していたが、その後整地作業が行われたため、現在の調査地の最上部は砕石を主体とする盛土層（Ⅰ層）となっている。その下層には現代の耕作土層（Ⅱ・Ⅲ層）が堆積する。Ⅵ層は周辺の調査で確認されている、中世の利根川変流の洪水層と考えられる。この洪水層は西側の Ａ－２区では堆積が厚くなっている。Ⅶ～Ⅸ層はいわゆる As-B 混土層である。Ⅹ層は天仁元年（1108 年）の浅間山の噴火で噴出、降下した As-B 一次堆積層である。Ⅹ層はＡ－３区、Ｂ－３・４区では後世の削平によってほとんど残存していなかった。Ⅺ層は As-B 下水田耕作土層で、この層の上面が第１面である。Ⅻ層は As-B 下耕作土基盤層で、Ⅻａ層はＡ－１区の西側で多く観察された。Ⅻ層は６世紀初頭の榛名山の噴火に伴う Hr-FA 洪水層で、谷地形の入るＢ－１区で良好に確認されている。Ⅻ～ⅩⅩ層も同様谷地部の窪地状の落ち込み部分で確認されている。最下層のⅩⅩ層は灰白色粘質土層で、調査区全域で確認された。Ａ－１区とＢ－１区については、複数地点で観察した土層から基本層序を作成している。



基本層序

Ⅰ　にぶい黄橙色土（10YR6/3）しまりやや強、粘性弱、砕石を主体とする盛土。（表土）
Ⅱ　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性あり、現代の耕作土層。（表土）
Ⅲ　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや弱、白色粗石粒（As-A か）少量。aはあより色調明るい、現代の耕作土層。（表土）
Ⅳ　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱、白色粗石粒（As-A か）少量。黒褐色粘質土ブロック少量。
Ⅴ　暗褐色土（10YR3/3）しまりあり・粘性やや弱、aはⅩⅩ層土を少量、bはやや多量に含む。
Ⅵ　褐色土（10YR4/4）しまり・粘性弱、砂質土主体、洪水層。
Ⅶ　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量、As-B混土。
Ⅷa　暗褐色土（10YR3/3）しまりやや弱、粘性弱、As-B多量、灰黄褐色シルト質土ブロック少量、As-B混土。洪水層か。
Ⅷb　黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱、粘性弱、As-B多量、黄褐色土ブロック少量、As-B混土。
Ⅸ　黒褐色土（10YR2/2）しまりやや弱、粘性弱、As-B主体、As-B混土。
Ⅹ　褐灰色（10YR4/1）～黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱、As-B一次堆積層。
Ⅺ　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強、鉄分凝集あり、As-B下水田耕作土。
Ⅻ　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや強、粗石粒を微量～少量含む、鉄分凝集あり。aはbより砂質土をやや多量に含む、c はbより Ⅻ層土ブロックを少量含む、水田耕作土基盤層。
Ⅻ　黒色土（10YR4/6）しまり・粘性やや弱、Hr-FA洪水層。ややシルト質。
Ⅻ　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性やや強。
Ⅻ　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや強、aは黒褐色粘質土ブロック少量含む、bはAsCをやや多量に含む、c はⅩⅩ層土を少量含む。
Ⅻ　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性弱、As-C一次堆積層。
Ⅻ　黒色土（10YR2/1）しまりやや弱、粘性強、砂質土少量。
Ⅻ　黒褐色土（10YR2/1）しまりあり、粘性強。
Ⅻ　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性強、砂質土少量。
Ⅻ　褐灰色土（10YR6/1）しまりあり、粘性やや強、黒褐色粘質土ブロック少量、bはaより黒褐色粘質土ブロックやや多量、c は黒褐色粘質土との平行整理が見られる。
Ⅻ　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや強、砂質土少量、鉄層の礫様層。
Ⅻ　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり、砂質土やや多量、灰白色粘質土少量、洪水層か。
Ⅻ　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性やや弱、砂質土主体、灰白色粘質土少量、洪水層か。
Ⅻ　灰白色土（10YR3/1）しまりやや強、粘性強。

Fig.5　基本層序

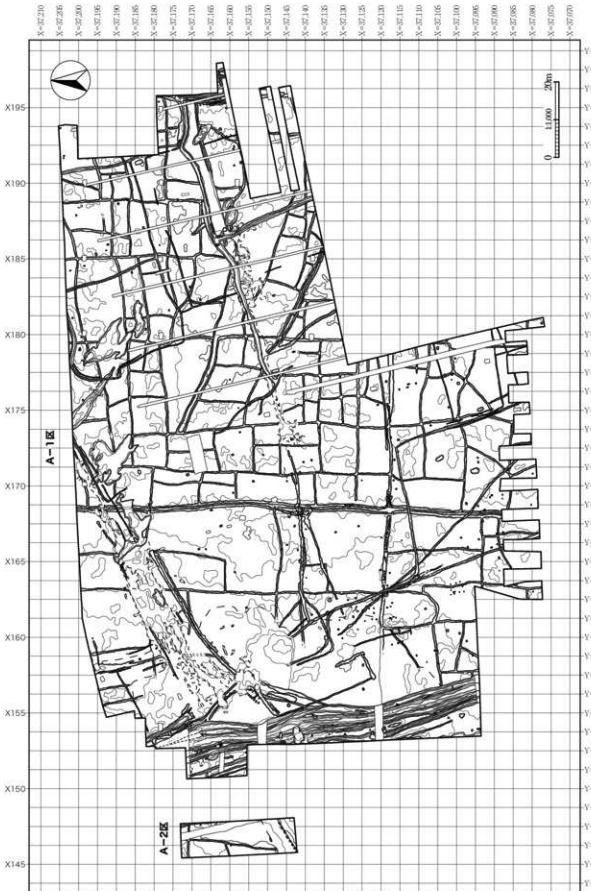


Fig.6　A－1・2区1面全体図

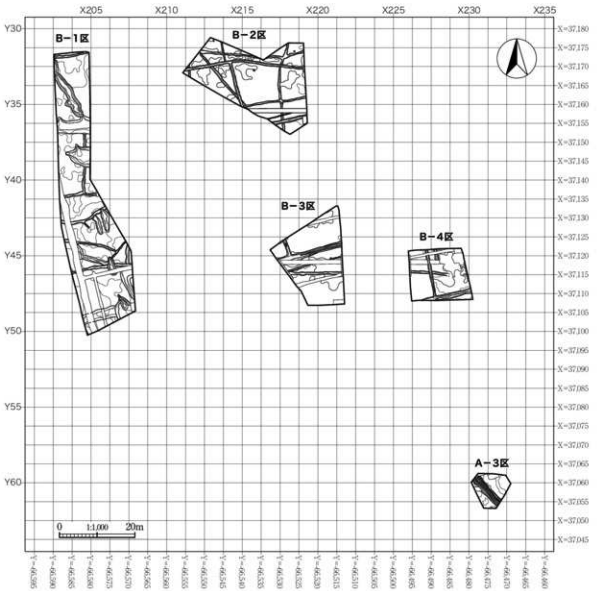


Fig.7　A－3区、B－1～4区1面全体図

Ⅴ　検出された遺構と遺物

1　第1面

（1）調査の概要

第1面はAs-Bー次堆積層（X層）直下を遺構確認面とし、一次堆積層が残存していない箇所についてはⅪあるいはⅫ層の粘質土面を確認面とした。A－1区は、中世以降の溝が集中する調査区西端付近を除いてAs-Bの残存状況は良好であった。坪境の大畦畔は南北方向で2条、東西方向で1条確認された。西側の南北坪境は中央に溝（W－88）をもつタイプの大畦畔である。水田と同時期の遺構は、W－43・87・88号溝で、これらは水田に伴う水路と考えられる。その他には、As-B降下以降の溝、窪地、道路状遺構、土坑が確認された。窪地は2種類あり、一つは洪水によって削られて形成された洪水跡（1・3・5・6・9・10・12～14号窪地）である。同様の洪水跡はB－1区においても検出されている。もう一つは人為的な掘削によって形成された凹凸の顕著な耕作痕（2・4・7・8・11号窪地）で、こちらは破線で範囲を示している。A－2区はAs-B一次堆積

層がほとんど残存しておらず、水田面が全体的に削平を受けていた。畦畔は東西方向が2条、南北方向が1条検出されたが、特に調査区南側では帯状に水田面が削平を受けており、破線で範囲を示した（水田面削平範囲）。また、関係性は不明だが、この削平範囲に沿って土坑列（D－230～236・238）が確認された。A－3区では、As-Bは確認できず、水田面は削平されて残存していなかった。遺構としては、重複する中世以降の溝（W－96～99）を4条検出した。A区とB区ではそれぞれ遺構番号を1から付けており、A区のW－36と41は欠番である。

B区については、B－1区はAs-Bが良好に残存しており、最も水田の残存状況が良好であった。B－2区は耕作機械の痕が全体に筋状に確認されたが、As-Bが薄く残存しており、水田が検出された。B－3・4区はAs-Bがほとんど確認できず、水田面は削平された状態であった。3・4区では東西方向の坪境畦畔が1条検出された。畦畔の高まりは削平されていたが、断面では畦畔の盛り上がりが観察されている。B区のAs-B下水田と同時期の遺構は溝6条（W－4・8・11～14）、下層の溝の痕跡である窪地1基（1号窪地）である。As-B降下以降の遺構は溝10条（W－1～3・5～7・9・10・15・16）、洪水跡の窪地5基（2～6号窪地）、土坑3基（D－1・2・4）である。窪地は全てB－1区からの検出である。

（2）平安時代末期以降

溝

A－1区W－1号溝（Fig.11～13・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 176～191、Y 24～31）　**主軸方向**　N－71°－E、N－81°－E、N－20°－W。　**規模**　長さ（124.31）m、上幅0.18～1.15 m、下幅0.07～0.49 m、深さ0.06～0.28 m。　**形状等**　調査区北東に検出。断面は弧状を呈する。蛇行・クランクする箇所があるが、概ね方形に区画していると考えられる。東西方向の1条はW－54に接続する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田、W－54・93、13号窪地より新しく、W－50より古い。　**出土遺物**　土師器の甕の小片が1点出土。**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－2号溝（Fig.10・24・48、Tab. 4、PL. 2）

位置　A－1区（X 166～173、Y 24～28）　**主軸方向**　N－62°－E、N－36°－W。　**規模**　長さ（30.81）m、上幅0.21～0.74 m、下幅0.05～0.3 m、深さ0.06～0.23 m。　**形状等**　調査区中央北壁際に検出。東側のL字状の1条と、西側の直線的な1条に分かれている。断面は弧状を呈する。L字状の方は屈曲して南東方向に向いた所から次第に幅は細く、深さは浅くなり途切れる。西側の方は全体に浅い。覆土はAs-Bを含む砂質土である。**重複**　As-B下水田、W－10、12号窪地より新しい。　**出土遺物**　陶器の丸皿（1）を図示した。時期は17世紀前半と考えられる。他に陶器と土鍋の小片が各1点出土している。　**時期**　覆土の状況と出土遺物から近世と考えられる。

A－1区W－3号溝（Fig. 9・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 158～159、Y 28～29）　**主軸方向**　N－21°－W　**規模**　長さ（7.49）m、上幅0.15～0.31 m、下幅0.07～0.2 m、深さ0.03 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は台形状を呈する。直線的に走行する。両端は溝がつつくと思われるが浅くなり確認できなかった。覆土は白色軽石を含むシルト質土。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－4号溝（Fig. 8・24）

位置　A－1区（X 153～157、Y 27～29）　**主軸方向**　N－62°－E　**規模**　長さ（15.7）m、上幅0.17～0.49 m、下幅0.06～0.28 m、深さ0.06 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈し、直線的に走行する。覆土は白色軽石を含むシルト質土。　**重複**　As-B下水田、W－5・6より新しい。　**出土遺物**なし。　**時期**

覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－5号溝（Fig. 8・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 155～156、Y 26～29）　**主軸方向**　N－15°－W　**規模**　長さ（11.01）m、上幅0.17～0.64 m、下幅0.08～0.39 m、深さ0.14 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行する。幅は南端部が細くなる。底面は凹凸があり、列状の掘削痕と考えられる。南端部の幅の細い部分は1列、それ以外は2列程度確認できる。覆土はAs-Bを多量に含むAs-B混土。　**重複**　新旧関係はAs-B下水田より新しく、W－4より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と層位から古代末～中世と考えられる。

A－1区W－6号溝（Fig. 8・9・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 157～158、Y 25～30）　**主軸方向**　N－3°－W、N－15°－W。　**規模**　長さ（35.34）m、上幅0.21～1.99 m、下幅0.07～1.86 m、深さ0.06～0.18 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈し、直線的に走行する。北壁際では2条に分かれ、並行する幅の細い2条に細分される。底面は凹凸があり、掘削痕と考えられる。覆土はAs-Bを主体としてⅨ層土に類似し、Ⅺ層土ブロックを多量に含む。　**重複**　新旧関係はAs-B下水田より新しく、W－4、2号窪地より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から中世と考えられる。

A－1区W－7号溝（Fig. 8・9・24）

位置　A－1区（X 158～159、Y 25～26）　**主軸方向**　N－77°－E　**規模**　長さ（6.47）m、上幅0.16～0.47 m、下幅0.05～0.29 m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。ほぼ直線的で、幅は一定ではない。底面に凹凸があり、掘削痕と考えられる。覆土はAs-Bを多量に含み、Ⅸ層土に類似する。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－8号溝（Fig. 8・9・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 157～160・163～164、Y 27～31）　**主軸方向**　N－61°－E、N－66°－E。　**規模**　長さ（21）m、上幅0.21～0.73 m、下幅0.06～0.54 m、深さ0.06～0.54 m、0.02～0.12 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行する。西端部は土坑状を呈し、礫（円礫が多い）や遺物が複数確認された。覆土は白色軽石を多量に含むシルト質土である。　**重複**　As-B下水田、2号窪地、D－50より新しい。　**出土遺物**　陶磁器の碗・擂鉢等の小片が二十数点、土鍋の小片が数点、鉄滓（椀形滓か）が1点出土している。　**時期**　覆土の状況と遺物の傾向から近世以降と考えられる。

A－1区W－9号溝（Fig. 9・10・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 166～167、Y 26～27）　**主軸方向**　N－55°－E　**規模**　長さ（7.34）m、上幅0.31～0.72 m、下幅0.13～0.54 m、深さ0.06 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。底面は掘削痕と考えられる凹凸がある。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　形状等が2号窪地と類似しているため同様の遺構の可能性がある。時期は中世と考えられる。

A－1区W－10号溝（Fig. 9・10・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 166～172、Y 25～28）　**主軸方向**　N－59°－E　**規模**　長さ（25.87）m、上幅0.16～0.68 m、下幅0.07～0.46 m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区北西北壁よりに検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行するが、浅くなり途切れる箇所がある。底面は掘削痕と考えられる凹凸がある。覆土はAs-Bを多量に含むAs-B混土。　**重複**　As-B下水田、1号窪地より新しく、W－2より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－11号溝（Fig. 8・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 153～155、Y 29～32）　**主軸方向**　N－30°－W　**規模**　長さ（18.4）m、上幅0.91～2.32 m、下幅0.23～0.85 m、深さ0.47 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行し、

南端部の形状は不整形で、2条の小溝が付く。覆土は砂をやや多量に含み、灰白色軽石を微量含む。　**重複**　As-B下水田、W－29・66・67よりも新しい。　**出土遺物**　磁器・土鍋・須恵器の甕の小片がそれぞれ1点出土。　**時期**　覆土の状況がⅢ層土に類似しており、調査区西側の重複する溝群の中で最も新しい。時期は現代と考えられる。

A－1区W－12号溝（Fig. 8・24）

位置　A－1区（X 153、Y 30～31）　**主軸方向**　N－3°－W　**規模**　長さ（3.42）m、上幅0.45～0.91 m、下幅0.28～0.62 m、深さ0.14 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は不整形な弧状を呈する。底面に凹凸があり、掘削痕と考えられる。覆土は暗灰黄褐色砂質土のブロックを多量に、白色軽石を少量含む粘質土。　**重複**　W－66・67より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世～近世と考えられる。

A－1区W－13号溝（Fig. 8・24）

位置　A－1区（X 153～154、Y 31～32）　**主軸方向**　N－29°－W　**規模**　長さ（6.64）m、上幅0.32～0.5 m、下幅0.11～0.34 m、深さ0.09 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行し、北端部はW－66に切られ、南端部は溝が続いていたと思われるが、浅くなり確認できない。覆土は白色軽石を少量含むシルト質土。　**重複**　重複するW－65・66より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－14号溝（Fig. 8・24、PL. 3）

位置　A－1区（X 151～152、Y 34～36）　**主軸方向**　N－17°－W　**規模**　長さ（2.85）m、上幅0.29～0.46 m、下幅0.17～0.29 m、深さ0.11 m。　**形状等**　調査区北西の西壁近くに検出。断面は弧状を呈する。途中で途切れるが、南端部は調査区外へ続く。掘削痕と考えられる凹凸が2列確認できる。覆土はAs-Bを多量に含むAs-B混土で、黒褐色粘質土ブロックを少量含む。　**重複**　なし。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から中世と考えられる。

A－1区W－15号溝（Fig. 8・14・19・24・25、PL. 3）

位置　A－1区（X 152～157、Y 29～51）　**主軸方向**　N－10°－W、N－17°－W。　**規模**　長さ（88.61）m、上幅0.52～2.44 m、下幅0.46～1.34 m、深さ0.32 m。　**形状等**　調査区西端に検出。断面は弧状を呈する。やや蛇行しながら南北に走行する溝で、北から南へ流れる水路である。内部に木杭が列状に確認された。覆土は砂がラミナ状に堆積するシルト質土。　**重複**　As-B下水田、W－12・13・16・27・37・39・40・65～67・75、D－227よりも新しい。　**出土遺物**　陶器の小片が二十数点、磁器の小片が10点、ガラス製の小瓶が1点、黒曜石製の石鏃が1点出土している。　**時期**　覆土の状況と遺物の傾向から、近世～現代まで機能していたと考えられる。　**備考**　米軍による1948年撮影の空中写真（USA-R1250-38）に本遺構に相当する水路が残っているため、圃場整備以前まで機能していたと考えられる。

A－1区W－16号溝（Fig. 8・14・19・24・25、PL. 3・4）

位置　A－1区（X 152～157、Y 30～51）　**主軸方向**　N－9°－W、N－16°－W。　**規模**　長さ（81.81）m、上幅1.91～3.7 m、下幅0.54～1.42 m、深さ0.6～0.77 m。　**形状等**　調査区西端に検出。断面は弧状を呈する。やや蛇行しながら南北に走行する溝で、北から南へ流れる水路である。覆土はラミナ状の堆積が見られる砂質～シルト質で、覆土上部はⅥ層が堆積する。　**重複**　W－15・17・69・70・89・91、D－210・211・218・250と重複する。W－15・D－250より古く、W－17・69・70・89・91・250より新しい。D－211・218との新旧関係は不明である。　**出土遺物**　陶器・土鍋・須恵器・土師器の小片が各数点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－17号溝（8・14・19・24・25、PL. 3・4）

位置　A－1区（X 151～156、Y 32～51）　**主軸方向**　N－11°－W、N－15°－W。　**規模**　長さ（77.58）m、

上幅1.63～2.49m、下幅0.33～1.01m、深さ0.54～0.59m。　**形状等**　調査区西端に検出。断面は弧状を呈する。やや蛇行しながら南北に走行する溝で、北から南へ流れる水路である。覆土はAs-Bを多量に含む砂質土を主体とし、XI・XII層土と考えられる黒褐色・灰黄色粘土ブロックを少量～多量含む。　**重複**　W－16・69・71・74・89～91と2号窪地・D－226より新しく、W－75より古い。また、調査区南壁ではW－19と重複しており、本遺構が新しいことが確認されている。D－218とは新旧関係は不明である。　**出土遺物**　土師器の坏・甕の小片が四十数点、須恵器の坏・甕の小片が数点、馬とみられる歯が出土している。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－18号溝（Fig. 8・25、PL. 4）

位置　A－1区（X 150～152、Y 32～36）　**主軸方向**　N－18°－W　**規模**　長さ（16.78）m、上幅0.49～0.79m、下幅0.17～0.4m、深さ0.05～0.1m。　**形状等**　調査区西端に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行し、両端は調査区外となる。覆土にラミナ状堆積が見られ、通水していたと考えられる。　**重複**　なし。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と層位から中世と考えられる。

A－1区W－19号溝（8・14・19・25、PL. 3・4）

位置　A－1区（X 150～156、Y 33～51）　**主軸方向**　N－5°－W、N－18°－W、N－20°－W。　**規模**　長さ（56.09）m、上幅0.86～1.64m、下幅0.23～0.74m、深さ0.39m。　**形状等**　調査区西端に検出。断面は台形状を呈する。一部調査区外となるが、やや蛇行しながら南北に走行する溝で、北から南へ流れる水路である。覆土はXI・XII層土と考えられる灰色～灰黄褐色粘土ブロックを含む砂質土。　**重複**　W－72・76・82より新しく、W－75・92より古い。調査区南壁ではW－17と重複しており、本遺構の方が古いことが確認された。　**出土遺物**　獣骨が7点と歯が2点出土した。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－20号溝（Fig. 8・25、PL. 4）

位置　A－1区（X 157～158、Y 29～30）　**主軸方向**　N－21°－W　**規模**　長さ（5.98）m、上幅0.17～0.49m、下幅0.07～0.32m、深さ0.08m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。平面形状はやや不整形である。掘削痕と考えられる凹凸が1または2列並んだ耕作痕と考えられる。覆土はAs-Bを多量に含むAs-B混土で、黄褐色シルトブロックを多量に含む。　**重複**　As-B下水田・2号窪地よりも新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－21号溝（Fig.14～16・25、PL. 4）

位置　A－1区（X 160～172、Y 38～41）　**主軸方向**　N－65°－E、N－85°－E、N－22°－W。　**規模**　長さ（70.36）m、上幅0.2～0.87m、下幅0.1～0.74m、深さ0.03～0.04m。　**形状等**　調査区西側中央に検出。断面は台形状を呈する。東西に走行し、西側はL字状を呈し、東側は2条に分かれる。掘削痕と考えられる凹凸があり、平面形状は不整形である。覆土はAs-Bを多量に含むAs-B混土で、XI・XII層と考えられる黒褐色土粘質土ブロックを含む。　**重複**　As-B下水田とW－32・34・35とD－54・74よりも本遺構が古く、W－30とは覆土や形状が類似していることから同時期と考えられる。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。　**備考**　覆土や形状等が11号窪地に類似しているため、同様の耕作痕の可能性がある。

A－1区W－23号溝（Fig. 9・24）

位置　A－1区（X 160～161、Y 31）　**主軸方向**　N－59°－E　**規模**　長さ3.42m、上幅0.4m、下幅0.16m、深さ0.1m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向に走行する。覆土は灰黄色シルトブロックを多量に含む砂質シルト。　**重複**　新旧関係はAs-B下水田、2号窪地よりも新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。W－24と覆土が同一であるため、同時期の可能性がある。

A－1区W－24号溝（Fig. 8・9・24）

位置　A－1区（X 157～165、Y 29～35）　**主軸方向**　N－45°－E、N－60°－E。　**規模**　長さ（40.09）m、上幅0.46～1.21 m、下幅0.15～0.93 m、深さ0.07 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向に走行する。掘削痕と考えられる凹凸が確認された。覆土は灰黄色シルトブロックを多量に含む砂質シルト。　**重複**　As-B下水田、W－25、2号窪地よりも新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。W－23と覆土が同一で走行方向も類似するため、同時期の可能性がある。

A－1区W－25号溝（Fig. 8・9・24）

位置　A－1区（X 158～165、Y 29～34）　**主軸方向**　N－48°－E、N－61°－E。　**規模**　長さ（34.19）m、上幅0.37～0.96 m、下幅0.15～0.742 m、深さ0.08 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向に走行する。北東端部はW－24に削平され、南西部は途切れる部分がある。掘削痕と考えられる凹凸が確認された。覆土はAs-Bを主体とし、XI層と考えられる褐灰色粘土ブロックを多量に含む。　**重複**　As-B下水田よりも新しく、W－24よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　時期は中世と考えられる。覆土が2号窪地と同一で、形状も類似しているため、同様の性格の遺構の可能性がある。

A－1区W－26号溝（Fig.14・25、PL. 4）

位置　A－1区（X 154～155、Y 37～38）　**主軸方向**　N－48°－E　**規模**　長さ3.2 m、上幅0.14～0.38 m、下幅0.06～0.24 m、深さ0.08 m。　**形状等**　調査区西端中央付近に検出。断面は弧状を呈する。平面形状は不整形で、溝北東部は断続的で次第に浅くなる。底面にやや凹凸が見られる。覆土はAs-Bをやや多量に含み、XI層土ブロックを少量含む。　**重複**　なし。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から中世と考えられる。

A－1区W－27号溝（Fig. 8・14・25、PL. 4）

位置　A－1区（X 154～156、Y 36～38）　**主軸方向**　N－53°－E　**規模**　長さ（10.46）m、上幅0.6～1.42 m、下幅0.25～1.05 m、深さ0.11 m。　**形状等**　調査区西端中央付近に検出。断面は台形状を呈する。南西－北東方向に走行する。覆土はAs-Bをやや多量に含み、XI層土ブロックを少量含む。　**重複**　W－37・40、2号窪地、D－83～85（A－1）よりも新しく、W－15より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。

A－1区W－28号溝（Fig. 8・25）

位置　A－1区（X 154～156、Y 33～35）　**主軸方向**　N－48°－W　**規模**　長さ（8.26）m、上幅0.38 m、下幅0.18 m、深さ0.05 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に走行し、溝中央と南東端部は2号窪地と重複しており確認できなかった。覆土は青灰色砂が底面近くに堆積する。　**重複**　As-B下水田、2号窪地よりも新しく、D－70よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－29号溝（Fig. 8・25）

位置　A－1区（X 153～156、Y 31～35）　**主軸方向**　N－19°－W、N－47°－W。　**規模**　長さ（19.6）m、上幅0.31～0.62 m、下幅0.12～0.33 m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に走行し、溝中央は湾曲する。覆土は青灰色砂質土ブロックを多量に含む。　**重複**　As-B下水田、2号窪地よりも新しく、W－11・65よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－30号溝（Fig.15・16・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 161～168、Y 39～42）　**主軸方向**　N－69°－E　**規模**　長さ（29.28）m、上幅0.31～1.37 m、下幅0.12～1.14 m、深さ0.06 m。　**形状等**　調査区西側中央に検出。断面は不整形な弧状を呈する。南西－北東方向に走行し、南西端部は一度途切れてW－34と重複する。北西端部は平面形状が特に不整形である。W

－21と重複する。掘削痕と考えられる凹凸が多数確認された。覆土はAs-Bを主体とし、銹化したⅪ層土と考えられる暗灰黄色粘土ブロックを微量含む。　**重複**　As-B下水田よりも新しく、W－34、D－52・102・103よりも古い。W－21とは同時期と考えられる。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。　**備考**　覆土や走行方向、形状等が11号窪地と類似しているため、同様の耕作痕の可能性がある。

A－1区W－31号溝（Fig.15・25・26）

位置　A－1区（X 160～162、Y 38～39）　**主軸方向**　N－50°－W　**規模**　長さ（9.32）m、上幅0.44 m、下幅0.27 m、深さ0.02～0.03 m。　**形状等**　調査区西側中央に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に走行する。北西端部は浅くなり確認できない。覆土はⅪ・Ⅻ層と考えられる灰黄褐色粘土ブロックを多量に含むAs-B混土。　**重複**　As-B下水田よりも新しく、W－32よりも古い。D－60との新旧関係は不明である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－32号溝（Fig.15・25）

位置　A－1区（X 160～163、Y 39～40）　**主軸方向**　N－76°－E　**規模**　長さ（10.68）m、上幅0.81 m、下幅0.55 m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区西側中央に検出。断面は弧状を呈する。東西方向に走行する。覆土は灰黄褐色粘土ブロックを多量に含むAs-B混土。　**重複**　As-B下水田、W－21・31よりも新しく、W－34・46よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－33号溝（Fig.10・11・16・17・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 173～175、Y 33～37）　**主軸方向**　N－45°－W　**規模**　長さ（16.74）m、上幅0.32～0.65 m、下幅0.15～0.32 m、深さ0.09～0.14 m。　**形状等**　調査区中央に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に蛇行しながら走行する。北西端部は次第に浅くなる。南東端部はW－44と重複する。覆土はAs-Bを少量含む黄褐色土。断面135では覆土に多量の砂質土と円礫を確認しており、流水していた可能性がある。　**重複**　As-B下水田よりも新しく、W－44よりも古い。　**出土遺物**　陶器片が3点と土鍋・土師器片が各数点出土している。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。

A－1区W－34号溝（14・15・19・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 159～164、Y 38～49）　**主軸方向**　N－22°－W、N－38°－W。　**規模**　長さ（45.6）m、上幅0.25～0.9 m、下幅0.16～0.78 m、深さ0.06～0.11 m。　**形状等**　調査区南西に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に直線的に走行する。底面には掘削痕と考えられる凹凸が確認された。両端部は溝が続くと思われるが、浅くなり確認できなかった。覆土はAs-Bをやや多量に含み、黄灰色・暗灰黄色粘土ブロックを含む暗灰黄色土。　**重複**　As-B下水田、W－21・30・32・35・45・47・53・56、D－163より新しい。D－208とは新旧関係不明である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。　**備考**　米軍による1948年撮影の空中写真（USA-R1250-38）においても本遺構が区画として踏襲されていることが確認できる。

A－1区W－35号溝（Fig.14・15・25・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 158～161、Y 39～41）　**主軸方向**　N－79°－E、N－21°－W。　**規模**　長さ（20.66）m、上幅0.23～0.88 m、下幅0.15～0.62 m、深さ0.02～0.07 m。　**形状等**　調査区西側中央に検出。断面は弧状を呈する。L字状を呈し、南端部は湾曲してW－34に重複する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田、W－21より新しく、W－34より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－37号溝（Fig.14・25・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 155～156、Y 37～40）　**主軸方向**　N－14°－E　**規模**　長さ（11.92）m、上幅0.59 m、下幅0.33 m、深さ0.04～0.09 m。　**形状等**　調査区西端付近に検出。断面は弧状～台形状を呈する。隣接する

W－38・39と走行方向が同じで、14度東に軸を向けて直線的に走行する。北端部はやや幅が広くなり、深さも浅くなる。覆土は褐灰色粘土・黒色シルトブロックを少量含む砂質～シルト質土。　**重複**　As-B下水田、W－15・28・40より新しく、W－27より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。

A－1区W－38号溝（Fig.14・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 155～156、Y 37～39）　**主軸方向**　N－17°－E　**規模**　長さ7.86m、上幅1.07m、下幅0.86m、深さ0.08m。　**形状等**　調査区西端付近に検出。断面は台形状を呈する。隣接するW－37・39と走行方向がほぼ同じで、17度東に軸を向けて直線的に走行する。全体的に浅く、凹凸がある。覆土は黒褐色砂質土ブロック・白色軽石を含むシルト質土。　**重複**　As-B下水田よりも新しく、W－37より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。

A－1区W－39号溝（Fig.14・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 155～157、Y 36～41）　**主軸方向**　N－18°－E　**規模**　長さ（19.08）m、上幅0.44～1.31m、下幅0.2～1.07m、深さ0.04～0.08m。　**形状等**　調査区西端付近に検出。断面は弧状を呈する。隣接するW－37・38と走行方向がほぼ同じで、18度東に軸を向けて直線的に走行する。溝の北半分は幅が広く、深さは浅くなる。北端部は浅くなり確認できなかったが、溝が続くと考えられる。溝内部は部分的に凹凸がある。覆土は灰黄褐色土ブロック・白色軽石を多量に含む砂質土。　**重複**　As-B下水田、W－40よりも新しく、W－15よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世と考えられる。

A－1区W－40号溝（Fig.14・26）

位置　A－1区（X 154～157、Y 38～44）　**主軸方向**　N－22°－W　**規模**　長さ（26.94）m、上幅0.38m、下幅0.14m、深さ0.01～0.03m。　**形状等**　調査区西端付近に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に直線的に走行する。全体的に浅く、部分的に凹凸が確認された。覆土は軽石を多量に含み、褐灰色土ブロックを少量含む。　**重複**　As-B下水田より新しく、W－15・27・37・39・48より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－42号溝（Fig.21・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 173～174、Y 49～52）　**主軸方向**　N－19°－W　**規模**　長さ（13.72）m、上幅（0.42）m、下幅（0.23）m、深さ0.04m。　**形状等**　調査区南に検出。断面は弧状を呈する。溝の大部分はW－53と重複し、直線的に走行する。覆土は白色軽石を含むにぶい黄褐色土。　**重複**　As-B下水田より新しく、W－53より古い。　**出土遺物**　W－42・53の一括遺物として擂鉢の小片、磨り石が各1点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－44号溝（Fig.12・13・16・17・18・26・48、Tab. 4、PL. 5）

位置　A－1区（X 174～195、Y 31～40）　**主軸方向**　N－69°－E、N－75°－E（東西方向）、N－24°－W（南北方向）、N－58°－W（南東－北西方向）。　**規模**　長さ（121.04）m、上幅3.17～6.3m（東西方向）、1.51m（南北方向）、0.35～0.86m（南東－北西方向）、下幅　2.61～4.99m（東西方向）、0.55m（南北方向）、0.16～0.56m（南東－北西方向）、深さ　0.06～0.15m（東西方向）、0.15m（南北方向）、0.06～0.15m（南東－北西方向）。　**形状等**　調査区東に検出。断面は弧状を呈する。東側は幅が広い。西端部の南東－北西方向の溝はその先も続くと考えられるが、浅くなり確認できなくなる。覆土は全体としてはAs-Bを少量含む黄褐色～灰黄褐色土である。　**重複**　As-B下水田、W－33・64、5・10号窪地、D－123・213より新しく、W－59より古い。　**出土遺物**　銅製の煙管（1）を1点図示した。他に、陶器の仏飯具が1点、磁器の小片が数点、陶器の小片が百点以上、土鍋片が五十数点出土している。　**時期**　覆土の状況と遺物の傾向から近世以降と考えられる。　**備考**　米軍による1948年撮影の空中写真（USA-R1250-38）において、本遺構が区画として踏襲されていることが確認できる。

A－1区W－45号溝（Fig.14・15・19・20・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 160～171、Y 42～54）　主軸方向　N－45°－W　規模　長さ（64.91）m、上幅0.51～0.79 m、下幅0.22～0.47 m、深さ0.07 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は不整形である。南東－北西方向に直線的に走行する。溝内部は掘削痕と考えられる多数の凹凸がある。覆土は黒褐色粘土が横縞状に入る砂質土。　重複　As-B下水田より新しく、W－34・47・53、D－114より古い。D－124との新旧関係は不明である。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－46号溝（Fig.14・15・26、PL. 4）

位置　A－1区（X 159～161、Y 38～40）　主軸方向　N－44°－W　規模　長さ（7.23）m、上幅0.32 m、下幅0.06～0.21 m、深さ0.02 m。　形状等　調査区西側中央に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に直線的に走行する。北西端部は溝が続くと考えられる。覆土は灰黄褐色粘土ブロック・白色軽石を多量に含む砂質土。　重複　As-B下水田、W－32より新しい。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－47号溝（Fig.15・26）

位置　A－1区（X 162～163、Y 45）　主軸方向　N－82°－W　規模　長さ（3.15）m、上幅0.26 m、下幅0.12 m、深さ0.04 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は弧状を呈する。東西方向に直線的に走行する。覆土はAs-Bを多量に、黄褐色シルトを少量含む。　重複　As-B下水田、W－45、D－136より新しく、W－34より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－48号溝（Fig.14・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 157～158、Y 43～45）　主軸方向　N－64°－E　規模　長さ（7.08）m、上幅0.4～1.11 m、下幅0.15～0.81 m、深さ0.07 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向に直線的に走行する。掘削痕と考えられる凹凸が全体的に確認された。覆土1層は暗灰黄色粘土ブロックを多量、白色軽石を少量含むシルト質土。　重複　As-B下水田、W－40より新しく、W－49より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－49号溝（Fig.14・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 158～159、Y 41～44）　主軸方向　N－28°－W　規模　長さ8.37 m、上幅0.81 m、下幅0.46 m、深さ0.04 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は不整形である。掘削痕と考えられる凹凸が確認された。覆土は暗灰黄色砂質土ブロックを多量に含む砂質土。　重複　As-B下水田、W－48より新しい。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－50号溝（Fig.11～13・26）

位置　A－1区（X 181～195、Y 29～35）　主軸方向　N－73°－E、N－88°－W（東西方向）、N－10°－E、N－18°－W（南北方向）。　規模　長さ（70.94）m、上幅0.41～1.55 m、下幅0.26～1.14 m、深さ0.06～0.16 m。　形状等　調査区東側中央に検出。断面は弧状を呈する。西側はT字状を呈し、溝中央は掘り込みが浅いため2箇所途切れている。東側は屈曲し一部はW－44・59に沿うように走行する。覆土はAs-Bを少量含む灰黄褐色土。　重複　As-B下水田、W－1・51・54、7号窪地より新しい。　出土遺物　陶器の皿・碗・擂鉢・甕の小片が数点出土。　時期　覆土の状況と遺物の傾向から近世以降と考えられる。

A－1区W－51号溝（Fig.12・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 182、Y 33～34）　主軸方向　N－19°－W　規模　長さ　4.72 m、上幅（0.36）m、下幅（0.28）m、深さ0.07 m。　形状等　調査区東側中央に検出。断面は弧状を呈する。W－50とは重複し、走行方向が同一である。覆土はAs-Bを少量含む灰黄褐色土。　重複　As-B下水田より新しく、W－50より古い。　出土遺物　陶器の碗の小片が数点出土。　時期　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－52号溝（Fig.14・26）

位置　A－1区（X 159～160、Y 43～46）　主軸方向　N－15°－W　規模　長さ（15.87）m、上幅0.37 m、下幅0.14 m、深さ0.04 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行し、北端部は溝が続くと考えられるが、浅くなり確認できない。覆土は灰黄褐色土ブロックを多量に含む褐灰色砂質土。　重複　As-B下水田より新しく、W－55より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－53号溝（Fig.15・16・20・21・26、PL. 5）

位置　A－1区（X 163～175、Y 45～54）　主軸方向　N－79°－E、N－19°－W。　規模　長さ（77.56）m、上幅0.34～0.83 m、下幅0.17～0.53 m、深さ0.03～0.1 m。　形状等　調査区南に検出。断面は弧状を呈する。直線的に走行し、2箇所で屈曲する。北端部はW－34と重複する。覆土はにぶい黄褐色または暗灰黄色土で、場所によってはAs-Bをやや多量に含む。　重複　As-B下水田、W－42・49より新しく、W－34・85より古い。　出土遺物　円盤状の不明鉄製品が1点出土。他に土師器の坏の小片が1点、W－42・53の一括遺物として陶器の擂鉢の小片、磨り石が1点ずつ出土。　時期　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。　備考　米軍による1948年撮影の空中写真（USA-R1250-38）においても区画として踏襲されていることが確認できる。

A－1区W－54号溝（Fig.13・26）

位置　A－1区（X 190～192、Y 23～31）　主軸方向　N－14°－W、N－59°－W。　規模　長さ（28.09）m、上幅0.34～1.05 m、下幅0.24～0.33 m、深さ0.11 m。　形状等　調査区北東隅に検出。断面は弧状を呈する。やや蛇行して走行し、南端部は湾曲して南東へ方向を変える。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　重複　As-B下水田より新しく、W－1・50より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－55号溝（Fig.14・27）

位置　A－1区（X 160、Y 46～47）　主軸方向　N－82°－E　規模　長さ1.49 m、上幅0.18 m、下幅0.08 m、深さ0.04 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は弧状を呈し、直線的に走行する。覆土は砂を多量に含み、褐灰色土ブロックを少量含む。　重複　As-B下水田、W－52より新しい。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－56号溝（Fig.15・19・20・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 163～166、Y 45～55）　主軸方向　N－21°－W　規模　長さ（33.91）m、上幅0.28～1.03 m、下幅0.21～0.66 m、深さ0.05 m。　形状等　調査区南西に検出。断面は不整形である。南東－北西方向に直線的に走行し、南端部は調査区外となり、北端部はW－34と重複する。溝内部は掘削痕と考えられる凹凸が多数確認された。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　重複　As-B下水田より新しく、W－34より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－57号溝（Fig.13・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 196～197、Y 34）　主軸方向　N－80°－E、N－16°－W。　規模　長さ（5.48）m、上幅0.73 m、下幅0.34 m、深さ0.08～0.14 m。　形状等　調査区東端にL字状に検出。断面は弧状を呈する。覆土はAs-Aを多量に含む褐灰色土。　重複　8号窪地より新しく、W－59より古い。　出土遺物　磁器碗の小片が2点、陶器碗の小片が2点、甕の小片が1点出土。　時期　覆土の状況と遺物の傾向から近世と考えられる。

A－1区W－58号溝（Fig.13・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 196～197、Y 34）　主軸方向　N－1°－W　規模　長さ（2.33）m、上幅0.7 m、下幅0.23 m、深さ0.2 m。　形状等　調査区東端に検出。断面は弧状を呈し、南北方向に走行する。溝内部に凹凸が確認された。覆土はAs-Bを多量に含む。　重複　W－57、8号窪地より古い。　出土遺物　陶器の壺・甕の小片が各1点、

土鍋の小片が2点出土。土鍋1点は16世紀代と考えられる。　**時期**　覆土の状況と重複関係、遺物の傾向から中世と考えられる。

A－1区W－59号溝（Fig.13・26・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 195～196、Y 31～35）　**主軸方向**　N－2°－E　**規模**　長さ（14.92）m、上幅4.06 m、下幅1.07 m、深さ0.85 m。　**形状等**　調査区東端に検出。断面は弧状を呈し、南北方向に走行する。覆土には砂質土が多量に含まれる層があり、通水していたと考えられる。また、木杭が南側では密集して、北側では列状に確認されており、W－15と状況が類似している。　**重複**　As-B下水田、W－44・57・60、8号窪地より新しい。　**出土遺物**　馬と思われる歯が1点出土。他に、磁器の碗、陶器の碗・皿・擂鉢、土鍋等の小片が各数点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世～現代と考えられる。　**備考**　米軍による1948年撮影の空中写真（USA-R1250-38）に本遺構に相当する水路が残っているため、圃場整備以前まで機能していた可能性がある。

A－1区W－60号溝（Fig.13・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 195、Y 32～35）　**主軸方向**　N－10°－W　**規模**　長さ（8.96）m、上幅0.9 m、下幅0.54 m、深さ0.4 m。　**形状等**　調査区東端に検出。調査区南壁では断面は弧状を呈する。溝中央は線状にやや高くなっている。北端部は撹乱により不明だが、W－44とは重複しないと考えられる。覆土は軽石の見られない黒褐色の砂質土である。　**重複**　As-B下水田、W－61より新しく、W－59より古い。　**出土遺物**　陶磁器の碗等の小片が数点、土鍋と平瓦片が各1点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係、遺物の傾向から近世と考えられる。

A－1区W－61号溝（Fig.13・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 195、Y 33～35）　**主軸方向**　N－11°－E、N－12°－W。　**規模**　長さ（13.15）m、上幅0.47 m、下幅0.24 m、深さ0.19 m。　**形状等**　調査区東端に検出。断面は台形状を呈する。調査区南壁の断面では1条だが、平面では2条に分かれ、北側でまた1条となる。覆土は灰黄褐色粘土ブロック・白色軽石を多量に含む砂質土。　**重複**　As-B下水田より新しく、W－60より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－62号溝（Fig.18・27）

位置　A－1区（X 196、Y 36～37）　**主軸方向**　N－9°－W　**規模**　長さ（1.81）m、上幅0.4 m、下幅0.2 m、深さ0.11 m。　**形状等**　調査区東端、トレンチ状調査区の東壁際に検出。断面は弧状を呈する。南北方向に直線的に走行する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　土鍋の小片が1点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－63号溝（Fig.13・27）

位置　A－1区（X 192～193、Y 33～35）　**主軸方向**　N－16°－W　**規模**　長さ（9.45）m、上幅0.27 m、下幅0.1 m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区東端付近に検出。断面は弧状を呈し、直線的に走行する。覆土はAs-Bを多量に含む。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－64号溝（Fig.12・27）

位置　A－1区（X 186～189、Y 33）　**主軸方向**　N－76°－E　**規模**　長さ（21.68）m、上幅（0.81）m、下幅（0.65）m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区東に検出。断面は弧状を呈する。重複するW－44の覆土を掘り下げた後に別遺構として認識したものであり、W－44と関連する遺構と考えられる。東西方向に走行し、東端部は続くと思われるが、浅くなり確認できなかった。部分的に凹凸が見られる。また、木杭を列状に確認した。　**重複**　As-B下水田、9号窪地より新しい。W－44とは時期が重なっていると考えられる。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－65号溝（Fig. 8・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 153～154、Y 32）　主軸方向　N－63°－E　規模　長さ（1.38）m、上幅0.72 m、下幅0.41 m、深さ0.09 m。　形状等　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向に走行する。覆土は灰黄褐色粘土ブロックを多量に含み、白色軽石を少量含むシルト質土。　重複　W－13・29より新しく、W－15より古い。　出土遺物　陶器の碗の小片が1点、土師器の坏の小片が2点出土。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－66号溝（Fig. 8・27）

位置　A－1区（X 153、Y 30～31）　主軸方向　N－61°－E　規模　長さ（1.51）m、上幅0.73 m、下幅0.46 m、深さ0.05 m。　形状等　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。覆土は白色軽石を少量含む砂質シルト。重複　W－12・13より新しく、W－11・15より古い。　出土遺物　陶器の碗の小片が1点出土。　時期　覆土の状況と遺物の傾向から近世と考えられる。

A－1区W－67号溝（Fig. 8・27）

位置　A－1区（X 152～153、Y 29～30）　主軸方向　N－88°－W　規模　長さ（1.66）m、上幅0.51～1.03 m、下幅0.23～0.65 m、深さ0.1 m。　形状等　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に直線的に走行する。北西端部は溝が続くと考えられる。覆土は灰黄褐色粘土ブロック・白色軽石を多量に含む砂質土。　重複　W－12より新しく、W－11・15より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－68号溝（Fig.18・27）

位置　A－1区（X 184～185、Y 37～41）　主軸方向　N－20°－W　規模　長さ（9.16）m、上幅0.18 m、下幅0.07 m、深さ0.18 m。　形状等　調査区東に検出。断面はV字状を呈する。直線的に走行し、南端部は調査区外となり、北端部は浅くなり確認できない。覆土はやや砂質でAs-Bを含まない。　重複　As-B下水田、W－43、11号窪地より新しい。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－69号溝（Fig.14・27）

位置　A－1区（X 152～153、Y 38）　主軸方向　N－83°－E　規模　長さ（3.59）m、上幅0.29～0.81 m、下幅0.13～0.57 m、深さ0.57 m。　形状等　調査区西壁中央に検出。断面はV字状を呈する。東西方向に走行し、壁際では2条に分かれている。覆土上部は、隣接するW－74覆土と同一で、白色軽石を多量に含む砂質シルト。重複　W－16・17より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。W－74とは覆土が同一であることから、同時期と考えられる。

A－1区W－70号溝（Fig.14・27）

位置　A－1区（X 154、Y 40）　主軸方向　N－45°－W　規模　長さ（1.48）m、上幅1 m、下幅0.79 m、深さ0.12 m。　形状等　調査区南西部に検出。断面は弧状を呈する。覆土は青灰色砂質土ブロックを多量、灰黄褐色粘土ブロックを少量含む砂質シルト。　重複　W－16より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－72号溝（Fig.14・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 153、Y 42）　主軸方向　N－82°－E　規模　長さ（1.54）m、上幅0.48～1.33 m、下幅0.34～0.84 m、深さ0.29 m。　形状等　調査区西壁中央に検出。断面は凹凸のある弧状を呈する。東西方向に走行する。溝内部は凹凸が多数ある。覆土は灰黄褐色粘土ブロック多量に含む砂質土。　重複　W－19より古いと考えられる。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－2区W－73号溝（Fig.22・27、PL. 6）

位置　A－2区（X 147～161、Y 31～33）　主軸方向　N－8°－W　規模　長さ（8.81）m、上幅（1.09）m、

下幅（0.56）m、深さ（0.24）m。　**形状等**　調査区北東隅に検出。断面は弧状を呈する。南北方向に走行する。覆土1層はⅦ層土をやや多量に含む。2層はAs-Bをやや多量に含む砂質土。ラミナ状の堆積が見られ、通水していたと考えられる。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－74号溝（Fig.14・27）

位置　A－1区（X 152～153、Y 38）　**主軸方向**　N－64°－E　**規模**　長さ（1.28）m、上幅0.38 m、下幅0.14 m、深さ0.32 m。　**形状等**　調査区西壁中央に検出。断面は台形状を呈する。東西方向に走行する。覆土は隣接するW－69覆土1層と同一で、白色軽石を多量に含む砂質シルト。　**重複**　W－17より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。W－69とは覆土が同一であることから、同一の時期と考えられる。

A－1区W－75号溝（Fig.14・27、PL. 6）

位置　A－1区（X 154～155、Y 45～48）　**主軸方向**　N－14°－E　**規模**　長さ（2.57）m、上幅0.35 m、下幅0.1 m、深さ0.23 m。　**形状等**　調査区南西側西端付近に検出。断面はV字状を呈する。南西－北東方向にに走行する。溝というよりも厭穴状の穴の連続という形状である。覆土1層は砂質土で、強い流水によって形成された遺構と考えられる。　**重複**　W－15・17・19より古いと推測される。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－76号溝（Fig.14・27）

位置　A－1区（X 153、Y 44）　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　長さ（0.75）m、上幅0.71 m、下幅0.46 m、深さ0.23 m。　**形状等**　調査区南西側西壁付近に検出。断面は台形状を呈する。底面にはやや凹凸がある。覆土は青灰色砂質土ブロックを多量に含む粘質土を主体とする。　**重複**　W－19より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－77号溝（Fig.14・19・28、PL. 6）

位置　A－1区（X 153～154、Y 45～49）　**主軸方向**　N－19°－W　**規模**　長さ（15.4）m、上幅0.23～0.9 m、下幅0.09～0.59 m、深さ0.09 m。　**形状等**　調査区南西隅に検出。断面は弧状を呈する。南東－北西方向に直線的に走行する。溝の南端部は検出されなかったが、続いていたと考えられる。溝内部は凹凸が多数確認された。覆土は灰黄褐色粘土ブロックを少量含む砂質土。　**重複**　W－79より新しい。　**出土遺物**　土師器の坏・甕の小片が数点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－78号溝（Fig.19・28、PL. 6）

位置　A－1区（X 153～154、Y 51）　**主軸方向**　N－6°－W　**規模**　長さ（1.11）m、上幅0.51 m、下幅0.25 m、深さ0.1 m。　**形状等**　調査区南西隅に検出。断面は弧状を呈する。南北方向に走行する。覆土は灰黄褐色粘土ブロックを多量に、As-Bをやや多量に含む。　**重複**　W－79より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－79号溝（Fig.14・19・28、PL. 6）

位置　A－1区（X 153、Y 48～51）　**主軸方向**　N－6°－W　**規模**　長さ（11.49）m、上幅（1.13）m、下幅（0.79）m、深さ0.09～0.17 m。　**形状等**　調査区北東隅に検出。断面は弧状を呈すると考えられる。南北方向に走行する。全体的に浅く、平面形状は不整形で、内部には凹凸がある。覆土は灰黄褐色粘土ブロックを多量に、As-Bをやや多量に含む。　**重複**　W－77・78より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－80号溝（Fig.10・24）

位置　A－1区（X 171～172、Y 24）　**主軸方向**　N－63°－E　**規模**　長さ（2.5）m、上幅0.38 m、下幅0.14 m、

深さ0.09m。 **形状等** 調査区北壁中央付近に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向に直線的に走行する。覆土は白色軽石とⅫ層土ブロックを少量含む。 **重複** As-B下水田、2号窪地より新しい。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－81号溝（Fig.14・28）

位置 A－1区（X 154、Y 45～46） **主軸方向** N－19°－W **規模** 長さ3.56m、上幅0.72m、下幅0.53m、深さ0.07m。 **形状等** 調査区南西側西壁付近に検出。断面は弧状を呈する。底面にはやや凹凸がある。覆土は白色軽石を多量、Ⅻ層土ブロックと考えられる灰黄褐色粘土ブロックを少量～多量含む砂質土。 **重複** なし。 **出土遺物** 須恵器の坏・蓋が各1点出土。 **時期** 覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－82号溝（Fig.14・28）

位置 A－1区（X 153～154、Y 45） **主軸方向** N－52°－E **規模** 長さ（1.9）m、上幅0.45～0.99m、下幅0.23m、深さ0.09m。 **形状等** 調査区南西側西壁付近に検出。断面は弧状を呈する。覆土は黒褐色砂質土ブロック・白色軽石を多量に含む粘質土。 **重複** W－19より古いと推測される。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－83号溝（Fig.16・17・28）

位置 A－1区（X 172～178、Y 44～45） **主軸方向** N－84°－E **規模** 長さ（23.35）m、上幅0.43m、下幅0.21m、深さ0.12m。 **形状等** 調査区南に検出。断面は弧状を呈し、東西方向に直線的に走行する。覆土にAs-Bは確認できない。 **重複** As-B下水田よりも新しい。 **出土遺物** 陶器の壺の小片が1点出土。 **時期** 覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－84号溝（Fig.21・28）

位置 A－1区（X 174～179、Y 48～50） **主軸方向** N－75°－E（東西方向）、N－15°－E（南北方向）。 **規模** 長さ（24.54）m、上幅0.33m、下幅0.12m、深さ0.13m。 **形状等** 調査区南にT字状に検出。断面はU字状を呈する。南北方向は途切れているが1条の溝として確認された。覆土はⅫ層土ブロックを少量含む。As-Bは見られない。 **重複** As-B下水田より新しい。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－1区W－85号溝（Fig.21・28）

位置 A－1区（X 174～180、Y 51～54） **主軸方向** N－70°－E、N－81°－E（東西方向）、N－16°－W（南北方向）。 **規模** 長さ（43.95）m、上幅0.29m、下幅0.17m、深さ0.05m。 **形状等** 調査区南壁付近に検出。平面形状は歪な格子状で、断面は台形状を呈する。底面にはやや凹凸がある。覆土は青灰色砂質土ブロックを多量に含む粘質土を主体とする。 **重複** As-B下水田より新しく、W－53より古い。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区W－86号溝（Fig.21・28）

位置 A－1区（X 174～175、Y 45） **主軸方向** N－80°－E **規模** 長さ（5.12）m、上幅0.3m、下幅0.12m、深さ0.04m。 **形状等** 調査区南南側に検出。断面は弧状を呈する。 **重複** As-B下水田より新しい。 **出土遺物** なし。 **時期** 重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－89号溝（Fig. 8・28、PL. 4）

位置 A－1区（X 152、Y 32～33） **主軸方向** N－66°－W **規模** 長さ（1.5）m、上幅1.17m、下幅0.35m、深さ0.23m。 **形状等** 調査区南北西隅に検出。断面は弧状を呈する。 **重複** W－16・17と重複する。新旧関係は不明である。 **出土遺物** なし。 **時期** 中世以降と考えられる。

A－1区W－90号溝（Fig. 8・28、PL. 4）

位置 A－1区（X 151～152、Y 33～34） **主軸方向** N－39°－W **規模** 長さ（2.52）m、上幅（1.69）m、

下幅（0.93）m、深さ0.13 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。　**重複**　W－17と重複する。新旧関係は不明である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　中世以降と考えられる。

A－1区W－91号溝（Fig.14・28）

位置　A－1区（X 152～154、Y 39）　**主軸方向**　N－81°－E　**規模**　長さ（4.62）m、上幅1.76～2.66 m、下幅1.38～2.24 m、深さ1.17 m。　**形状等**　調査区西壁際中央付近に検出。断面は弧状を呈する。平面形状は不整形である。　**重複**　W－92より古い。W－16・17との重複関係は不明である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－92号溝（Fig.14・27）

位置　A－1区（X 152～153、Y 37～40）　**主軸方向**　N－3°－W　**規模**　長さ（12.4）m、上幅（0.28）m、下幅（調査区外のため不明）、深さ（0.1）m。　**形状等**　調査区西壁際中央付近に検出。溝の大部分は調査区外となる。覆土上部はⅥ層が堆積し、下部は砂層が堆積する。　**重複**　W－19・91より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－1区W－93号溝（Fig.11・24、PL. 2）

位置　A－1区（X 177～178、Y 24～29）　**主軸方向**　N－29°－E、N－30°－W、N－76°－W。　**規模**　長さ（17.56）m、上幅0.27 m、下幅0.11 m、深さ0.04 m。　**形状等**　調査区北東北壁寄りに検出。断面は弧状を呈する。全体的に浅く、途切れる箇所がある。W－1に隣接し、走行方向が類似する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田より新しく、W－1より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

A－3区W－96号溝（Fig.23・28、PL. 7）

位置　A－3区（X 230～232、Y 59～61）　**主軸方向**　N－45°－W　**規模**　長さ（8.93）m、上幅（0.51）m、下幅（0.38）m、深さ（0.33）m。　**形状等**　調査区を南東－北西方向に横断する。断面は弧状を呈する。覆土はAs-A・Ⅺ層土ブロックを少量含む。　**重複**　W－97～99より新しい。　**出土遺物**　W－96～99の一括遺物として、青磁の碗小片が1点、陶磁器小片が十数点、土師器の坏小片が十数点、S字状口縁台付甕の小片が数点出土した。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－3区W－97号溝（Fig.23・28、PL. 7）

位置　A－3区（X 230～232、Y 59～61）　**主軸方向**　N－45°－W　**規模**　長さ（9.28）m、上幅（0.32）m、下幅（0.26）m、深さ0.36 m。　**形状等**　調査区を南東－北西方向に横断する。断面は弧状を呈する。覆土はAs-Aを少量含む。　**重複**　W－98～99より新しく、W－96より古い。　**出土遺物**　W－96～99の一括遺物として、青磁の碗小片が1点、陶磁器小片が十数点、土師器の坏小片が十数点、S字状口縁台付甕の小片が数点出土した。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

A－3区W－98号溝（Fig.23・28、PL. 7）

位置　A－3区（X 230～232、Y 59～61）　**主軸方向**　N－45°－W　**規模**　長さ（9.48）m、上幅（0.96）m、下幅（不明）、深さ（0.34）m。　**形状等**　調査区を南東－北西方向に横断する。断面はV字状を呈する。覆土上部はAs-Bを多量に含み、下部はⅪ層土ブロックを多量に含む。　**重複**　W－99より新しく、W－96・97よりも古い。　**出土遺物**　W－96～99の一括遺物として、青磁の碗小片が1点、陶磁器小片が十数点、土師器の坏小片が十数点、S字状口縁台付甕の小片が数点出土した。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世～近世と考えられる。

A－3区W－99号溝（Fig.23・28、PL. 7）

位置　A－3区（X 230～232、Y 59～61）　**主軸方向**　N－45°－W　**規模**　長さ（9.42）m、上幅（0.77）m、下幅0.17 m、深さ（0.32）m。　**形状等**　調査区を南東－北西方向に横断する。断面は台形状を呈する。覆土は

砂質土主体でラミナ状の堆積が観察され、通水していたと考えられる。　**重複**　W－96～98より古い。　**出土遺物**　W－96～99の一括遺物として、青磁の碗小片が1点、陶磁器小片が十数点、土師器の坏小片が十数点、S字状口縁台付甕の小片が数点出土した。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

B－4区W－1号溝（Fig.44・45、PL.16）

位置　B－4区（X 226～230、Y 44～47）　**主軸方向**　N－76°－E、N－110°－W。　**規模**　長さ（25.26）m、上幅0.58～1.47m、下幅0.15～0.5m、深さ0.13～0.18m。　**形状等**　T字形に検出。断面は弧状を呈する。底面は南に向かって緩やかに傾斜する。東西方向の方が幅が広く、中段を有する。覆土はAs-Bをやや多量に含み、Ⅻb層土ブロックを少量含む。　**重複**　As-B下水田、W－4より新しい。　**出土遺物**　陶磁器・軟質陶器・須恵器・土師器の小片が数点出土。　**時期**　覆土の状況と遺物の傾向から近世以降と考えられる。

B－3区W－2号溝（Fig.44・45、PL.17）

位置　B－3区（X 217～221、Y 44～45）　**主軸方向**　N－73°－E、N－19°－W。　**規模**　長さ（22.52）m、上幅0.89～1.73m、下幅0.42～0.73m、深さ0.21m。　**形状等**　T字形に検出。断面は弧状を呈する。底面は西に向かって緩やかに傾斜する。東西方向の方が幅が広く、中段を有する。覆土はAs-Bをやや多量に含み、Ⅻb層土ブロックを少量含む。　**重複**　As-B下水田より新しく、W－5より古い。　**出土遺物**　陶磁器・軟質陶器・須恵器の小片が各数点、土師器の小片が十数点出土。　**時期**　覆土の状況と遺物の傾向から近世以降と考えられる。　**備考**　隣接する南部拠点地区遺跡群No.10のC区W－29・30と同一の遺構と考えられる。

B－3区W－3号溝（Fig.44・45、PL.17）

位置　B－3区（X 218～221、Y 45～46）　**主軸方向**　N－74°－E　**規模**　長さ（9.77）m、上幅0.26～0.7m、下幅0.15～0.29m、深さ0.07m。　**形状等**　調査区中央に検出。断面は弧状を呈する。底面は西に向かって緩やかに傾斜する。中央部は試掘トレンチにより不明だが、調査区の東西を横断する。覆土はAs-Bを主体とする。　**重複**　As-B下水田、W－4よりも新しい。　**出土遺物**　S字甕の小片が1点出土。　**時期**　覆土の状況から中世以降と考えられる。　**備考**　隣接する南部拠点地区遺跡群No.10のC区W－32と同一の遺構と考えられる。

B－3区W－5号溝（Fig.44・45）

位置　B－3区（X 219～221、Y 44～45）　**主軸方向**　N－76°－E　**規模**　長さ（7.33）m、上幅（0.51）m、下幅（0.63）m、深さ0.06m。　**形状等**　調査区やや北側に検出。断面は弧状を呈する。掘り込みは浅く、W－2と走行方向をほぼ同じくする。東端は調査区中央付近で途切れる。覆土はAs-Bを少量含む。　**重複**　新旧関係はAs-B下水田、W－2より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。

B－2区W－6号溝（Fig.43・46、PL.17）

位置　B－2区（X 211～219、Y 30～35）　**主軸方向**　N－81°－E、N－84°－W（南北方向）、N－15°－W（東西方向）。　**規模**　長さ（49.73）m、上幅0.39～0.81m、下幅0.17～0.4m、深さ1.98m。　**形状等**　十字形に検出。断面は台形状を呈する。南北方向の溝は東西方向との接続部分でクランクし、北側はやや幅が狭く、底面は南に向かって緩やかに傾斜する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田、W－8より新しい。　**出土遺物**　陶磁器・土鍋・須恵器・土師器・S字甕の小片が各数点出土。　**時期**　覆土の状況と遺物の傾向から近世以降と考えられる。　**備考**　隣接する南部拠点地区遺跡群No.10のC区W－19・20・28と同一の遺構と考えられる。

B－2区W－7号溝（Fig.43・46）

位置　B－2区（X 216～218、Y 35）　**主軸方向**　N－76°－E　**規模**　長さ（6.39）m、上幅0.19～0.27m、下幅0.09～0.18m、深さ0.05m。　**形状等**　調査区南東側で検出。断面は台形状を呈する。ほぼ直線的に東西方向に走行する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時**

期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

B－2区W－9号溝（Fig.43・46）

位置　B－2区（X 216～219、Y 35～36）　**主軸方向**　N－78°－E　**規模**　長さ（9.22）m、上幅0.85～1.04 m、下幅0.34～0.53 m、深さ0.21 m。　**形状等**　調査区南東側で検出。断面は台形状を呈する。東西方向にほぼ直線的に走行する。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係、形状等から近世以降と考えられる。　**備考**　隣接する南部拠点地区遺跡群No.10のC区W－22・26と同一の遺構と考えられる。

B－1区W－10号溝（Fig.42・46）

位置　B－1区（X 204～206、Y 48～49）　**主軸方向**　N－73°－E　**規模**　長さ（8.87）m、上幅2.41～3.05 m、下幅1.35～1.53m、深さ0.78 m。　**形状等**　調査区南端に検出。断面は弧状を呈する。およそ東西方向に走行する。覆土はAs-Bを主体とし、にぶい黄褐色砂質土ブロックを少量含む。　**重複**　As-B下水田より新しく、6号窪地より古い。　**出土遺物**　土師器坏・高坏・甕の小片が数点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係からAs-B降下以降の平安時代末から中世と考えられる。　**備考**　覆土がB－1区で検出された2～6号窪地に類似している。周囲の洪水跡とは軸方向が異なるが、本遺構も洪水跡の可能性がある。

B－1区W－15号溝（Fig.41・46、PL.17）

位置　B－1区（X 202～204、Y 35～36）　**主軸方向**　N－88°－E　**規模**　長さ（8.76）m、上幅3.31～4.53 m、下幅1.74～2.89m、深さ0.21 m。　**形状等**　調査区南側で検出。断面は弧状を呈する。ほぼ東西方向に走行する。北辺は突出部があり不整形である。覆土はAs-Bを主体とし、にぶい黄褐色砂質土ブロックを含む。
重複　As-B下水田、1号窪地より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と層位からAs-B降下以降の平安時代末から中世と考えられる。　**備考**　覆土がB－1区で検出された2～6号窪地に類似している。周囲の洪水跡とは軸方向が異なるが、洪水跡の可能性がある。

B－1区W－16号溝（Fig.42・46）

位置　B－1区（X 204、Y 49～50）　**主軸方向**　N－26°－W　**規模**　長さ（1.1）m、上幅（0.34）m、下幅（0.27）m、深さ（0.56）m。　**形状等**　調査区南西隅に検出。遺構の大部分は調査区外となる。断面は弧状を呈すると推定される。やや東に傾きながら南北方向に走行する。覆土はAs-Bを少量含む。　**重複**　As-B下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から近世以降と考えられる。　**備考**　隣接する南部拠点地区遺跡群No.11のW－1と同一の遺構で、今回A－1区で検出されたW－59と同一遺構と考えられる。

耕作痕

A－1区で5基確認され、範囲を破線で図示した。鋤による掘削痕と考えられる凹凸の集合体で、等間隔に並んで列状に掘削痕が見られる箇所もあるが、多くは掘削痕が重複した形となっている。耕作痕範囲は不定形だが、2・11号窪地については概ね南西－北東方向が掘削の方向であったと推測される。覆土はAs-Bをやや多量～主体的に含み、Ⅺ・Ⅻ層の粘質土ブロックを含む。覆土はAs-B一次堆積層というよりもⅨ層土（As-B混土）に近い様相を呈していることが多いため、時期は中世と推定される。また、8号窪地は覆土の状況から重複するW－58とは時期がそれほど離れていないと考えられる。W－58の出土遺物の時期は全て中世で、最も新しい時期の遺物は16世紀代の土鍋片である。したがって、8号窪地については中世後半に比定できるだろう。

A－1区2号窪地（Fig. 8～10・24・28、PL. 7）

位置　A－1区（X 150～172、Y 24～36）　**規模**　長軸（78.86）m、短軸8.02 m、深さ0.07～0.09 m。
形状等　調査区北西に検出。平面形状は不整形で、概ね南西－北東方向に細長い形状をしている。溝内部は掘削痕と考えられる凹凸が顕著に認められた。覆土はAs-B主体で、Ⅻ層と考えられる褐灰色粘土ブロックを少量

含む。　**重複**　As-B 下水田、W－6、1・3号窪地より新しく、W－8・17・20・23・24・27・28・80、D－57・70より古い。　**出土遺物**　土師器の坏が1点、砥石の小片が1点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区4号窪地（Fig.13・29、PL. 7）

位置　A－1区（X 193、Y 30～31）　**規模**　長軸2.5 m、短軸1.72 m、深さ0.02～0.12 m。　**形状等**　調査区東壁付近に検出。平面形状は不整形で、溝内部は掘削痕と考えられる凹凸が顕著に認められた。　**重複**　As-B 下水田より新しい。　**出土遺物**　なし。　**時期**　中世と考えられる。

A－1区7号窪地（Fig.13・26・29、PL. 6）

位置　A－1区（X 195、Y 31）　**規模**　長軸2.1 m、短軸0.94 m、深さ0.16 m。　**形状等**　調査区東壁際に検出。平面形状は不整な長楕円形で、溝内部は掘削痕と考えられる凹凸が顕著に認められた。覆土は As-B を多量に含む。　**重複**　As-B 下水田より新しく、W－50・59より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区8号窪地（Fig.13・27・29、PL. 6）

位置　A－1区（X 196～197、Y 34）　**規模**　長軸（3.1）m、短軸（2.24）m、深さ0.08～0.19 m。　**形状等**　調査区東端東壁近くに検出。複数の溝と重複し、平面形状は不明である。溝内部は掘削痕と考えられる凹凸が顕著に認められた。覆土は As-B 主体で、Ⅸ層土ブロックを少量含む。　**重複**　As-B 下水田、W－58より新しく、W－57・59より古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から中世と考えられる。

A－1区11号窪地（Fig.16～18・26・29、PL. 7）

位置　A－1区（X 170～187、Y 34～39）　**規模**　長軸59.01 m、短軸0.75～4.19 m、深さ0.09～0.13 m。　**形状等**　調査区中央から東にかけて検出。平面形状は不整形で、概ね南西－北東方向に細長い形状をしている。溝内部は掘削痕と考えられる凹凸が顕著に認められた。覆土は他の耕作痕と同様である。　**重複**　As-B 下水田より新しく、W－44・68、D－92・123・213より古い。D－254との新旧関係は不明である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から中世と考えられる。

洪水跡

A－1区で9基、B－1区で5基検出された。平面形状は南東－北西方向に長いものが多い。また、北西端部がやや深く窪み、南東に向かって幅の広がる窪地（A－1区12・14号、B－1区6号）が見られ、洪水は北西から南東へ流れたと推定される。北西から南東へ傾斜する地形が影響したと考えられる。覆土は洪水砂（粒径の細かい黄色味がかったシルト～砂）と As-B で構成されている。覆土に含まれる As-B は一次堆積層に近いことから、洪水跡の時期は As-B 降下後の平安時代末期～中世と考えたい。

A－1区1号窪地（Fig. 9・10・28、PL. 7）

位置　A－1区（X 164～169、Y 27～29）　**規模**　長軸14.11 m、短軸0.95～6.63 m、深さ0.13 m。　**形状等**　調査区北西側北壁寄りに検出。断面は弧状を呈し、平面形状は不整形である。　**重複**　As-B 下水田より新しく、W－2・10、2号窪地より古い。　**出土遺物**　木杭の先端部が1点出土。　**時期**　覆土の状況から As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区3号窪地（Fig. 9・28・29）

位置　A－1区（X 162～163、Y 29～30）　**規模**　長軸5.18 m、短軸2.38 m、深さ0.09 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈し、平面形状は不整形である。　**重複**　As-B 下水田より新しく、2号窪地よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区5号窪地（Fig.13・29、PL. 7）

位置　A－1区（X 192～193、Y 32～33）　規模　長軸 6.89 m、短軸 2.22 m、深さ 0.18 m。　形状等　調査区東壁付近に検出。断面は弧状を呈し、平面形状は長楕円形である。覆土は As-B をやや多量に含む細粒砂質土と、砂質土を少量含むシルト質土を基調とする。As-B をブロック状に含んでおり、強い水流により As-B 一次堆積層が削られ洪水砂に巻き込まれたものと考えられる。　重複　As-B下水田より新しく、W－44より古い。　出土遺物　須恵器の坏の小片が2点、土師器の高坏の小片が1点出土。　時期　覆土の状況から As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区6号窪地（Fig.12・32、PL. 7）

位置　A－1区（X 188～189、Y 34～35）　規模　長軸（3.72）m、短軸 1.83 m、深さ 0.12 m。　形状等　調査区東に検出。断面は弧状を呈し、平面は長楕円形である。　重複　As-B下水田より新しい。　出土遺物　なし。　時期　As-B 降下以降の平安時代末から中世と考えられる。

A－1区9号窪地（Fig.12・29）

位置　A－1区（X 186～187、Y 32～33）　規模　長軸（4.43）m、短軸 1.07 m、深さ 0.04 m。　形状等　調査区東に検出。断面は弧状を呈し、平面形状は溝状に細長い。　重複　As-B下水田より新しく、W－64より古い。　出土遺物　なし。　時期　As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区10号窪地（Fig.12・29、PL. 7）

位置　A－1区（X 187～188、Y 34～35）　規模　長軸（5.22）m、短軸 3.06 m、深さ 0.19 m。　形状等　調査区東に検出。断面は弧状を呈し、平面形状は長楕円形である。内部は凹凸が部分的にある。　重複　As-B下水田より新しく、W－44より古い。　出土遺物　須恵器の坏の小片が1点出土。　時期　As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区12号窪地（Fig.10・29、PL. 7）

位置　A－1区（X 170～173、Y 25～28）　規模　長軸 16.68 m、短軸 11.22 m、深さ 0.13 m。　形状等　調査区中央北壁近くに検出。断面は弧状を呈し、平面形状は不整形である。北西部の突出部付近は他よりもやや深い窪みとなっている。覆土は他の洪水跡の窪地と同様である。　重複　As-B下水田より新しく、W－2より古い。　出土遺物　なし。　時期　As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区13号窪地（Fig.10・11・30、PL. 8）

位置　A－1区（X 174～177、Y 24～27）　規模　長軸 18.42 m、短軸 0.54～3.65 m、深さ 0.1 m。　形状等　調査区中央北壁近くに検出。断面は弧状を呈し、平面は南東－北西方向の細長い溝状である。覆土は As-B をやや多量に含む、粒径の細かい砂質土で、ラミナ状の堆積が確認された。　重複　As-B下水田より新しく、W－1より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況から As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

A－1区14号窪地（Fig.11・12・30、PL. 8）

位置　A－1区（X 177～182、Y 25～29）　規模　長軸 22.34 m、短軸 7.49 m、深さ 0.27 m。　形状等　調査区北東側北壁付近に検出。断面は弧状を呈し、平面は不整形である。北西端部は他よりもやや深い窪みとなっている。　重複　As-B下水田より新しい。　出土遺物　なし。　時期　As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

B－1区2号窪地（Fig.41・46、PL.17）

位置　B－1区（X 203～204、Y 37～39）　規模　長軸（6.62）m、短軸 4.58～5.37 m、深さ 0.09～0.18 m。形状等　調査区中央に検出。断面は弧状を呈する。平面は不整形である。覆土は As-B とにぶい黄褐色砂質土を主体とし、これらが互層に堆積しラミナ状を呈する。　重複　As-B下水田より新しい。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況から As-B 降下以降の平安時代末～中世と考えられる。　備考　北・西辺の突出部が洪水の流

入方向を示す痕跡と考えられる。

B－1区3号窪地（Fig.42・46・47、PL.17）

位置　B－1区（X 205～206、Y 41～43）　規模　長軸6.43 m、短軸1.35～2.07 m、深さ0.06 m。　形状等　調査区中央に検出。断面は弧状を呈する。平面は不整形な長楕円形である。4号窪地と規模・形状等が類似する。　重複　新旧関係はAs-B下水田より新しい。　出土遺物　なし。　時期　As-B降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

B－1区4号窪地（Fig.42・46・47、PL.17）

位置　B－1区（X 205、Y 42～43）　規模　長軸5.45 m、短軸1.24～1.32 m、深さ0.08 m。　形状等　調査区中央に検出。断面は弧状を呈する。平面は不整形な長楕円形である。3号窪地と規模・形状等が類似する。　重複　新旧関係はAs-B下水田より新しい。　出土遺物　なし。　時期　As-B降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

B－1区5号窪地（Fig.42・47、PL.17）

位置　B－1区（X 204～206、Y 44～46）　規模　長軸（15.31）m、短軸0.86～2.02 m、深さ0.05～0.2 m。　形状等　調査区南に検出。断面は弧状を呈する。平面形状は溝状で、南東端部は不整形な楕円形状である。　重複　新旧関係はAs-B下水田・W－12より新しい。　出土遺物　なし。　時期　As-B降下以降の平安時代末～中世と考えられる。

B－1区6号窪地（Fig.42・47、PL.17）

位置　B－1区（X 206～207、Y 47～49）　規模　長軸（6.01）m、短軸3.7～（4.25）m、深さ0.07～0.27 m。　形状等　調査区南壁際に検出。断面は弧状を呈する。平面は不整形で、北側の突出部から楕円形上に小窪みを有する。覆土はAs-Bを多量に含むにぶい黄褐色土である。　重複　As-B下水田・W－10より新しい。　出土遺物　なし。　時期　As-B降下以降の平安時代末～中世と考えられる。　備考　北辺の突出部が洪水の流入方向を示していると考えられる。

道路状遺構

A－1区A－1号道路状遺構（D－77～87号土坑）（Fig. 8・30、PL. 8）

位置　A－1区（X 155～156、Y 36～37）　主軸方向　N－43°－E　規模　長さ（4.28）m、幅（2.33）m。　形状等　調査区北西側西壁寄りに検出。南西－北東方向に走行する。小窪みが列状に2列並び、D－83～87は波板状を呈する。硬化面は確認されなかったが、道路状遺構と考えられる。覆土はAs-Bをやや多量に含む。　重複　As-B下水田よりも新しく、W－27より古い。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況と重複関係から中世以降と考えられる。

土坑、工具痕、中世以降の畠・水田（Fig. 8・9、38・30～38・40・47、Tab. 2、PL. 2・8）

土坑はA－1・2区で264基、B区で3基検出した。土坑の計測値についてはTab. 2を参照のこと。すべてAs-B降下以降に掘削された遺構で、時期は中世以降と想定される。A－2区のD－230～236・238は列状に並ぶ。この土坑列はA－1区のA－1号道路状遺構と類似するが、位置がずれているため、別遺構と考えられる。隣り合う土坑同士の間隔は、D－238・230～232の間では中心から中心で1.04～1.16 mである。D－232～236の間では1.3～1.48 mである。土坑列は水田面削平範囲に沿って並んでいるが、関係性は不明である。また、この削平範囲の西壁断面226とA－2区畦畔断面68では、As-B混土層であるⅦb層の盛り上がりが確認されており、中世の畠の畝あるいは水田の畦畔と考えられる。A－1区畦畔断面21においても、Ⅵ層の洪水層を含んだ畝あるいは畦畔状の高まりが確認された。高まりはAs-Aと思われる白色軽石が少量含まれているた

め、時期は近世以降と考えられる。この他、A－1区北西側北壁付近に、南北に細長い範囲で工具痕が確認され、破線で図示した。同様の工具痕はA－1区の南西でも部分的に確認されている。工具痕の平面形状は半円形で、半円部分を北に向けて等間隔に並んでいる。鋤による耕作痕で、北から南へ向かって作業したと推測される。

（3）As-B下

As-B下水田

A－1区（Fig. 8～21・38～40、Tab. 3、巻頭図版2～4、PL. 9～13）

被覆層と水田の残存状況　水田面を覆うAs-B一次堆積層の厚さは0～16cmである。全体図に示したAs-B削平範囲線から西側は、一次堆積層が残存しておらず、As-B混土層（Ⅶ・Ⅸ層）に被覆されている。A－1区ではAs-B降下後の溝85条、窪地14基、土坑253基によって水田面が削平されている。特に調査区西壁沿いは中世～現代の溝が集中し、水田面は大きく削平されている。全体としては畦畔の残存状況は良好と言えるが、後世の削平や土圧によって畦畔が削られていたり、途切れていたりする箇所が確認されている。　**水田域の地形**　水田面は北西から南東へ向かって緩やかに傾斜している。調査区四隅の比高差は、北西隅から北東隅では0.31 m、北西隅からトレンチ状の調査区東端（2面8号確認トレンチ付近）では0.71 m、北西隅から南東隅では0.43 m、北西隅から南西隅では0.32 mである。　**畦畔の走向と区画**　東西方向の主な畦畔は13条、南北方向は11条検出された。その他により細かく区画する東西・南北方向の畦畔が各所で確認された。畦畔は概ね東西・南北方向に走行しているが、調査区中央やや北寄りの水田に対して斜行する二重畦畔から東にかけては、畦畔が斜行している。また、畦畔断面26では畦畔は段差状を呈する。坪境の大畦畔は東西方向で1条、南北方向で2条検出された。東西大畦畔は調査区南側に位置し、上幅0.32～1.2 m、下幅0.67～1.36 m、高さ0.03～0.07 mである。坪境交点付近では複数の小窪みが畦畔上に確認された。小窪みの覆土はAs-B一次堆積層である。西側の後世の溝に近い箇所は削平されて大畦畔の確認が困難であった。坪境交点付近より東側についても、大畦畔の高まりがやや削平されていた。南北大畦畔は、1条は調査区やや西寄りに位置し、上幅1.36～1.72 m、下幅1.36～1.72 m、高さ0.08 mで、溝（W－88）を有する畦畔である。畦畔の残存状況は良好である。もう1条の南北大畦畔は調査区東端に位置し、上幅0.94 m、下幅0.7 m、高さ0.04～0.09 mである。この大畦畔は北側がW－59～61、7号窪地、攪乱によって大部分が削平されている。　**耕作土**　水田耕作土表層に耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認されなかった。　**取配水の方法**　水口は24ヶ所確認された。水田面全体には、地形の傾斜に従って北西から南東へ水を流したと考えられる。溝はW－43・87・88が検出された。W－43は北西端部は不明であるが、南東の水田面へ配水するための小水路と考えられる。W－87はおそらく水田面30の余水をW－88へ配水する水路と推測される。W－88は大畦畔上の水路で、水口を通じて西側の坪の水田の余水を集め、東側の坪の水田へは、水口の位置や形状から、給水した箇所と排水した箇所の両方があったと考えられる。　**足跡**　水田面に凹凸は確認されたが、明確な歩行列は確認されなかった。　**出土遺物**　灰釉陶器の皿が1点、須恵器の坏・塊・甕が各数点、土師器の坏・甕が四十数点出土しているが、いずれも小片のため図示しなかった。

備考　調査区北東側北壁寄りの水田面上に置石と考えられる石が10個確認されており、範囲を図示した。

A－2区（Fig.22、Tab. 3、PL. 1）

被覆層と水田の残存状況　水田面を覆うAs-B一次堆積層はほとんど残存せず、As-B混土層のⅦ・Ⅸ層に被覆されていた。畦畔の高まりは削られており、水田面全体も凹凸が削られている状況であった。破線で示した水田面削平範囲は完全に水田面が残存していない。調査区北東は中世以降のW－73と現代の溝（攪乱）が水田面を切っている。その他、11基の後世の土坑に切られている。　**水田域の地形**　水田面は北西から南東へ向かって緩やかに傾斜している。調査区四隅の比高差は、北西隅から北東隅では0.06 m、北西隅から南東隅では0.24 m、北西隅から水田面が残る南西隅では0.08 mである。攪乱とW－73の間の水田面で、D－237から南側はやや

傾斜が急になっているが、これは撹乱の影響である。　**畦畔の走向と区画**　東西方向で２条、南北方向で１条検出された。概ね東西・南北方向に走行する。　**耕作土**　水田耕作土表層に耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認されなかった。　**取配水の方法**　水口は確認されなかった。傾斜に従って、北西から南東へ配水していたと考えられる。　**足跡**　確認されなかった。　**出土遺物**　なし。

Ｂ－１区（Fig.41・42・45、Tab. 3、PL.14・17・18）

被覆層と水田の残存状況　水田面を被覆する As-B 一次堆積層の厚さはおよそ０～９cm である。As-B 層が良好に残存している箇所では、水田面直上に As-B 堆積最下位の灰色細粒火山灰の薄層を確認した。As-B 降下以降の溝跡３条、窪地５基により削平を受けている。調査区南半分は現代の用水路跡の撹乱を受けているが、他のＢ区の調査区と比較して水田面の残存状況は良好である。Ｂ－２～４区は微高地であったため後世の溝による削平を受けているが、Ｂ－１区は谷地形であったため溝の削平を受けなかったと考えられる。　**水田域の地形**　水田面は北西から南東にかけて緩やかに傾斜している。東西大畦畔の南側では、西から東へ向かって傾斜している。調査区の比高差は、北西から北東は 0.08 m、北西から南東は 0.34 m、北西から南西は 0.25 mである。　**畦畔の走向と区画**　畦畔は東西方向で４条、南北方向で２条検出された。基本的に東西・南北方向に走行するが、湾曲あるいは斜行する畦畔もある。水田面は８面あり、水田面 159 と 160 を分ける南北畦畔は南へ向かって高まりが小さくなり確認できないが、これは古い畦畔が残ったものと考えられる。また、畦畔断面４のある東西畦畔は南に下がる段差状となっている。最も南に位置する東西畦畔は大畦畔で、上幅 0.28 ～ 0.71 m、下幅 0.52 ～ 0.93、高さ 0.02 ～ 0.05 mである。小畦畔と比較して顕著な盛り上がりが確認でき、断面観察では畦畔構築土に薄い黒色粘質土層を多量に含む層が確認された（畦畔断面３）。炭化物もしくは泥炭質層と推測される。　**耕作土**　水田耕作土表層に耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認されなかった。　**取配水の方法**　水口は確認できなかった。地形の傾斜から、北西から南東へ配水していたと考えられる。Ｗ－13・14、１号窪地は水田の排水路として機能していたと考えられる。　**出土遺物**　土師器の坏・甕、須恵器の甕が数点出土しているが、いずれも小片のため図示には至らなかった。

Ｂ－２区（Fig.43・45、Tab. 3、PL.15）

被覆層と水田の残存状況　水田面を被覆する As-B 一次堆積層の厚さはおよそ０～８cm である。As-B は調査区の北側ほど厚く堆積しているが、南に向かって薄くなる。後世の溝４条、土坑３基によって削平を受けている。また、図面には記録していないが、耕作機械による東西方向の筋状の痕跡がＢ－２～４区全体で確認されている。　**水田域の地形**　水田面は北東から南西にかけて緩やかに傾斜している。調査区の比高差は北東から北西は 0.06 m、北東から南西も 0.06 m、北東から南東は 0.09 mである。　**畦畔の走向と区画**　畦畔は東西方向で２条、南北方向で２条検出され、水田面は７面ある。比高差が小さいため、傾斜に応じて斜行するような畦畔は見受けられず、基本的に東西・南北方向に走行している。　**耕作土**　水田耕作土表層に耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認されなかった。　**取配水の方法**　水口は確認できなかった。地形の傾斜から、北東から南西へ配水していたと考えられる。　**出土遺物**　青磁碗の小片が出土したが、上層からの混入と考えられる。

Ｂ－３区（Fig.44・45、Tab. 3、PL.15）

被覆層と水田の残存状況　Ｂ－３区では水田面を被覆する As-B 一次堆積層は確認できず、東西大畦畔に沿って走行する溝（Ｗ－４）の覆土中でのみ確認された。いわゆる As-B 混土層（Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ層）は大部分が残存しておらず、As-B 下耕作土層（Ⅺ層）の直上には現代の耕作土層（Ⅱ・Ⅲ層）が堆積していた。水田面全体も削平を受けており、畦畔は平面的には確認できなかった。　**水田域の地形**　北西から南東にかけて緩やかに傾斜する。調査区の比高差は北西から北東は 0.01 m、北西から南東は 0.07 m、北西から南西は 0.06 mである。　**畦畔の走向と区画**　周辺の調査報告から、調査区中央に小溝を伴う東西大畦畔が検出されることが想定されていた。平面では畦畔の高まりは明確に確認できなかったが、As-B に直接埋没したＷ－４と、調査区東壁断面 17 にお

いてAs-B下耕作土基盤層の高まりが確認されるなど、大畦畔の痕跡が確認された。　**耕作土**　水田耕作土表層が削平されていたため、耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認できなかった。　**取配水の方法**　水口は確認できなかった。　**出土遺物**　水田に伴う遺物は出土しなかった。

B－4区（Fig.44・45、Tab. 3、PL.16）

被覆層と水田の残存状況　B－3区と残存状況は同様である。　**水田域の地形**　北西から南東にかけて緩やかに傾斜する。調査区の比高差は北西から北東は0.11 m、北西から南東は0.13 m、北西から南西は0.04 mである。**畦畔の走向と区画**　東西方向で1条、南北方向で1条検出された。東西方向の畦畔は大畦畔で、調査区中央の東壁付近で緩やかな高まりが確認でき、畦畔断面1においてもAs-B下耕作土層（Ⅺ層）の盛り上がりが観察された。　**耕作土**　水田耕作土表層が削平されていたため、耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認できなかった。　**取配水の方法**　水口は確認できなかった。　**出土遺物**　土師器坏・甕が数点出土したが、小片のため図示には至らず。

溝

A－1区W－43号溝（Fig.17・18・40、PL.12）

位置　A－1区（X 178～185、Y 37～42）　**主軸方向**　N－35°－W、N－64°－W。　**規模**　長さ（50.34）m、上幅0.37～1.69 m、下幅0.13～1.3 m。　深さ0.03～0.05 m。　**形状等**　調査区東に検出。断面は弧状を呈する。北西端部は11号窪地に削平されている。2条に分かれ、1条は畦畔に平行し、1条は水田区画に対して斜行する。底面は緩やかに南東方向に傾斜する。As-B一次堆積層を覆土とする。　**重複**　W－68、11号窪地、D－145より古い。As-B下水田とは同時期である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　平安時代末期。　**備考**　水田面は北西から南東に向かって配水していると考えられ、本遺構は南東へ導水するための小水路と考えられる。

A－1区W－87号溝（Fig.16・40）

位置　A－1区（X 168、Y 38～39）　**主軸方向**　N－17°－E　**規模**　長さ6 m、上幅0.59 m、下幅0.38 m、深さ0.07 m。　**形状等**　調査区中央西寄りに検出。断面は弧状を呈する。W－88へ排水する小水路と推定される。As-B一次堆積層を覆土とする。　**重複**　W－21、D－34より古い。As-B下水田、W－88とは同時期である。**出土遺物**　なし。　**時期**　平安時代末期。

A－1区W－88号溝（Fig.10・16・20・40、PL.13）

位置　A－1区（X 168、Y 24～52）　**主軸方向**　N－1°－E　**規模**　長さ（113）m、上幅0.55～1.91 m、下幅0.24～1.56 m、深さ0.04～0.17 m。　**形状等**　調査区中央西寄りに検出。断面は弧状を呈する。大畦畔上の水路と考えられる。溝から西の水田面に対しては排水、東の水田面に対しては給排水の機能を持つと考えられる。As-B一次堆積層を覆土とする。　**重複**　W－10・21・30、1・2号窪地、D－33・105・158より古い。As-B下水田、W－87とは同時期である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　平安時代末期。

B－3・4区W－4号溝（Fig.44・45、PL.16・17）

位置　B－3区（X 218～221、Y 46）・4区（X 226～228、Y 45～46）　**主軸方向**　3区N－90°－E、4区N－81°－W、N－87°－W。　**規模**　長さ3区（14.82）m、4区（9.84）m、上幅0.54～0.97 m、下幅0.27～0.77、深さ0.04～0.21 m。　**形状等**　調査区中央の東西大畦畔に沿って検出。東端部は削平により確認できなかった。断面は不整形な弧状を呈する。ほぼ東西方向に走行する。列状ではないが、掘削痕と見られる凹凸が所々確認された。As-B一次堆積層を覆土とする。　**重複**　W－1・3より古い。As-B下水田とは同時期である。**出土遺物**　なし。　**時期**　平安時代末期。　**備考**　通水のための溝ではなく、大畦畔に土を盛るために掘削された溝と考えられる。

B－2区W－8号溝（Fig.43・46、PL.18）

位置　B－2区（X 212～215、Y 31～35）　主軸方向　N－41°－W　規模　長さ（18.81）m、上幅0.41～0.76 m、下幅0.17～0.4 m、深さ0.03 m。　形状等　調査区西に検出。断面は弧状を呈する。北西－南東方向に直線的に走行する。As-B下水田検出時に確認された遺構で、As-B一次堆積層を覆土とする。南東端で畦畔と重複するが、畦畔は切っていない。　重複　W－6より古い。As-B下水田とは同時期である。　出土遺物　なし。　時期　平安時代末期。

B－1区W－11号溝（Fig.42・46）

位置　B－1区（X 203～206、Y 43～44）　主軸方向　N－68°－W、N－83°－W。　規模　長さ（14.1）m、上幅0.43～0.71 m、下幅0.11～0.35 m、深さ0.04 m。　形状等　調査区南に検出。断面は弧状を呈する。やや湾曲し、W－12と接する。As-B下水田検出時に確認された遺構で、As-B一次堆積層を覆土とする。　重複　As-B下水田、W－12とは同時期である。　出土遺物　なし。　時期　平安時代末期。

B－1区W－12号溝（Fig.42・46）

位置　B－1区（X 206～207、Y 44～45）　主軸方向　N－41°－E　規模　長さ（5.85）m、上幅0.33～0.44 m、下幅0.12～0.21 m、深さ0.03 m。　形状等　調査区南に検出。断面は弧状を呈し、W－11と接する。As-B下水田検出時に確認された遺構で、As-B一次堆積層を覆土とする。　重複　As-B下水田、W－11とは同時期である。　出土遺物　なし。　時期　平安時代末期。

B－1区W－13号溝（Fig.42・46、PL.18）

位置　B－1区（X 207、Y 44～45）　主軸方向　N－0°－E、N－10°－W。　規模　長さ（4.73）m、上幅0.51～0.98 m、下幅0.32～0.51 m、深さ0.06 m。　形状等　調査区南の東壁沿いに検出。断面は弧状を呈する。東壁付近で湾曲し東西大畦畔に向かって南北方向に走行する。南端部は大畦畔に接するが、畦畔を切ってはいなかった（断面28）。大畦畔を越えた先は撹乱があり不明だが、同じくAs-B一次堆積層で埋没したW－14と繋がると考えられる。　重複　As-B下水田とは同時期である。　出土遺物　なし。　時期　平安時代末期。

備考　本遺構とW－14は幅は異なるものの、As-Bに直接埋没する溝である。隣接する南部拠点地区遺跡群No.10のC区ではAs-Bに直接埋没した南北方向の溝（W－9・12・15）が検出されており、今回検出したW－13・14も合わせて1条の溝を形成している。この溝は谷地の最も低い所を通りながら南へ下っている。水田に伴う用水路であったと考えられる。

B－1区W－14号溝（Fig.42・46、PL.18）

位置　B－1区（X 206～207、Y 45～47）　主軸方向　N－73°－E、N－28°－W。　規模　長さ（7.72）m、上幅1.44～3.3 m、下幅0.38～2.06 m、深さ0.11 m。　形状等　調査区南の東壁沿いに検出。断面は弧状を呈する。北端部は東壁付近で大きく湾曲して南に向かって走行する。As-B一次堆積層を覆土とする。　重複　As-B下水田とは同時期である。　出土遺物　なし。　時期　平安時代末期。　備考　W－13の備考で記述したように、水田に伴う用水路の一部と考えられる。

窪地

B－1区1号窪地（Fig.41・46、PL.18）

位置　B－1区（X 202～204、Y 31～35）　長軸（14.67）m、短軸0.52～3.43 m、深さ0.14 m。　形状等　調査区南に検出。断面は弧状を呈する。調査区西壁際では中段がつく。平面は溝状だがやや不整形である。およそ南東に向かって走行する。As-B一次堆積層を覆土とする。　重複　W－15より古い。As-B下水田とは同時期である。　出土遺物　なし。　時期　平安時代末期。　備考　第2面調査時、下層のほぼ同じ位置に古代の溝（W－18）を検出した。本遺構は、W－18が窪地として残っていたものと考えられる。As-B下水田の時期においても水路であったと推測される。

Tab. 2　1面土坑計測表

調査区	遺構名	時期	位置	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	平面形状	断面形状	遺物	備考
A－1	D－1	中世以降	X175，Y25	0.51	0.46	0.07	円形	弧状		
A－1	D－2	中世以降	X181，Y24	0.44	0.38	0.1	方形	弧状		
A－1	D－3	中世以降	X178・179，Y25	0.8	0.55	0.14	不整形	弧状		
A－1	D－4	中世以降	X178，Y25	0.29	0.25	0.1	円形	弧状		
A－1	D－5	中世以降	X163，Y28	0.54	0.44	0.18	楕円形	台形状		
A－1	D－6	中世以降	X158，Y28・29	0.55	0.45	0.1	楕円形	弧状		
A－1	D－7	中世以降	X157，Y31	0.48	0.32	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－8	中世以降	X170・171，Y28・29	0.98	0.66	0.14	長方形	箱状		
A－1	D－9	中世以降	X170，Y32	0.8	0.61	0.21	楕円形	弧状		
A－1	D－10	中世以降	X176・177，Y50	0.5	0.46	0.17	楕円形	弧状		
A－1	D－11	中世以降	X176，Y50	0.74	0.71	0.11	円形	弧状		
A－1	D－12	中世以降	X176・177，Y49	0.26	0.22	0.11	円形	弧状		
A－1	D－13	中世以降	X177，Y49	0.56	0.37	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－14	中世以降	X178，Y49	0.38	0.31	0.1	円形	弧状		
A－1	D－15	中世以降	X179，Y48	0.86	0.59	0.12	楕円形	弧状		
A－1	D－16	中世以降	X180，Y29	0.67	0.39	0.13	長楕円形	弧状		
A－1	D－17	中世以降	X176，Y47	0.44	0.34	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－18	中世以降	X176，Y46	0.68	0.29	0.07	長楕円形	弧状		
A－1	D－19	中世以降	X176，Y46	0.57	0.34	0.12	楕円形	台形状		
A－1	D－20	中世以降	X176，Y46	0.43	0.36	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－21	中世以降	X165，Y32～33	0.5	0.44	0.11	楕円形	台形状		
A－1	D－22	中世以降	X165，Y33	0.37	0.33	0.08	円形	弧状		
A－1	D－23	中世以降	X168，Y33	0.63	0.4	0.17	楕円形	弧状		
A－1	D－24	中世以降	X177，Y49	0.51	0.47	0.05	方形	弧状		
A－1	D－25	中世以降	X176，Y45	0.51	0.5	0.11	方形	台形状		
A－1	D－26	中世以降	X180，Y55	0.55	0.5	0.1	方形	弧状		
A－1	D－27	中世以降	X164，Y35	0.47	0.36	0.07	楕円形	台形		
A－1	D－28	中世以降	X167，Y34	0.73	0.41	0.07	長楕円形	弧状		
A－1	D－29	中世以降	X161・162，Y36	0.49	0.41	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－30	中世以降	X186・187，Y29	0.57	0.52	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－31	中世以降	X184，Y28	0.58	0.35	0.1	長楕円形	弧状		
A－1	D－32	中世以降	X184，Y25	0.52	0.28	0.06	長楕円形	弧状		
A－1	D－33	中世以降	X168，Y37・38	0.41	0.38	0.06	楕円形	弧状		
A－1	D－34	中世以降	X168，Y38	0.46	0.39	0.09	方形	弧状		
A－1	D－35	中世以降	X185，Y30	0.32	0.21	0.05	方形	台形状		
A－1	D－36	中世以降	X185，Y30	0.37	0.34	0.11	方形	台形状		
A－1	D－37	中世以降	X185，Y26	0.39	0.22	0.1	長楕円形	台形状		
A－1	D－38	中世以降	X185，Y26・27	0.61	0.42	0.1	楕円形	台形状		
A－1	D－39	中世以降	X185，Y26	0.75	0.5	0.23	長方形	箱状	土師器の坏1点。	
A－1	D－40	中世以降	X184，Y24	0.46	0.24	0.09	長楕円形	台形状		
A－1	D－41	中世以降	X187，Y24	0.41	0.34	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－42	中世以降	X167・168，Y38・39	0.71	6.61	0.17	長楕円形	弧状		
A－1	D－43	中世以降	X168，Y39	0.29	0.25	0.09	円形	弧状		
A－1	D－44	中世以降	X167，Y39	0.61	0.41	0.2	長楕円形	弧状		
A－1	D－45	中世以降	X165，Y39	0.5	0.34	0.15	楕円形	弧状		
A－1	D－46	中世以降	X188，Y27	0.58	0.49	0.14	楕円形	弧状		
A－1	D－47	中世以降	X166，Y38	0.38	0.29	0.09	楕円形	台形状		
A－1	D－48	中世以降	X167，Y39・40	0.31	0.29	0.17	方形	箱状		
A－1	D－49	中世以降	X159，Y30	0.44	0.32	0.12	楕円形	弧状		
A－1	D－50	中世以降	X159，Y30	0.22	0.21	0.14	方形	箱状		
A－1	D－51	中世以降	X165，Y38	0.41	0.33	0.11	方形	弧状		
A－1	D－52	中世以降	X167，Y40	0.32	0.23	0.23	方形	逆T字状		
A－1	D－53	中世以降	X188，Y28	0.41	0.4	0.09	円形	弧状		
A－1	D－54	中世以降	X164・165，Y39	0.98	0.81	0.19	楕円形	台形状		
A－1	D－55	中世以降	X160，Y35	0.64	0.44	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－56	中世以降	X157，Y32	0.24	0.18	0.14	方形	漏斗状		
A－1	D－57	中世以降	X157，Y360	0.57	0.53	0.18	方形	箱状		
A－1	D－58	中世以降	X163，Y40	0.24	0.22	0.19	円形	V字状		
A－1	D－59	中世以降	X165，Y38	0.38	0.33	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－60	中世以降	X161，Y38	0.51	0.35	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－61	中世以降	X170，Y38	0.36	0.3	0.1	方形	台形状		
A－1	D－62	中世以降	X170，Y36	0.64	0.48	0.1	楕円形	台形状		
A－1	D－63	中世以降	X172，Y37	0.38	0.35	0.08	円形	弧状		
A－1	D－64	中世以降	X170，Y39	0.43	0.4	0.06	方形	台形状		
A－1	D－65	中世以降	X171，Y39	0.45	0.41	0.11	円形	弧状		
A－1	D－66	中世以降	X171，Y40	0.52	0.36	0.11	方形	弧状		
A－1	D－67	中世以降	X173，Y39	0.65	0.59	0.22	楕円形	弧状		

調査区	遺構名	時期	位置	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	平面形状	断面形状	遺物	備考
A－1	D－68	中世以降	X169、Y35	0.43	0.34	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－69	中世以降	X173、Y40	0.49	0.39	0.14	楕円形	台形状		
A－1	D－70	中世以降	X155・156、Y34	1.24	0.38	0.12	長方形	箱状		
A－1	D－71	中世以降	X172、Y35	0.63	0.44	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－72	中世以降	X173、Y35	0.47	0.31	0.17	楕円形	台形状		
A－1	D－73	中世以降	X161、Y40	0.49	0.46	0.08	円形	弧状		
A－1	D－74	中世以降	X161、Y40	0.4	0.27	0.14	楕円形	台形状		
A－1	D－75	中世以降	X162、Y41	1.06	0.96	0.31	円形	台形状		
A－1	D－76	中世以降	X166、Y41・42	0.55	0.38	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－77	中世以降	X155、Y36	0.49	0.31	0.06	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－78	中世以降	X155、Y36	0.58	0.28	0.06	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－79	中世以降	X155、Y36	0.58	0.35	0.12	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－80	中世以降	X155・156、Y36	0.56	0.44	0.11	楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－81	中世以降	X156、Y36	0.57	0.48	0.09	楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－82	中世以降	X156、Y36	0.48	0.4	0.06	楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－83	中世以降	X155・156、Y36	(0.44)	0.26	－	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－84	中世以降	X155・156、Y36	1.31	0.27	0.04	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－85	中世以降	X156、Y36	0.86	0.1	0.01	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－86	中世以降	X156、Y36	0.51	0.16	0.02	長楕円形	弧状		A－1号道路状遺構
A－1	D－87	中世以降	X156、Y36	0.71	0.23	0.02	不整形	台形状		A－1号道路状遺構
A－1	D－88	中世以降	X156、Y37	0.36	0.32	0.07	円形	台形		
A－1	D－89	中世以降	X156、Y37	0.23	0.22	0.23	円形	U字状		
A－1	D－90	中世以降	X155、Y38	0.85	0.8	0.29	円形	台形状		
A－1	D－91	中世以降	X175、Y35	0.26	0.25	0.1	円形	台形状		
A－1	D－92	中世以降	X175、Y38	0.38	0.31	0.19	方形	台形状		
A－1	D－93	中世以降	X171・172、Y48・49	2.25	1.1	0.26	長楕円形	箱状	土師器の壺1点。	
A－1	D－94	中世以降	X173・174、Y48	0.49	0.35	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－95	中世以降	X161、Y43	0.58	0.41	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－96	中世以降	X162、Y42	0.36	0.4	0.06	円形	弧状		
A－1	D－97	中世以降	X175、Y49	0.53	0.32	0.09	長楕円形	弧状		
A－1	D－98	中世以降	X171、Y51	0.44	0.33	0.1	楕円形	台形状		
A－1	D－99	中世以降	X171、Y51	0.56	0.32	0.06	長楕円形	弧状		
A－1	D－100	中世以降	X170・171、Y50・51	2.25	1.43	0.19	長楕円形	台形状		
A－1	D－101	中世以降	X168、Y40	0.31	0.22	0.18	楕円形	台形状		
A－1	D－102	中世以降	X168、Y39	0.29	0.26	0.27	円形	V字状		
A－1	D－103	中世以降	X168、Y39	0.25	0.25	0.26	円形	箱状		
A－1	D－104	中世以降	X167、Y43	0.46	0.42	0.14	円形	弧状		
A－1	D－105	中世以降	X168、Y42	0.61	0.48	0.13	不整形	弧状		
A－1	D－106	中世以降	X170、Y54・55	0.37	0.31	0.11	円形	弧状		
A－1	D－107	中世以降	X174・175、Y51	1.67	0.86	0.36	長方形	台形状		
A－1	D－108	中世以降	X176・177、Y34・35	0.34	0.32	0.11	円形	弧状		
A－1	D－109	中世以降	X156、Y43	0.65	0.49	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－110	中世以降	X158、Y43	0.73	0.4	0.07	長楕円形	弧状		
A－1	D－111	中世以降	X161、Y45	0.43	0.29	0.27	楕円形	漏斗状		
A－1	D－112	中世以降	X161、Y45	0.33	0.25	0.22	楕円形	V字状		
A－1	D－113	中世以降	X161、Y45・46	0.26	0.23	0.3	方形	漏斗状		
A－1	D－114	中世以降	X162、Y45	1.08	0.96	0.33	楕円形	台形状	土師器の坏1点。	
A－1	D－115	中世以降	X177、Y37・38	1.87	0.71	0.07	長方形	箱状		
A－1	D－116	中世以降	X161、Y44	0.24	0.21	0.18	円形	V字状		
A－1	D－117	中世以降	X161、Y44	0.33	0.25	0.15	楕円形	台形状		
A－1	D－118	中世以降	X161、Y44・45	0.25	0.19	0.16	楕円形	V字状		
A－1	D－119	中世以降	X161、Y45	0.46	0.26	0.14	長楕円形	U字状		
A－1	D－120	中世以降	X162、Y45	0.34	0.18	0.08	長楕円形	台形状		
A－1	D－121	中世以降	X161、Y45	0.38	0.21	0.18	長楕円形	V字状		
A－1	D－122	中世以降	X161、Y44	0.34	0.33	0.09	円形	弧状		
A－1	D－123	中世以降	X178、Y37	0.32	0.3	0.14	方形	台形状		
A－1	D－124	中世以降	X161、Y43	0.35	0.32	0.19	円形	台形状		
A－1	D－125	中世以降	X161、Y43	0.24	0.16	0.1	楕円形	台形状		
A－1	D－126	中世以降	X161・162、Y42・43	0.3	0.18	0.06	楕円形	弧状		
A－1	D－127	中世以降	X161、Y43	0.29	0.23	0.03	楕円形	弧状		
A－1	D－128	中世以降	X161・162、Y43	0.31	0.27	0.12	円形	V字状		
A－1	D－129	中世以降	X162、Y44	0.39	0.34	0.04	円形	弧状		
A－1	D－130	中世以降	X178、Y39	0.72	0.39	0.09	長楕円形	弧状		
A－1	D－131	中世以降	X162、Y43	0.51	0.36	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－132	中世以降	X182、Y33	0.51	0.35	0.16	楕円形	弧状		
A－1	D－133	中世以降	X183、Y32	0.58	0.41	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－134	中世以降	X162、Y45	0.35	0.29	0.06	方形	弧状		

調査区	遺構名	時期	位置	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	平面形状	断面形状	遺物	備考
A－1	D－135	中世以降	X163、Y45	0.41	0.35	0.08	方形	弧状		
A－1	D－136	中世以降	X163、Y45	0.7	0.61	0.11	円形	箱状		
A－1	D－137	中世以降	X164、Y44・45	0.58	0.45	0.13	楕円形	台形状		
A－1	D－138	中世以降	X164、Y45	0.37	0.31	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－139	中世以降	X165、Y45	0.5	0.39	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－140	中世以降	X179、Y42	0.29	（0.24）	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－141	中世以降	X159、Y42	0.34	0.29	0.04	楕円形	弧状		
A－1	D－142	中世以降	X160、Y42	0.46	0.43	0.11	円形	弧状		
A－1	D－143	中世以降	X163、Y45	0.27	0.23	0.12	方形	台形状		
A－1	D－144	中世以降	X166、Y44・45	0.3	0.27	0.09	円形	半円状		
A－1	D－145	中世以降	X180、Y40	0.3	0.26	0.08	楕円形	台形状		
A－1	D－146	中世以降	X160、Y43	0.25	0.19	0.06	方形	台形状		
A－1	D－147	中世以降	X166、Y46	0.22	0.2	0.06	円形	半円状		
A－1	D－148	中世以降	X159、Y46	0.26	0.24	0.33	円形	V字状		
A－1	D－149	中世以降	X160、Y46	0.55	0.42	0.14	楕円形	弧状		
A－1	D－150	中世以降	X160、Y46	0.36	0.32	0.3	楕円形	漏斗状		
A－1	D－151	中世以降	X191、Y24	0.32	0.31	013	方形	弧状		
A－1	D－152	中世以降	X191、Y24	0.43	0.25	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－153	中世以降	X193、Y23	0.63	0.3	0.13	長楕円形	台形状		
A－1	D－154	中世以降	X159、Y46	0.44	0.4	0.3	円形	V字状		
A－1	D－155	中世以降	X159、Y45	0.34	0.27	0.08	楕円形	台形状		
A－1	D－156	中世以降	X068、Y50	0.66	0.46	0.13	楕円形	弧状		
A－1	D－157	中世以降	X168、Y51	0.49	0.34	0.17	楕円形	弧状		
A－1	D－158	中世以降	X168、Y58	0.49	0.49	0.11	不整形	台形状		
A－1	D－159	中世以降	X168、Y51	0.58	0.38	0.11	不整形	弧状		
A－1	D－160	中世以降	X161、Y47・48	0.51	0.47	0.15	円形	弧状		
A－1	D－161	中世以降	X198、Y28・29	202	0.99	0.24	長方形	箱型		
A－1	D－162	中世以降	X158、Y47	0.47	0.28	0.06	楕円形	台形状		
A－1	D－163	中世以降	X164、Y47	0.58	0.55	0.15	円形	箱状		
A－1	D－164	中世以降	X195、Y30	0.37	0.31	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－165	中世以降	X191、Y29	0.38	0.26	0.1	楕円形	弧状		
A－1	D－166	中世以降	X160、Y50	06	0.4	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－167	中世以降	X162、Y49	0.21	0.18	0.06	円形	弧状		
A－1	D－168	中世以降	X162・163、Y49	0.42	0.38	0.09	円形	弧状		
A－1	D－169	中世以降	X162・163、Y49	0.23	0.2	0.08	円形	弧状		
A－1	D－170	中世以降	X163、Y49	0.24	0.21	0.37	円形	箱状		
A－1	D－171	中世以降	X163、Y49	0.23	0.22	0.3	方形	箱状		
A－1	D－172	中世以降	X163、Y50	0.24	0.23	0.27	円形	箱状		
A－1	D－173	中世以降	X162、Y49	0.25	0.21	0.36	円形	U字状		
A－1	D－174	中世以降	X162・163、Y50	0.27	0.19	0.34	楕円形	U字状		
A－1	D－175	中世以降	X163、Y50	0.32	0.25	0.21	楕円形	V字状		
A－1	D－176	中世以降	X163、Y49	0.2	0.19	0.07	円形	台形状		
A－1	D－177	中世以降	X158、Y48	0.26	0.22	0.09	楕円形	V字状		
A－1	D－178	中世以降	X159、Y48	0.35	0.35	0.09	円形	台形状		
A－1	D－179	中世以降	X159、Y48	0.32	0.22	0.04	楕円形	台形状		
A－1	D－180	中世以降	X158、Y48	0.31	0.25	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－181	中世以降	X162・163、Y50	0.23	0.23	0.24	円形	箱状		
A－1	D－182	中世以降	X165、Y56	0.33	0.27	0.05	楕円形	弧状		
A－1	D－183	中世以降	X165・166、Y50	0.33	0.3	0.06	円形	弧状		
A－1	D－184	中世以降	X166、Y50	0.5	0.34	0.09	楕円形	半円形		
A－1	D－185	中世以降	X159、Y50	0.45	0.4	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－186	中世以降	X195、Y33	0.37	0.29	0.17	楕円形	V字状		
A－1	D－187	中世以降	X169、Y53	0.25	0.21	0.09	楕円形	V字状		
A－1	D－188	中世以降	X169、Y52・53	0.31	0.27	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－189	中世以降	X168、Y54	0.39	0.2	0.05	楕円形	弧状		
A－1	D－190	中世以降	X188、Y31	0.59	052	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－191	中世以降	X193、Y34	0.81	066	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－192	中世以降	X162・163、Y55	0.26	0.26	0.13	方形	U字状		
A－1	D－193	中世以降	X166、Y51	0.43	0.37	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－194	中世以降	X166・167、Y51	0.64	0.58	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－195	中世以降	X169、Y52	0.35	0.34	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－196	中世以降	X169、Y52	0.53	0.41	0.13	楕円形	弧状		
A－1	D－197	中世以降	X194・195、Y34	0.5	0.49	0.11	円形	弧状		
A－1	D－198	中世以降	X193、Y34	0.3	0.22	0.15	楕円形	V字状		
A－1	D－199	中世以降	X192、Y35	0.56	0.33	0.08	長楕円形	台形状		
A－1	D－200	中世以降	X192、Y35	0.47	0.4	0.12	楕円形	弧状		
A－1	D－201	中世以降	X191、Y35	0.69	0.66	0.12	楕円形	弧状		
A－1	D－202	中世以降	X191、Y35	0.38	0.37	0.15	方形	V字状		

調査区	遺構名	時期	位置	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	平面形状	断面形状	遺物	備考
A－1	D－203	中世以降	X158、Y51	0.52	0.3	0.23	不整形	V字状		
A－1	D－204	中世以降	X195・196、Y38	(1.16)	0.84	0.28	長方形	箱状		
A－1	D－205	中世以降	X167、Y51	0.6	0.49	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－206	中世以降	X193、Y34	0.27	0.25	0.12	楕円形	台形状		
A－1	D－207	中世以降	X193、Y35	0.21	0.19	1.86	円形	U字状		
A－1	D－208	中世以降	X161、Y41	0.84	(0.4)	0.1	楕円形	弧状		
A－1	D－209	中世以降	X164、Y52	0.21	0.18	0.07	方形	台形状		
A－1	D－210	中世以降	X152・153、Y34	1.54	0.75	0.19	長楕円形	弧状	土師器の坏3点、甕6点。	礫がまとまって検出。
A－1	D－211	中世以降	X152、Y33・34	0.53	0.35	0.14	楕円形	U字状		
A－1	D－212	中世以降	X153、Y33	0.51	0.36	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－213	中世以降	X182、Y35	1.55	(0.69)	0.11	長方形	弧状		
A－1	D－214	中世以降	X166、Y53	0.47	0.43	0.1	楕円形	弧状		
A－1	D－215	中世以降	X189、Y35	0.28	0.27	0.1	円形	台形状		
A－1	D－216	中世以降	X154、Y33	0.59	0.31	0.06	長楕円形	弧状		
A－1	D－217	中世以降	X166、Y52	0.59	0.5	0.16	楕円形	台形状		
A－1	D－218	中世以降	X154、Y41	0.54	0.49	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－219	中世以降	X165、Y52	0.67	0.47	0.18	楕円形	弧状		
A－1	D－220	中世以降	X182、Y37	0.65	0.5	0.12	楕円形	弧状		
A－1	D－221	中世以降	X165、Y52	0.57	0.31	0.1	長楕円形	弧状		
A－1	D－222	中世以降	X166、Y52	0.37	0.27	0.04	楕円形	弧状		
A－1	D－223	中世以降	X153、Y40	0.55	0.34	0.13	楕円形	弧状		
A－1	D－224	中世以降	X166、Y52・53	0.27	0.25	0.05	楕円形	弧状		
A－1	D－225	中世以降	X153、Y41	0.29	0.16	0.07	長楕円形	台形状		
A－1	D－226	中世以降	X152、Y37	0.24）	0.2	0.39	楕円形	V字状		溝の可能性あり。
A－1	D－227	中世以降	X156、Y49	0.33	0.3	0.18	楕円形	台形状		
A－2	D－228	中世以降	X146、Y35	0.43	0.35	0.14	楕円形	V字状		
A－2	D－229	中世以降	X146、Y37	1.13	0.39	0.1	長楕円形	弧状		
A－2	D－230	中世以降	X145・146、Y39	0.59	0.52	0.2	楕円形	半円状		列状を呈する。
A－2	D－231	中世以降	X146、Y39	0.54	0.45	0.16	楕円形	半円状		列状を呈する。
A－2	D－232	中世以降	X146、Y38・39	0.53	0.44	0.12	楕円形	弧状		列状を呈する。
A－2	D－233	中世以降	X146、Y38	0.84	0.53	0.18	楕円形	台形状		列状を呈する。
A－2	D－234	中世以降	X147、Y38	0.74	0.44	0.18	楕円形	弧状		列状を呈する。
A－2	D－235	中世以降	X147、Y38	0.62	0.33	0.13	楕円形	台形状		列状を呈する。
A－2	D－236	中世以降	X147、Y38	0.71	0.3	0.13	長楕円形	弧状		列状を呈する。
A－2	D－237	中世以降	X147、Y33	0.35	0.26	0.22	楕円形	V字状		
A－2	D－238	中世以降	X145、Y39	0.46	0.36	0.16	楕円形	半円状		列状を呈する。
A－1	D－239	中世以降	X170、Y43	0.27	0.26	0.07	円形	弧状		
A－1	D－240	中世以降	X173、Y45	0.63	0.43	0.16	楕円形	弧状	須恵器の坏3点。	
A－1	D－241	中世以降	X172・173、Y46	0.64	0.49	0.09	楕円形	弧状		
A－1	D－242	中世以降	X172、Y46	0.3	0.28	0.1	円形	弧状		
A－1	D－243	中世以降	X171、Y45	0.48	0.42	0.1	円形	台形状		
A－1	D－244	中世以降	X170、Y45	0.4	0.33	0.08	楕円形	弧状		
A－1	D－245	中世以降	X169、Y45・46	0.45	5.74	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－246	中世以降	X175、Y28	0.56	0.43	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－247	中世以降	X179、Y25	0.5	0.29	0.13	楕円形	弧状		
A－1	D－248	中世以降	X180、Y28	0.36	0.34	0.1	楕円形	台形状		
A－1	D－249	中世以降	X154、Y49	0.32	0.3	0.12	方形	台形状		
A－1	D－250	中世以降	X155、Y47	0.31	0.26	0.22	楕円形	U字状		
A－1	D－251	中世以降	X153、Y44	0.38	0.3	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－252	中世以降	X154、Y50	1.53	1.13	0.04	不整形	弧状		
A－1	D－253	中世以降	X152、Y50・51	0.5	0.47	0.29	方形	台形状		
A－1	D－254	中世以降	X175、Y38	0.44	0.35	0.11	楕円形	弧状		
A－1	D－255	中世以降	X151・152、Y33	0.39	0.35	0.12	方形	V字状	土師器の甕1点。	
A－1	D－256	中世以降	X181、Y30・31	0.52	0.28	0.17	楕円形	V字状		
A－1	D－257	中世以降	X175、Y44	0.58	0.37	0.07	楕円形	弧状		
A－1	D－258	中世以降	X160、Y49	0.79	0.63	0.19	楕円形	弧状		
A－1	D－259	中世以降	X161、Y44	0.39	0.29	0.13	不整形	台形状		
A－1	D－260	中世以降	X161、Y44	0.3	0.28	0.23	楕円形	V字状		
A－1	D－261	中世以降	X161、Y43	0.27	0.25	0.17	楕円形	台形状		
A－1	D－262	中世以降	X161、Y42	0.2	0.19	0.18	円形	V字状		
A－1	D－263	中世以降	X161、Y42	0.26	0.23	0.22	円形	V字状		
A－1	D－264	中世以降	X160、Y42	0.2	0.14	0.11	楕円形	台形状		
B－2	D－1	中世以降	X218、Y31	0.34	0.33	0.07	円形	台形状		
B－2	D－2	中世以降	X215、Y32	0.56	0.46	0.12	円形	弧状		
B－2	D－4	中世以降	X213、Y30	0.29	0.28	0.1	円形	弧状		

Tab. 3　As-B 下水田計測表

調査区	田画	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m) NW	NE	中央	SW	SE	備考
A－2区	1	X＝37,171～37,172　Y＝－66,813～－66,818	(7.50)	(4.59)	(1.72)	78.57	78.53	78.55	78.56	78.54	
A－2区	2	X＝37,171～37,173　Y＝－66,809～－66,813	(7.87)	(3.75)	(1.95)	－	78.34	78.52	78.51	－	
A－2区	3	X＝37,160～37,170　Y＝－66,813～－66,818	(39.99)	(4.38)	9.34	78.56	78.56	78.54	78.52	78.56	
A－2区	4	X＝37,142～37,160　Y＝－66,814～－66,817	(26.44)	(2.79)	(17.35)	78.54	78.52	78.51	78.45	－	
A－2区	5	X＝37,142～37,173　Y＝－66,807～－66,816	(176.41)	(7.79)	(27.69)	78.51	78.52	78.46	78.33	78.42	
A－1区	6	X＝37,178～37,194　Y＝－66,770～－66,786	(124.98)	(14.57)	(14.91)	78.38	78.46	78.42	78.38	78.31	
A－1区	7	X＝37,180～37,196　Y＝－66,762～－66,773	(135.82)	(8.80)	(15.46)	78.44	78.43	78.43	78.44	78.43	
A－1区	8	X＝37,171～37,180　Y＝－66,764～－66,785	(138.55)	(18.45)	(8.32)	78.31	78.41	78.34	78.23	78.34	
A－1区	9	X＝37,147～37,171　Y＝－66,764～－66,783	(412.37)	(16.99)	(23.67)	78.34	78.31	78.25	78.21	78.27	
A－1区	10	X＝37,181～37,199　Y＝－66,747～－66,764	(259.55)	16.27	(1.63)	78.42	78.36	78.39	78.35	78.41	
A－1区	11	X＝37,170～37,180　Y＝－66,747～－66,765	(161.43)	(16.83)	(9.66)	78.39	78.29	78.21	78.34	78.27	
A－1区	12	X＝37,147～37,171　Y＝－66,747～－66,765	(364.54)	(16.12)	22.77	78.32	78.33	78.32	78.29	78.17	
A－1区	13	X＝37,140～37,147　Y＝－66,748～－66,780	(198.26)	(30.88)	5.95	78.28	78.29	78.28	78.30	78.28	
A－1区	14	X＝37,119～37,141　Y＝－66,748～－66,778	(594.13)	(25.11)	(20.47)	78.27	78.29	78.24	78.20	78.29	
A－1区	15	X＝37,108～37,119　Y＝－66,757～－66,777	(135.90)	(18.74)	(10.41)	78.29	78.29	78.27	78.29	78.27	
A－1区	16	X＝37,104～37,117　Y＝－66,756～－66,773	(102.87)	(16.41)	9.66	78.21	78.25	78.23	78.22	78.22	
A－1区	17	X＝37,106～37,119　Y＝－66,748～－66,757	(109.74)	45.1	13.71	78.27	78.22	78.23	78.21	78.21	
A－1区	18	X＝37,096～37,104　Y＝－66,769～－66,772	(17.69)	(2.83)	7.94	78.23	78.22	78.20	78.20	78.19	
A－1区	19	X＝37,098～37,106　Y＝－66,755～－66,769	74.99	13.05	7.11	78.20	78.21	78.19	78.17	78.22	
A－1区	20	X＝37,094～37,095　Y＝－66,769～－66,770	(1.27)	(0.76)	(1.61)	－	78.18	－	－	78.18	
A－1区	21	X＝37,094～37,099　Y＝－66,762～－66,768	(24.82)	(5.33)	(5.52)	78.21	78.20	78.21	78.19	78.20	
A－1区	22	X＝37,093～37,098　Y＝－66,755～－66,764	(27.96)	(8.17)	(3.85)	78.18	78.16	78.19	78.18	78.17	
A－1区	23	X＝37,093～37,108　Y＝－66,745～－66,755	(101.76)	8.83	15.22	78.21	78.19	78.17	78.16	78.16	東に水口
A－1区	24	X＝37,081～37,093　Y＝－66,746～－66,749	(24.36)	(2.78)	11.59	－	78.13	78.11	78.13	78.11	
A－1区	25	X＝37,077～37,081　Y＝－66,747～－66,750	(10.14)	(2.74)	(3.75)	78.10	78.10	78.11	78.12	78.09	
A－1区	26	X＝37,181～37,199　Y＝－66,737～－66,747	(155.71)	(8.77)	(18.33)	78.33	78.27	78.27	78.27	78.30	
A－1区	27	X＝37,181～37,200　Y＝－66,726～－66,737	(192.93)	10.82	(18.84)	78.24	78.23	78.21	78.22	78.26	南東に水口
A－1区	28	X＝37,161～37,180　Y＝－66,737～－66,747	(190.45)	9.14	(19.4)	78.32	78.23	78.28	78.28	78.31	
A－1区	29	X＝37,146～37,180　Y＝－66,725～－66,748	(537.23)	22.31	(34.25)	－	78.23	78.23	78.23	78.26	北東に水口
A－1区	30	X＝37,140～37,147　Y＝－66,726～－66,748	(111.98)	(20.98)	(5.80)	78.27	78.24	78.26	78.21	78.28	北東に水口
A－1区	31	X＝37,134～37,140　Y＝－66,740～－66,748	(42.45)	7.30	(6.69)	78.26	78.23	78.22	78.20	78.22	
A－1区	32	X＝37,118～37,140　Y＝－66,726～－66,748	(397.95)	21.11	(20.71)	78.21	78.27	78.19	78.12	78.23	南東に水口
A－1区	33	X＝37,092～37,119　Y＝－66,736～－66,748	(233.32)	(10.52)	(25.00)	78.22	78.18	78.15	78.15	78.17	西・南西に水口
A－1区	34	X＝37,112～37,118　Y＝－66,727～－66,737	(213.13)	9.99	(24.10)	78.18	78.16	78.12	78.14	78.13	北東に水口
A－1区	35	X＝37,085～37,093　Y＝－66,732～－66,745	(72.31)	(12.18)	7.14	78.16	78.14	78.16	78.13	78.15	
A－1区	36	X＝37,088～37,093　Y＝－66,728～－66,733	18.24	4.78	3.92	78.13	78.14	78.14	78.11	78.12	
A－1区	37	X＝37,077～37,088　Y＝－66,732～－66,741	(68.92)	(14.41)	(10.65)	78.12	78.10	78.11	78.10	78.11	
A－1区	38	X＝37,078～37,088　Y＝－66,728～－66,732	(32.06)	3.88	(10.57)	78.12	78.08	78.09	78.07	78.10	
A－1区	39	X＝37,197～37,201　Y＝－66,710～－66,725	(24.51)	(12.40)	(2.74)	78.24	－	78.24	78.26	78.23	
A－1区	40	X＝37,190～37,199　Y＝－66,714～－66,725	(77.59)	(10.52)	(7.09)	78.21	78.19	78.19	78.12	78.18	
A－1区	41	X＝37,180～37,190　Y＝－66,715～－66,725	(91.26)	10.37	46.13	78.18	78.14	78.16	78.15	78.21	東・南西に水口
A－1区	42	X＝37,168～37,180　Y＝－66,718～－66,725	67.90	5.26	12.14	78.21	78.19	78.19	78.19	78.18	北東・北西に水口
A－1区	43	X＝37,167～37,180　Y＝－66,715～－66,719	(36.81)	3.09	12.65	78.19	78.16	78.17	78.18	78.19	北西に水口
A－1区	44	X＝37,158～37,168　Y＝－66,719～－66,724	(41.80)	4.50	9.39	78.21	78.19	78.19	78.19	78.22	南西に水口
A－1区	45	X＝37,158～37,167　Y＝－66,716～－66,719	21.03	2.53	8.29	78.19	78.18	78.18	78.18	78.18	
A－1区	46	X＝37,137～37,158　Y＝－66,716～－66,724	(147.69)	6.83	(20.21)	78.22	78.17	78.17	78.19	78.22	東・北西に水口
A－1区	47	X＝37,126～37,137　Y＝－66,716～－66,724	79.78	7.71	10.32	78.29	78.16	78.16	78.14	78.17	西・南西に水口
A－1区	48	X＝37,117～37,126　Y＝－66,717～－66,725	64.87	8.19	41.26	78.17	78.14	78.14	78.14	78.16	北西に水口
A－1区	49	X＝37,098～37,117　Y＝－66,717～－66,726	(138.45)	7.64	(18.94)	78.16	78.14	78.13	78.12	78.13	
A－1区	50	X＝37,086～37,098　Y＝－66,709～－66,726	(160.55)	(14.17)	(11.91)	78.13	78.09	78.09	78.09	78.11	北西に水口
A－1区	51	X＝37,078～37,086　Y＝－66,714～－66,727	(48.02)	(10.19)	(6.99)	78.10	78.09	78.04	78.08	78.07	
A－1区	52	X＝37,190～37,201　Y＝－66,702～－66,714	(106.29)	(10.99)	(10.22)	78.24	78.25	78.19	78.22	78.16	
A－1区	53	X＝37,185～37,192　Y＝－66,697～－66,714	(82.46)	(16.35)	5.74	78.13	78.18	78.14	78.17	78.18	
A－1区	54	X＝37,176～37,185　Y＝－66,706～－66,715	(70.51)	8.13	8.86	78.14	78.14	78.13	78.13	78.14	西に水口
A－1区	55	X＝37,162～37,176　Y＝－66,710～－66,716	(62.74)	5.44	(12.87)	78.14	78.14	78.15	78.14	78.16	
A－1区	56	X＝37,164～37,176　Y＝－66,703～－66,710	(53.98)	4.53	12.31	78.12	78.12	78.12	78.12	78.12	
A－1区	57	X＝37,153～37,164　Y＝－66,704～－66,716	(105.06)	11.14	10.02	78.16	78.13	78.13	78.13	78.14	南西に水口

調査区	田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m) NW	NE	中央	SW	SE	備考
A－1区	58	X＝37.146～37.153　Y＝－66.709～－66.716	47.20	7.17	6.68	78.14	78.16	78.14	78.16	78.16	
A－1区	59	X＝37.136～37.153　Y＝－66.703～－66.709	(89.33)	5.17	(16.85)	78.16	78.14	78.14	78.16	78.15	南西に水口
A－1区	60	X＝37.135～37.146　Y＝－66.709～－66.716	(71.34)	7.05	9.97	78.17	78.16	78.14	78.15	78.15	西・南東に水口
A－1区	61	X＝37.126～37.136　Y＝－66.703～－66.716	118.02	12.61	9.78	78.15	78.13	78.17	78.13	78.14	
A－1区	62	X＝37.117～37.126　Y＝－66.704～－66.716	(92.60)	11.58	8.09	78.12	78.12	78.11	78.13	78.14	
A－1区	63	X＝37.108～37.117　Y＝－66.704～－66.718	(114.28)	(13.99)	(8.42)	78.12	78.09	78.11	78.11	78.12	
A－1区	64	X＝37.097～37.108　Y＝－66.700～－66.718	(150.06)	(14.75)	(10.13)	78.12	78.11	78.11	78.08	78.09	
A－1区	65	X＝37.085～37.099　Y＝－66.701～－66.715	(119.60)	9.53	12.20	78.08	78.07	78.06	78.06	78.07	
A－1区	66	X＝37.078～37.086　Y＝－66.708～－66.716	(41.28)	(6.56)	(7.00)	78.07	－	78.05	78.04	78.07	
A－1区	67	X＝37.080～37.085　Y＝－66.703～－66.709	(13.09)	5.64	(5.14)	78.08	78.06	78.06	－	78.06	
A－1区	68	X＝37.192～37.202　Y＝－66.682～－66.702	(154.91)	(20.22)	(8.87)	78.16	78.23	78.19	78.19	78.21	
A－1区	69	X＝37.186～37.197　Y＝－66.681～－66.698	(116.22)	(16.59)	6.20	78.19	78.14	78.18	78.09	78.17	
A－1区	70	X＝37.176～37.186　Y＝－66.696～－66.706	(84.01)	9.74	9.07	78.15	78.15	78.09	78.08	78.09	
A－1区	71	X＝37.177～37.186　Y＝－66.689～－66.696	53.42	6.03	8.50	78.16	78.13	78.12	78.10	78.09	
A－1区	72	X＝37.182～37.186　Y＝－66.681～－66.689	(28.89)	(7.42)	3.88	78.14	78.11	78.14	78.11	78.13	
A－1区	73	X＝37.177～37.182　Y＝－66.682～－66.689	(25.51)	(7.17)	3.74	78.11	78.09	78.09	78.10	78.12	
A－1区	74	X＝37.164～37.178　Y＝－66.681～－66.705	(202.43)	(23.13)	13.38	78.08	78.08	78.04	77.99	78.02	
A－1区	75	X＝37.155～37.171　Y＝－66.697～－66.705	(95.68)	7.77	12.76	78.06	78.03	78.07	78.07	78.11	
A－1区	76	X＝37.151～37.167　Y＝－66.688～－66.697	(110.16)	(9.43)	11.93	78.02	78.00	77.98	78.02	78.04	
A－1区	77	X＝37.156～37.163　Y＝－66.679～－66.688	47.53	7.11	6.80	77.97	77.97	77.96	78.01	77.99	
A－1区	78	X＝37.147～37.156　Y＝－66.680～－66.689	(46.30)	7.80	7.01	77.99	78.02	77.98	78.02	78.01	
A－1区	79	X＝37.140～37.155　Y＝－66.698～－66.704	(54.05)	4.10	(14.94)	78.12	78.19	78.12	78.12	78.13	
A－1区	80	X＝37.140～37.155　Y＝－66.689～－66.700	(110.07)	9.12	12.73	78.09	78.05	78.08	78.12	78.12	
A－1区	81	X＝37.135～37.150　Y＝－66.684～－66.690	(75.74)	(5.85)	(13.98)	78.03	78.02	78.04	78.02	78.06	
A－1区	82	X＝37.136～37.148　Y＝－66.681～－66.684	31.06	2.65	11.16	78.04	78.03	78.02	78.02	78.03	東・北東に水口
A－1区	83	X＝37.136～37.140　Y＝－66.695～－66.703	17.76	5.30	3.44	78.13	78.13	78.11	78.11	78.12	南東に水口
A－1区	84	X＝37.136～37.140　Y＝－66.690～－66.697	(25.58)	6.59	3.90	78.11	78.11	78.09	78.09	79.11	南西に水口
A－1区	85	X＝37.130～37.136　Y＝－66.696～－66.703	35.77	5.90	5.98	78.12	78.12	78.09	78.11	78.13	
A－1区	86	X＝37.130～37.135　Y＝－66.690～－66.696	(27.68)	(5.71)	4.79	78.11	78.11	78.09	78.08	78.11	
A－1区	87	X＝37.126～37.130　Y＝－66.696～－66.704	27.58	7.52	3.82	78.13	78.11	78.09	78.11	78.12	
A－1区	88	X＝37.126～37.130　Y＝－66.690～－66.696	(21.90)	(5.46)	4.17	78.10	78.11	78.08	78.09	78.11	
A－1区	89	X＝37.126～37.136　Y＝－66.681～－66.691	(62.95)	(8.47)	9.69	78.07	78.06	78.04	－	78.06	
A－1区	90	X＝37.117～37.125　Y＝－66.695～－66.704	(51.45)	6.50	(7.73)	78.12	78.12	78.11	78.11	78.12	
A－1区	91	X＝37.123～37.125　Y＝－66.686～－66.696	(17.20)	(9.12)	2.12	78.12	78.06	78.11	78.06	78.11	
A－1区	92	X＝37.117～37.124　Y＝－66.685～－66.698	(63.70)	(11.47)	(5.45)	78.13	78.08	78.11	78.06	78.08	
A－1区	93	X＝37.107～37.117　Y＝－66.688～－66.704	(113.07)	14.91	7.08	78.08	78.09	78.08	78.08	78.08	
A－1区	94	X＝37.110～37.116　Y＝－66.683～－66.688	(24.27)	(4.90)	6.07	78.07	78.07	78.06	78.07	78.07	
A－1区	95	X＝37.107～37.110　Y＝－66.680～－66.688	(16.26)	(5.96)	2.86	78.08	78.06	－	78.05	78.09	
A－1区	96	X＝37.098～37.109　Y＝－66.690～－66.703	(107.94)	11.00	(9.44)	78.11	78.07	78.04	78.08	78.09	
A－1区	97	X＝37.101～37.107　Y＝－66.682～－66.691	(44.89)	(8.46)	(5.38)	78.08	78.06	78.09	78.04	78.08	南東に水口
A－1区	98	X＝37.102～37.105　Y＝－66.681～－66.682	(0.79)	(0.55)	(1.76)	－	－	－	78.03	－	
A－1区	99	X＝37.091～37.099　Y＝－66.692～－66.701	(43.47)	7.56	7.38	78.08	78.08	78.09	78.09	78.07	
A－1区	100	X＝37.095～37.101　Y＝－66.683～－66.691	(32.22)	(6.65)	5.44	78.09	78.06	78.05	78.03	78.07	
A－1区	101	X＝37.080～37.091　Y＝－66.695～－66.702	(42.85)	(6.71)	(10.11)	78.06	78.02	78.01	－	78.01	
A－1区	102	X＝37.081～37.097　Y＝－66.683～－66.698	(147.47)	13.24	(16.02)	78.03	78.02	78.01	78.02	78.074	
A－1区	103	X＝37.081～37.102　Y＝－66.675～－66.683	(73.43)	(5.32)	(21.10)	78.01	－	78.03	77.98	78.01	北西に水口
A－1区	104	X＝37.076～37.081　Y＝－66.675～－66.678	(9.51)	(2.37)	(4.15)	78.01	77.97	77.96	77.95	－	
A－1区	105	X＝37.199～37.203　Y＝－66.660～－66.681	(61.46)	(21.70)	(2.86)	78.23	78.19	78.17	78.18	78.18	
A－1区	106	X＝37.187～37.200　Y＝－66.659～－66.681	(238.89)	(21.70)	39.57	78.18	78.16	78.14	78.16	78.15	
A－1区	107	X＝37.181～37.187　Y＝－66.675～－66.681	(30.63)	(5.92)	(5.78)	78.11	78.12	78.11	78.08	78.12	
A－1区	108	X＝37.181～37.190　Y＝－66.659～－66.675	(81.65)	(15.73)	5.19	78.11	78.14	78.11	78.08	78.09	
A－1区	109	X＝37.175～37.181　Y＝－66.675～－66.682	(38.71)	7.06	5.46	78.09	78.07	78.09	78.08	78.09	
A－1区	110	X＝37.174～37.183　Y＝－66.663～－66.675	(78.29)	(11.00)	(6.90)	78.08	78.07	78.09	78.08	78.07	
A－1区	111	X＝37.176～37.183　Y＝－66.659～－66.663	(28.17)	3.73	(6.92)	78.09	78.08	78.09	78.09	78.07	
A－1区	112	X＝37.169～37.176　Y＝－66.659～－66.672	(62.92)	(12.28)	(6.80)	78.08	78.08	78.04	78.08	78.06	
A－1区	113	X＝37.162～37.175　Y＝－66.671～－66.681	(96.93)	(8.49)	(53.54)	78.06	77.98	77.96	77.95	77.98	
A－1区	114	X＝37.158～37.170　Y＝－66.659～－66.671	(105.62)	(12.54)	8.40	77.99	77.97	77.93	77.92	77.93	北東に水口
A－1区	115	X＝37.200～37.204　Y＝－66.649～－66.659	(16.77)	(9.29)	(2.51)	78.19	78.17	78.18	78.18	78.19	

調査区	田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (m)	南北 (m)	標高 (m) NW	NE	中央	SW	SE	備考
A－1区	116	X＝37,191 ～ 37,201　Y＝－66,632 ～－66,659	(61.47)	6.62	9.51	78.17	78.14	78.14	78.13	78.15	
A－1区	117	X＝37,193 ～ 37,204　Y＝－66,644 ～－66,652	(68.48)	7.02	10.16	78.11	78.12	78.12	78.11	78.13	
A－1区	118	X＝37,191 ～ 37,193　Y＝－66,644 ～－66,653	17.29	8.16	1.93	78.13	78.12	－	78.11	78.13	
A－1区	119	X＝37,186 ～ 37,191　Y＝－66,653 ～－66,659	(21.28)	5.49	4.33	78.11	78.11	78.10	78.09	78.12	
A－1区	120	X＝37,186 ～ 37,190　Y＝－66,644 ～－66,654	(33.24)	8.85	3.63	78.11	78.10	78.09	78.09	78.09	
A－1区	121	X＝37,176 ～ 37,186　Y＝－66,644 ～－66,659	(133.80)	13.61	9.97	78.07	78.06	78.06	78.03	78.08	
A－1区	122	X＝37,167 ～ 37,176　Y＝－66,644 ～－66,659	(111.27)	(14.51)	8.12	78.04	78.02	77.98	77.99	78.03	
A－1区	123	X＝37,158 ～ 37,167　Y＝－66,644 ～－66,659	(114.70)	(14.29)	(8.71)	77.98	77.97	77.84	77.88	77.94	北西に水口
A－1区	124	X＝37,194 ～ 37,204　Y＝－66,637 ～－66,645	(39.18)	5.42	(9.82)	78.10	78.12	78.11	78.09	78.09	
A－1区	125	X＝37,194 ～ 37,205　Y＝－66,624 ～－66,641	(104.75)	(15.26)	(8.48)	78.08	78.07	78.07	－	78.12	
A－1区	126	X＝37,191 ～ 37,194　Y＝－66,637 ～－66,644	(15.39)	(6.28)	(2.54)	78.10	78.08	78.07	78.06	78.09	
A－1区	127	X＝37,186 ～ 37,191　Y＝－66,637 ～－66,644	(28.55)	(6.54)	4.32	78.08	78.03	78.06	78.06	78.08	
A－1区	128	X＝37,187 ～ 37,195　Y＝－66,632 ～－66,637	(28.61)	(4.29)	6.78	78.06	78.06	78.04	78.05	78.06	
A－1区	129	X＝37,176 ～ 37,188　Y＝－66,626 ～－66,644	(122.52)	(17.82)	(10.75)	78.02	78.02	78.01	77.98	78.01	
A－1区	130	X＝37,156 ～ 37,176　Y＝－66,639 ～－66,644	(68.03)	4.36	(19.36)	77.99	77.99	77.97	77.89	77.88	
A－1区	131	X＝37,164 ～ 37,177　Y＝－66,625 ～－66,640	(134.76)	(13.91)	(11.19)	77.96	77.97	77.82	77.83	77.84	
A－1区	132	X＝37,156 ～ 37,167　Y＝－66,625 ～－66,641	(117.99)	(15.78)	(8.46)	77.87	77.85	77.85	77.84	77.88	
A－1区	133	X＝37,140 ～ 37,164　Y＝－66,626 ～－66,680	(416.90)	(54.19)	9.55	77.96	77.84	77.86	77.72	77.94	
A－1区	134	X＝37,141 ～ 37,156　Y＝－66,665 ～－66,680	(141.89)	(14.41)	9.82	77.97	77.91	77.95	77.94	78.02	北東に水口
A－1区	135	X＝37,139 ～ 37,150　Y＝－66,653 ～－66,667	(94.08)	(12.49)	8.07	77.92	77.88	77.92	77.88	77.93	北西に水口
A－1区	136	X＝37,140 ～ 37,144　Y＝－66,648 ～－66,654	26.66	5.39	5.27	77.87	77.85	77.87	77.87	77.91	
A－1区	137	X＝37,140 ～ 37,144　Y＝－66,627 ～－66,648	(59.65)	(21.26)	4.17	77.84	77.72	77.78	77.76	77.86	
A－1区	138	X＝37,137 ～ 37,140　Y＝－66,646 ～－66,654	7.20	7.15	1.67	77.88	77.84	77.87	77.87	－	
A－1区	139	X＝37,137 ～ 37,139　Y＝－66,634 ～－66,647	(14.51)	(8.36)	2.35	77.87	77.79	77.83	－	77.87	
A－1区	140	X＝37,138 ～ 37,142　Y＝－66,661 ～－66,668	11.27	7.18	1.69	77.95	77.93	－	77.96	77.94	
A－1区	141	X＝37,135 ～ 37,139　Y＝－66,653 ～－66,661	(21.95)	(7.24)	3.50	77.95	77.93	77.95	77.93	77.94	
A－1区	142	X＝37,135 ～ 37,138　Y＝－66,648 ～－66,655	(8.51)	(4.11)	(3.37)	77.93	77.01	77.94	－	77.96	
A－1区	143	X＝37,140 ～ 37,146　Y＝－66,675 ～－66,681	25.03	5.89	5.00	78.04	78.03	78.02	78.02	78.03	東・西・南・北西に水口
A－1区	144	X＝37,139 ～ 37,143　Y＝－66,670 ～－66,675	(9.06)	(4.19)	(2.15)	78.03	－	78.01	78.03	78.01	西・北東に水口
A－1区	145	X＝37,130 ～ 37,140　Y＝－66,671 ～－66,681	(86.04)	(9.93)	(9.60)	78.04	78.02	78.03	78.02	78.04	北に水口
A－1区	146	X＝37,132 ～ 37,141　Y＝－66,657 ～－66,670	(62.21)	(10.26)	(7.63)	78.01	77.96	78.00	－	78.01	北西に水口
A－1区	147	X＝37,176 ～ 37,179　Y＝－66,616 ～－66,626	(19.70)	(9.08)	(2.44)	77.97	77.95	－	77.93	77.96	
A－1区	148	X＝37,168 ～ 37,177　Y＝－66,616 ～－66,625	(52.20)	(7.81)	(7.61)	77.91	77.91	77.89	77.83	77.81	
A－1区	149	X＝37,158 ～ 37,168　Y＝－66,618 ～－66,628	(66.89)	(7.33)	10.49	77.84	77.84	77.86	77.83	77.85	
A－1区	150	X＝37,146 ～ 37,151　Y＝－66,617 ～－66,626	(27.49)	9.39	(2.90)	77.75	77.72	77.71	77.72	77.73	
A－1区	151	X＝37,141 ～ 37,146　Y＝－66,616 ～－66,626	(28.24)	9.57	(2.56)	77.73	77.69	77.68	77.69	77.73	
A－1区	152	X＝37,148 ～ 37,152　Y＝－66,614 ～－66,617	(5.58)	(1.87)	(3.01)	77.71	－	77.67	77.71	－	
A－1区	153	X＝37,143 ～ 37,147　Y＝－66,614 ～－66,616	(6.10)	(1.97)	(3.20)	77.67	－	－	－	77.67	
B－1区	154	X＝37,172 ～ 37,173　Y＝－66,581 ～－66,589	(3.41)	(7.61)	(0.64)	－	－	－	77.61	77.63	
B－1区	155	X＝37,155 ～ 37,173　Y＝－66,580 ～－66,589	(151.51)	(9.32)	16.68	77.69	77.60	77.60	77.59	77.58	
B－1区	156	X＝37,135 ～ 37,152　Y＝－66,581 ～－66,588	(104.51)	(6.71)	(16.56)	77.55	77.58	77.56	77.52	77.53	
B－1区	157	X＝37,136 ～ 37,152　Y＝－66,578 ～－66,581	(22.75)	(2.96)	(15.67)	77.58	－	－	77.55	77.53	
B－1区	158	X＝37,129 ～ 37,136　Y＝－66,576 ～－66,588	(62.76)	(11.52)	(6.38)	77.51	77.49	77.52	77.45	77.46	
B－1区	159	X＝37,115 ～ 37,128　Y＝－66,575 ～－66,578	(100.17)	(7.30)	12.75	77.43	77.40	77.41	77.32	77.49	
B－1区	160	X＝37,117 ～ 37,132　Y＝－66,569 ～－66,581	(89.49)	(6.42)	(10.26)	77.41	77.48	77.42	77.35	77.33	
B－1区	161	X＝37,099 ～ 37,117　Y＝－66,568 ～－66,585	(219.11)	(15.13)	(10.43)	77.49	77.27	77.41	－	77.44	
B－2区	162	X＝37,172 ～ 37,177　Y＝－66,528 ～－66,550	(32.79)	(21.88)	(3.65)	77.83	77.86	77.85	77.86	77.82	
B－2区	163	X＝37,173 ～ 37,176　Y＝－66,523 ～－66,528	(10.36)	(4.21)	(2.73)	77.89	77.89	77.90	77.89	77.89	
B－2区	164	X＝37,167 ～ 37,170　Y＝－66,554 ～－66,555	(1.97)	(1.50)	(2.48)	－	77.84	77.81	77.83	－	
B－2区	165	X＝37,159 ～ 37,173　Y＝－66,529 ～－66,553	(250.53)	23.35	11.28	77.83	77.83	77.82	77.81	－	
B－2区	166	X＝37,161 ～ 37,173　Y＝－66,523 ～－66,529	(71.27)	(6.70)	11.36	77.88	77.86	77.87	77.81	77.84	
B－2区	167	X＝37,153 ～ 37,160　Y＝－66,529 ～－66,539	(34.72)	(8.40)	(7.00)	77.82	77.83	77.82	77.82	－	
B－2区	168	X＝37,152 ～ 37,161　Y＝－66,522 ～－66,529	(48.43)	(6.40)	(8.36)	77.85	77.81	77.81	77.80	77.82	
B－3区	169	X＝37,117 ～ 37,133　Y＝－66,513 ～－66,528	(184.88)	(12.92)	(15.16)	－	77.67	77.68	77.63	77.62	
B－3区	170	X＝37,106 ～ 37,115　Y＝－66,512 ～－66,527	(103.80)	(13.81)	(8.08)	77.66	77.63	77.64	77.61	77.62	
B－4区	171	X＝37,117 ～ 37,121　Y＝－66,489 ～－66,496	(24.99)	(6.92)	(3.87)	77.65	77.64	77.64	77.65	77.63	
B－4区	172	X＝37,117 ～ 37,121　Y＝－66,481 ～－66,488	(28.17)	(6.43)	(3.95)	77.66	－	77.54	77.53	77.64	
B－4区	173	X＝37,108 ～ 37,116　Y＝－66,478 ～－66,495	(114.88)	(15.71)	(7.93)	77.64	77.55	77.55	77.52	77.61	

Fig.8 A－1区1面全体図（1）

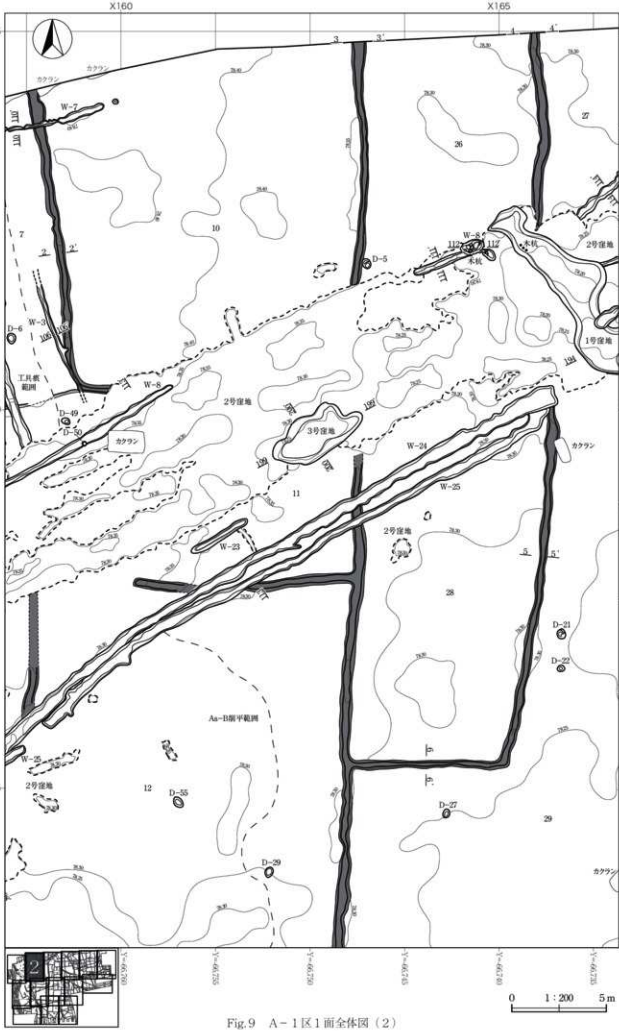


Fig.9　A－1区1面全体図（2）

Fig.10 A－1区1面全体図（3）

Fig.11 A－1区1面全体図（4）

Fig.12 A－1区1面全体図（5）

Fig.13 A－1区1面全体図（6）

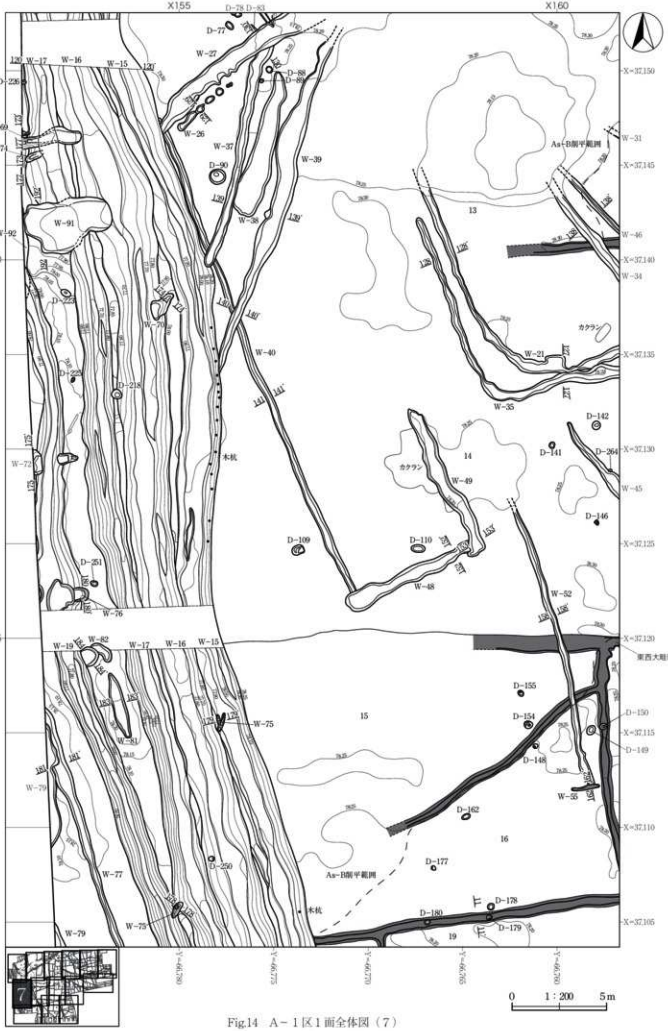


Fig.14　A～1区1面全体図（7）

Fig.15 A－1区1面全体図（8）

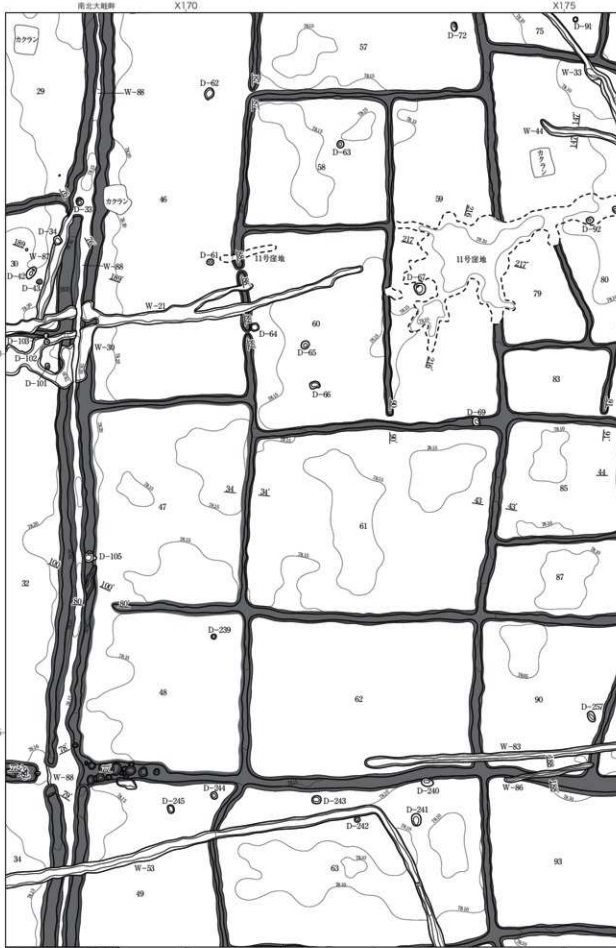


Fig.16 A－1区1面全体図（9）

Fig.17 A－1区1面全体図（10）

Fig.18　A－1区1面全体図（11）

Fig.19　A－1区1面全体図（12）

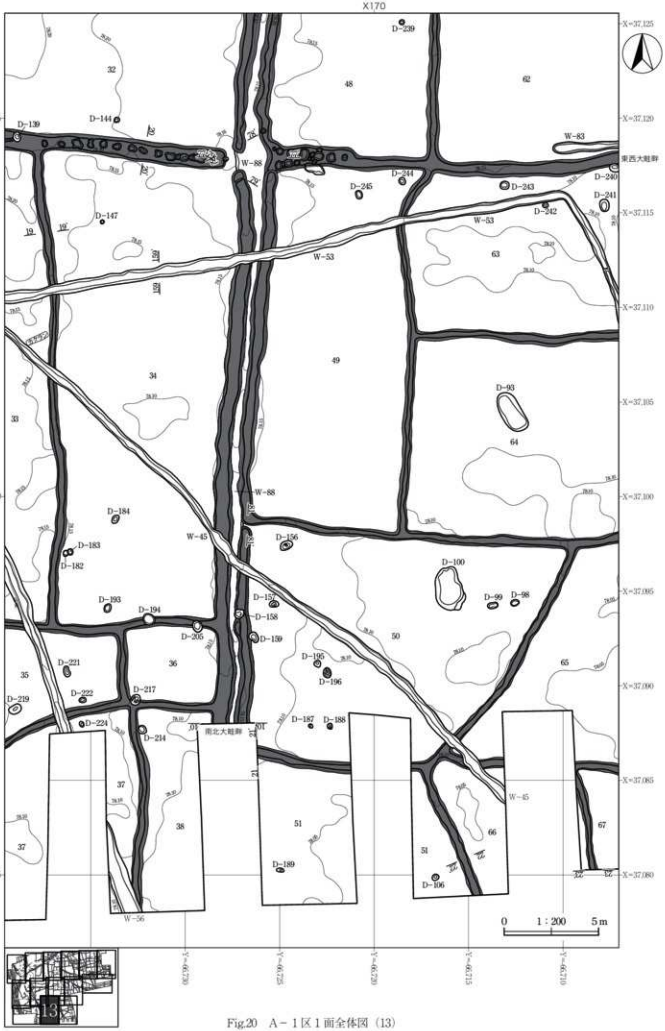


Fig.20 A－1区1面全体図（13）

Fig.21 A－1区1面全体図（14）

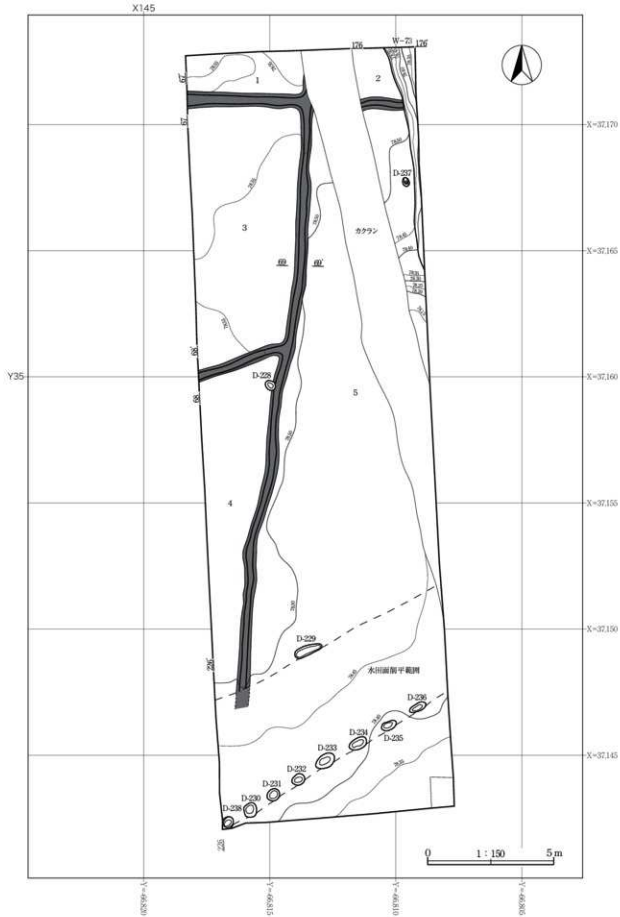


Fig.22　A－２区１面全体図

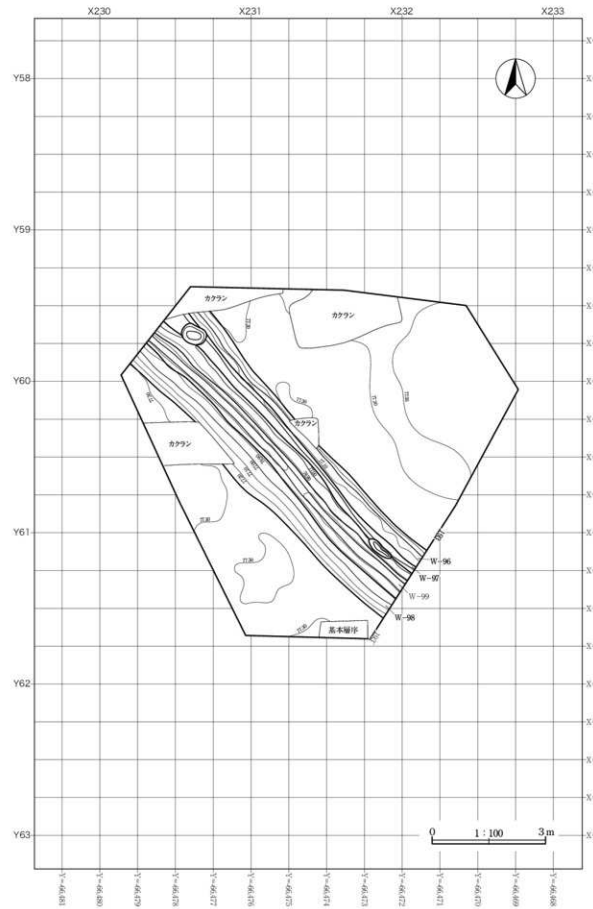
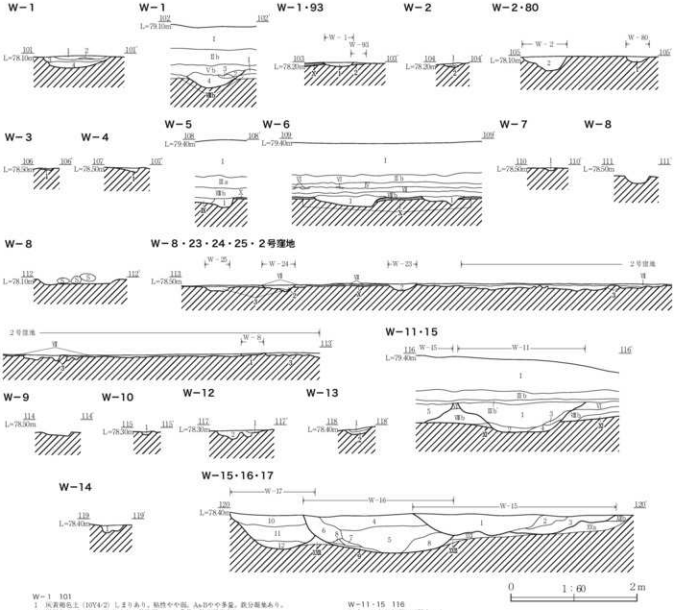


Fig.23　A－3区1面全体図



W－1　101
1　灰黄褐色土（10Y4/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量、鉄分凝集あり。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性弱、As-B多量、鉄分凝集あり。
3　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや弱、As-B・Ⅻb層土ブロックやや多量、鉄分凝集あり。
4　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量、Ⅻb層土ブロック少量、鉄分凝集あり。

W－1　102
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱、上層のⅤ層土をやや多量に含むⅧb層。
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱、As-Bやや多量。（W－1）
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり・粘性弱、As-B多量。（W－1）
4　灰黄褐色土（10Y4/2）しまり・粘性やや弱、As-Bやや多量。（W－1）

W－1・93　103
1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量、Ⅻb層土ブロック少量、鉄分凝集あり。（W－1）
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまりあり、粘性弱、As-Bやや多量。（W－93）

W－2　104
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性弱、砂質。
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性弱、As-Bやや多量、砂質。

W－2・80　105
1　灰黄褐色土（10Y4/2）しまり・粘性やや弱、白色軽石粒（As-Aか）・Ⅻ層土ブロック少量。（W－80）
2　褐灰色土（10YR4/1）しまり弱、粘性やや弱、As-B少量、ラミナ状堆積、砂質。（W－2）

W－3・4　106・107
1　黄褐色土（2.5Y5/3）しまりあり、粘性なし、白色軽石（1mm以下）少量、鉄分凝集あり、シルト質。

W－5　108
1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし、As-B・灰黄褐色粘土ブロック（5～10mm）多量、As-B混土。

W－6　109
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性なし、As-B主体、黄褐色シルト（鉄化したⅩ層土）ブロック（20～50mm）多量。

W－7　110
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性ややあり、As-B多量、As-B混土。

W－8・23・24・25・2号窪地　113
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし、白色軽石1mm以下多量、2～4mm少量、炭化物微量、鉄分凝集多量、シルト質。（W－8）
2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性ややあり、灰黄色シルトブロック（20～50mm）多量、炭化物微量、鉄分凝集多量、砂質シルト。（W－23・24）
3　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし、As-B主体、褐灰色粘土ブロック（10～50mm）多量。（W－25・2号窪地）

W－10　115
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性ややあり、黒褐色粘質土ブロック（3～5mm）少量、As-B混土。

W－11・15　116
Ⅲb'　Ⅲbより色調やや明るい。
1　黄灰色土（2.5YR4/1）しまりあり、粘性ややあり、砂やや多量。（W－11）
2　黄灰色土（2.5YR4/1）しまりあり、粘性ややあり、砂少量、灰白色軽石（2mm）微量、1層より粘性強い。（W－11）
3　暗灰黄色土（2.5YR5/2）しまりあり、粘性なし、As-B微量。（W－11）
4　暗灰黄色土（2.5YR5/2）しまりあり、粘性なし、鉄化した灰黄褐色粘土ブロック（20～30mm）多量。（W－11）
5　黄灰色土（2.5YR5/1）しまりあり、粘性なし、砂やや多量。（W－15）

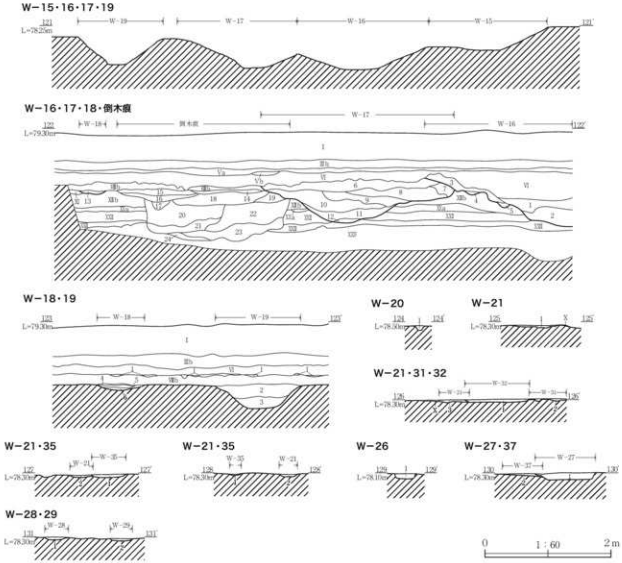
W－12　117
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまり・粘性なし、灰黄褐色粘土ブロック（10～20mm）多量、白色軽石（1mm以下）少量、鉄分凝集あり、砂質。
2　褐灰色土（10YR5/1）しまりなし・粘性あり、暗灰黄色砂質土ブロック（3～50mm）多量、炭化物微量、鉄分凝集あり、粘土質。

W－13　118
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりなし、粘性あり、白色軽石（1mm以下）少量、鉄分凝集あり、シルト質。
2　褐灰色土（10YR4/1）しまりなし、粘性あり、鉄分凝集あり、砂質シルト層。

W－14　119
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし、As-B多量、黒褐色粘質土ブロック（10～30mm）少量、As-B混土。

W－15・16・17　120
1　黄灰色土（2.5YR4/1）しまりあり、粘性ややあり、砂がラミナ状に入る、黄灰色シルト質。（W－15）
2　暗灰黄色土（2.5YR5/1）しまりあり、粘性なし、鉄分凝集あり、黄褐色シルト質。（W－15）
3　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし、黄褐色（2.5YR5/3）・明黄褐色（2.5YR6/6）粘土ブロック（70～100mm）少量、砂がラミナ状に入る、シルト質。（W－15）
4　黄灰色土（2.5YR6/1）しまりあり、粘性なし、細粒砂が層状に入る、鉄分凝集あり、明灰色シルト質。（W－16）
5　黄灰色土（2.5YR6/1）しまり・粘性なし、黄灰色シルトが層状に入る、鉄分凝集あり、砂質。（W－16）
6　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり、下半部粘土ブロックやや多量、砂少量、肌理の細かいシルト質。（W－16）
7　黄灰色土（2.5YR5/1）しまりあり、粘性なし、細粒砂質。（W－16）
8　灰色土（5Y4/1）しまりあり、粘性なし、砂質。（W－16）
9　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり、下半部粘土ブロックやや多量、砂少量、肌理の細かいシルト質。（W－16）
10　灰黄褐色土（10Y4/2）しまりあり、粘性ややあり、砂（As-Bか）主体、白色軽石（1～3mm）多量、黒褐色粘土ブロック（30～50mm）少量、鉄分凝集あり。（W－17）
11　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり、As-B混土主体、黒褐色粘土ブロック（50～100mm）・灰黄色粘土ブロック（30～100mm）多量。（W－17）
12　灰色土（5Y4/1）しまりあり、粘性なし、淡褐色軽石粒（1～3mm）少量、砂質。（W－17）

Fig.24　A区1面平安時代末期以降の溝（1）



W−16・17・18・倒木痕　122

1　黄灰色土（2.5YR6/1）しまりあり、粘性なし。細粒砂が層状に入る。鉄分凝集あり。明灰色シルト質。（W−16）
2　黄灰色土（2.5YR6/1）しまり・粘性なし。黄灰色シルトが層状に入る。鉄分凝集あり。砂質。（W−16）
3　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。下半部粘土ブロックやや多量。砂少量。肌理の細かいシルト質。（W−16）
4　黄灰色土（2.5YR6/1）しまり・粘性なし。黄灰色シルトが層状に入る。鉄分凝集あり。砂質。2層と同質。（W−16）
5　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりなし、粘性ややあり。シルト質砂。（W−16）
6　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまりあり、粘性なし。砂が層状に入る。白色軽石（1〜3mm）少量。鉄分凝集あり。（W−17）
7　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。真層土主体。灰褐色シルトブロック（20〜50mm）少量。（W−17）
8　灰褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性ややあり。白色軽石（1〜3mm）少量。最下端に砂層。炭化物微量。鉄分凝集あり。砂質シルト。（W−17）
9　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり。As−B混土主体。As−B多量。黒褐色粘土ブロック（50〜100mm）・灰黄色粘土ブロック（30〜100mm）多量。（W−17）
10　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B混土主体。黒褐色粘土ブロック（50〜100mm）・灰黄色粘土ブロック（30〜100mm）多量。（W−17）
11　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性あり。粘質。下位に砂が層状に入る。鉄分凝集あり。（W−17）
12　褐灰色土（10YR4/1）しまりややあり、粘性なし。細粒砂質。（W−17）
13　褐灰色土（10YR5/1）しまり・粘性あり。砂やや多量。（W−18）
14　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性ややあり。As-B混土。（倒木痕）
15　黒褐色土（10YR3/1）しまりややあり、粘性あり。As-C多量。シルト質粘土。（倒木痕）
16　黒色土（10YR2/1）しまりなし、粘性あり。鉄分凝集あり。粘質。（倒木痕）
17　黒褐色土（10YR3/1）しまりややあり、粘性あり。鉄分凝集あり。粘質。（倒木痕）
18　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。鉄分凝集あり。Ⅲb層と同質。（倒木痕）
19　灰白色土（10YR7/1）しまり・粘性あり。黒褐色粘土ブロック（10〜20mm）少量。鉄分凝集あり。粘質。（倒木痕）
20　褐灰色色土（10YR5/1）しまりややあり、粘性あり。鉄分凝集あり。シルト質粘土。（倒木痕）
21　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。砂やや多量。灰白色土ブロック微量。Ⅲ層に近似。（倒木痕）
22　褐灰色（10YR5/1）しまりややあり、粘性あり。灰白色粘土ブロック（5〜30mm）やや多量。鉄分凝集あり。（倒木痕）
23　灰白色土（10YR8/1）しまり・粘性あり。褐灰色粘土ブロック（20〜80mm）少量。粘質。（倒木痕）
24　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。砂やや多量。灰白色土ブロック微量。Ⅲ層に近似。（倒木痕）

W−18・19　123

1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性弱。粗粒砂を少量含むシルト質洪水層。Ⅵ層に伴う層か。
2　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。砂主体。炭化物微量。鉄化した灰黄褐色粘土ブロック（5〜50mm）多量。（W−19）
3　青灰色土（5B5/1）しまりあり、粘性なし。砂層。青灰色・灰白色砂が層状に堆積。灰色粘土ブロック（70mm）微量。（W−19）
4　黄褐色土（10YR5/6）しまり・粘性あり。鉄分凝集が顕著。粘質。（W−18）
5　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性あり。灰黄褐色粘土ブロック（10〜20mm）多量。砂質土ブロック（10mm）少量。シルト質。（W−18）
6　灰色土（5Y5/1）しまり・粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（10mm）少量。ラミナ状堆積。砂質。（W−18）

W−20　124

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。As-B・黄褐色シルトブロック（一部鉄化5〜10mm）多量。鉄分凝集あり。As-B混土。

W−21　125

1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし。As-B多量。黒褐色粘質土ブロック（10〜30mm）少量。As-B混土。

W−21・31・32　126

1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし。白色軽石（1〜5mm）多量。灰黄褐色粘土ブロック（30〜50mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。As−B混土。（W−32）
2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性ややあり。粒子の細かいシルト質。（W−31）
3　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし。As-B多量。黒褐色粘質土ブロック（10〜30mm）少量。As-B混土。（W−21）

W−21・35　127

1　褐灰色（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。白色軽石（1〜2mm）・鉄化した褐灰色粘土ブロック（20〜40mm）多量。砂質。（W−35）
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし。As-B多量。黒褐色粘質土ブロック（10〜30mm）少量。（W−21）

W−21・35　128

1　褐灰色（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。白色軽石（1〜2mm）・鉄化した褐灰色粘土ブロック（20〜40mm）多量。砂質。（W−35）
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし。As-B多量。黒褐色粘質土ブロック（10〜30mm）少量。As-B混土。（W−21）

W−26　129

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。As-Bやや多量。Ⅵ層土ブロック少量。

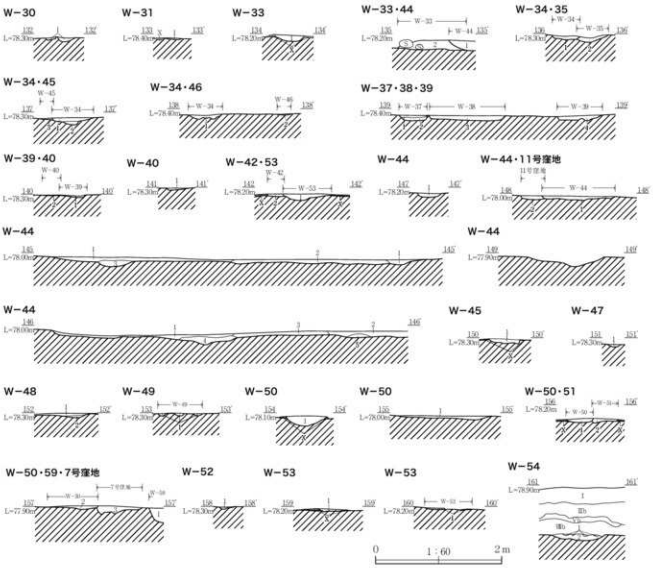
W−27・37　130

1　暗褐色土（10YR3/3）しまりあり、粘性なし。As-Bやや多量。Ⅵ層土ブロック少量。（W−27）
2　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。褐灰色粘土ブロック（10〜20mm）少量。シルト質。（W−37）

W−28・29　131

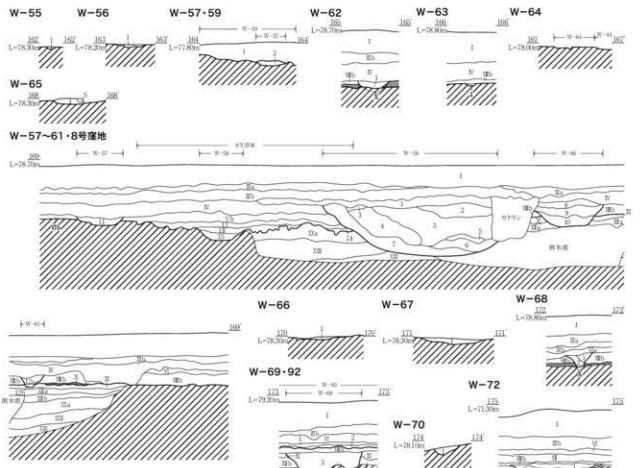
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりなし、粘性ややあり。青灰色砂が下端に堆積。軽石（2〜4mm）微量。鉄分凝集あり。（W−28）
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性なし。青灰色砂質土ブロック（20〜40mm）多量。軽石微量。鉄分凝集あり。（W−29）

Fig.25　A区1面平安時代末期以降の溝（2）



W−30　132
1　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりあり、粘性なし。As-B主体。暗灰黄色粘土ブロック（1～3mm）微量。
W−31　133
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし。白色軽石（1～5mm）多量。灰黄褐色粘土ブロック（30～50mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。As-B混土。
W−33　134
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱。As-B少量。
W−33・44　135
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性弱。砂質土多量。As-Bやや多量。双層土ブロック少量。（W−44）
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性あり。砂質土やや多量。As-B・双層土ブロック少量。（W−33）
W−34・35　136
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。As-B多量。黄灰色粘土ブロック（10～20mm）やや多量。（W−34）
2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまり・粘性なし。As-Bやや多量。黄灰色粘土ブロック微量。（W−35）
W−34・45　137
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。鉄分凝集微量。（W−34）
2　黄灰色土（2.5Y4/1）しまり・粘性あり。（W−34）
3　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりあり、粘性なし。黒褐色土やや多量。砂質。（W−45）
W−34・46　138
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（30～50mm）少量。白色軽石（1～5mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。（W−34）
2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（30～50mm）・白色軽石（1～5mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。（W−46）
W−37・38・39　139
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。褐灰色粘土ブロック（30～70mm）少量。鉄分凝集。砂質。（W−37）
2　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。褐灰色粘土ブロック（10～20mm）・黒色シルトブロック（40mm）少量。シルト質。（W−37）
3　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり。黒褐色砂質土ブロック（30～50mm）・白色軽石（1～3mm）多量。鉄分凝集あり。シルト質。（W−38）
4　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色土ブロック（20～70mm）・白色軽石（1～3mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。（W−39）
W−39・40 140
1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。褐灰色粘土ブロック（10～20mm）・黒色シルトブロック（40mm）少量。シルト質。（W−39）
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりなし、粘性あり。軽石（2mm以下）多量。鋳化した褐灰色土ブロック（10～20mm）少量。（W−40）
W−40 141
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりなし、粘性あり。軽石（2mm以下）多量。鋳化した褐灰色土ブロック（10～20mm）少量。
W−42・53 142
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや弱。白色軽石粒少量。（W−53）
2　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱。白色軽石粒少量。（W−42）
W−44 145
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや弱。As-B少量。
2　黄褐色土（10YR5/6）しまり・粘性あり。砂質土やや多量。双層土ブロック少量。
3　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや弱。As-B少量。双層土ブロック少量。
W−44 146
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや弱。As-B少量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱。As-Bやや多量。
3　黄褐色土（10YR5/6）しまり・粘性あり。砂質土やや多量。双層土ブロック少量。
4　黒褐色土（10YR3/1）しまりやや弱。粘性あり。As-Bやや多量。双・双b層土ブロック少量。
5　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱。As-B主体。
W−44　147
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性弱。As-B微量。
W−44・11号窪地　148
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや弱。As-B少量。（W−44）
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性弱。As-Bやや多量。双層土ブロック少量。（11号窪地）
W−45　150
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり・粘性なし。黒褐色粘土が横縞状に混入。砂質。
W−47　151
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり・粘性なし。As-B多量。黄褐色シルト少量。
W−48　152
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。暗灰黄色粘土ブロック（10～20mm）多量。白色軽石（1mm）少量。シルト質。
2　黒褐色土（2.5Y3/1）暗灰黄色砂質土ブロック（30～50mm）多量。灰黄褐色粘土ブロック（10～20mm）少量。鉄分凝集あり。砂質。
W−49　153
1　黒褐色土（2.5Y3/1）暗灰黄色砂質土ブロック（30～50mm）多量。灰黄褐色粘土ブロック（10～20mm）少量。鉄分凝集あり。砂質。
W−50　154・155
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。As-B少量。
W−50・51　156
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。As-B・双層土ブロック・灰黄褐色粘質土ブロック少量。（W−50）
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。As-B・灰黄褐色粘質土ブロック少量。双層土ブロック微量。（W−51）
W−50・59・7号窪地　157
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性やや弱。灰黄褐色土粘質土ブロック少量。（W−59）
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。As-B少量。（W−50）
3　暗褐色土（10YR3/3）しまりあり、粘性弱。As-Bやや多量。（7号窪地）
W−52　158
1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色土ブロック（5～10mm）多量。砂質。
W−53　159・160
1　暗灰黄（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。As-Bやや多量。鋳化した黄褐色シルト少量。
W−54　161
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性やや弱。As-B多量。
2　灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱。As-Bやや多量。

Fig.26　A区１面平安時代末期以降の溝（３）



W-55 162
1 丸オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。砂多量。地山生土ブロック（5～10mm）少量。

W-56 163
1 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。As-Bやや多量。鉄分凝集少量。

W-57・59 164
1 暗灰色土（10YR4/1）しまりやや弱、粘性あり、砂質土やや多量。炭黒褐色（10YR4/2）粘質土ブロック少量。（W－59）
2 暗灰色土（10YR4/1）しまりやや弱、粘性弱、As-A多量。（W－57）

W-62 165
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱、As-Bやや多量。

W-63 166
1 黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱、As-B多量。

W-65 168
1 黄褐色土（2.5Y5/3）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（30～50mm）多量。白色軽石（1mm以下）少量。鉄分凝集あり、シルト質。

W-57～61・8号窪地 169
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強。軽石粒（As-Aか）少量。（W－59）
2 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強。軽石粒（As-Aか）微量。（W－59）
3 黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱、粘性あり。軽石粒・小礫少量。（W－59）
4 黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。黒褐色粘質土ブロックやや多量。（W－59）
5 黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性弱、砂質。（W－59）
6 黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。黒褐色粘質土ブロックやや多量。砂質土少量。（W－59）
7 黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱、粘性弱、砂質土やや多量。（W－59）
8 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強、砂質土少量。（W－60）
9 黒褐色土（2.5YR3/2）しまりあり、粘性やや強。軽石粒（As-Aか）少量。（W－60）
10 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。軽石粒（As-Aか）少量。（W－60）
11 暗灰色（10YR4/1）しまりやや弱、粘性弱、As-A多量。（W－57）
12 黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱、粘性弱、As-Bよりやや弱質。（W－61）
13 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性弱、As-Bやや多量。炭粒土ブロック少量。（8号窪地）
14 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性弱、As-B主体。（8号窪地）
15 暗灰色土（10YR4/1）しまり・粘性あり、10層土ブロックやや多量。（W－58）

W-66 170
1 暗灰黄褐色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。砂質土ブロック（20～50mm）多量。白色軽石（1mm）少量。鉄分凝集あり、シルト質。

W-67 171
1 暗灰黄褐色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし。白色軽石（1mm以下）少量。鉄分凝集あり。砂質シルト。

W-68 172
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性やや弱。
2 にぶい黄褐色土（10YR5/3）しまり・粘性やや弱、やや砂質。

W-69・92 173
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性弱。褐粒砂を少量含むシルト質浜名層。切層に作う層か。（W－92）
2 暗灰色土（10YR4/1）しまり・粘性なし。砂質。（W－92）
3 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまり・粘性やや弱り、白色軽石（1mm）多量。鉄分凝集あり。砂質シルト。（W－69）
4 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりなし。粘性あり。青灰色砂質土ブロック（20～100mm）多量。粘質。（W－69）

W-70 174
1 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまり・粘性あり。青灰色砂質土ブロック（20～50mm）多量。灰黄褐色粘土ブロック（5～10mm）少量。砂質シルト。

W-72 175
1 暗灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（5～10mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。（W－72）
2 黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（5mm）微量。砂質。（W－72）
3 青灰色土（5B5/1）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（10～50mm）多量。鉄分凝集あり。砂質。（W－72）

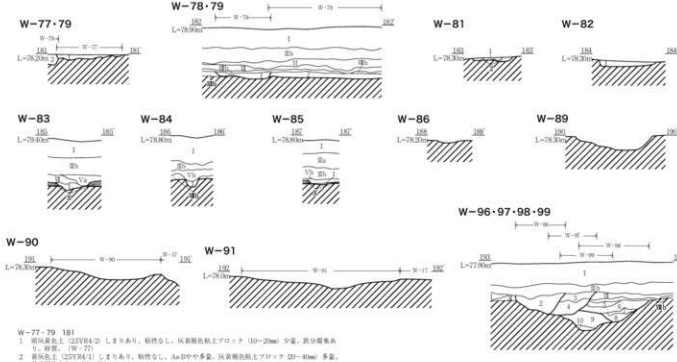
W-73 176
1 暗灰色土（10YR4/4）しまりあり、粘性弱、切層土やや多量。砂質土少量。
2 灰黄褐色土（10YR4/2）しまりやや弱、粘性弱、砂質土主体。As-Bやや多量。ラミナ状堆積。

W-74・92 177
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり・粘性弱。褐粒砂を少量含むシルト質浜名層。切層に作う層か。（W－92）
2 暗灰色土（10YR4/1）しまり・粘性なし。砂質。（W－92）
3 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまり・粘性やや弱り、白色軽石（1mm）多量。鉄分凝集あり。砂質シルト。（W－74）

W-75 178
1 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまり・粘性あり。砂粒層。鉄分凝集少量。
2 黒褐色土（2.5Y3/1）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土粒層。砂質。

W-76 180
1 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまり・粘性やや弱り、白色軽石（1mm）多量。鉄分凝集あり。砂質シルト。
2 暗灰色土（10YR3/1）しまりやや弱り、粘性あり。青灰色砂質土ブロック（30～40mm）多量。鉄分凝集あり。粘質。

Fig27　A区1面平安時代末期以降の溝（4）



W-77・79　181
1　明黄褐色土（2.5YR4/2）しまりあり、粘性なし。灰黄褐色粘土ブロック（10～20mm）少量、鉄分凝集あり。焼質。（W－77）
2　黄灰色土（2.5YR4/1）しまりあり、粘性なし。As-Bやや多量。灰黄褐色粘土ブロック（20～40mm）多量。鉄分凝集あり。（W－79）

W-78・79　182
1　黒褐色土（10YR2/1）しまりあり、粘性なし。As-Bやや多量。灰黄褐色粘土ブロック（10～20mm）多量。鉄分凝集あり。（W－78）
2　黄灰色土（2.5YR4/1）しまりあり、粘性やや有り。As-Bやや多量。灰黄褐色粘土ブロック（20～40mm）多量。鉄分凝集あり。（W－78）

W-81　183
1　黒褐色土（10YR2/2）しまりあり・粘性なし。白色軽石（1mm以下）多量。締化した灰黄褐色粘土ブロック（20～40mm）少量。焼質。

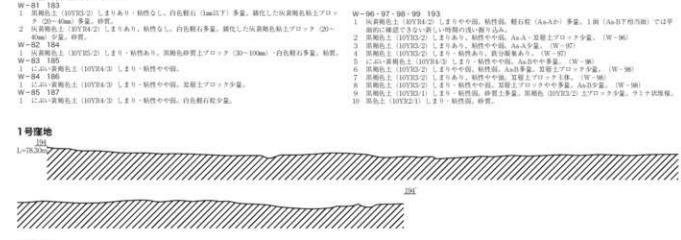
W-82　184
1　灰黄褐色土（10YR5/2）しまり・粘性あり。黒褐色砂質土ブロック（30～100mm）・白色軽石多量。粘質。

W-83　185
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱。

W-84　186
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱。As質土ブロック少量。

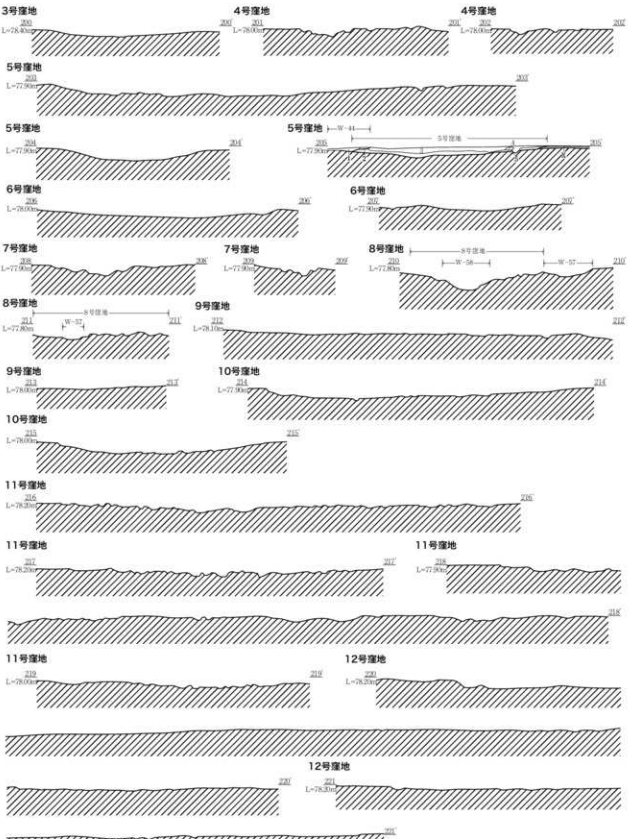
W-85　187
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱。白色軽石粒少量。

W-86・97・98・99　193
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりやや弱。粘性弱。軽石粒（As-Aか）多量。1面（As-B下程当面）では平面的に確認できない新しい時期の浅い掘り込み。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱。As-A・As質土ブロック少量。（W－96）
3　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱。As-A少量。（W－97）
4　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。鉄分凝集あり。（W－97）
5　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱。As-B中や多量。（W－98）
6　黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱、粘性弱。As-B多量。As質土ブロック少量。（W－98）
7　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強。As質土ブロック主体。（W－98）
8　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱。As質土ブロックやや多量。As-B少量。（W－98）
9　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱。砂質土多量。黒褐色（10YR3/2）土ブロック少量。ラミナ状堆積。
10　黒色土（10YR2/1）しまり・粘性弱。砂質。



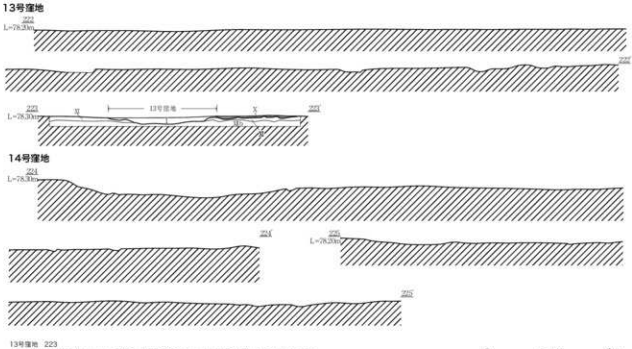
2号窪地　198
1　青灰色土　しまりあり、粘性なし。As-B主体。褐灰色粘土ブロック（10～20mm）少量。鉄分凝集あり。

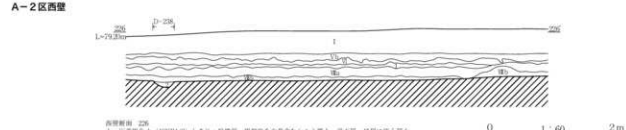
Fig.28　A区1面平安時代末期以降の溝（5）、1面窪地（1）



5号窪地　205
1　灰黄褐色土（10YR4/2）　しまりあり、粘性やや弱、As-B少量。（W－44）
2　黄褐色土（10YR5/6）　しまり・粘性あり、砂質土やや多量、黒褐土ブロック少量。（W－44）
3　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　しまりやや弱、粘性弱、細粒砂質土主体、As-Bやや多量。（5号窪地）
4　黒褐色土（10YR3/2）　しまり・粘性弱、ブロック状のAs-B。（5号窪地）
5　灰黄褐色土（10YR5/2）　しまり・粘性弱、砂質土少量、シルト質。（5号窪地）

Fig29　A区1面窪地（2）





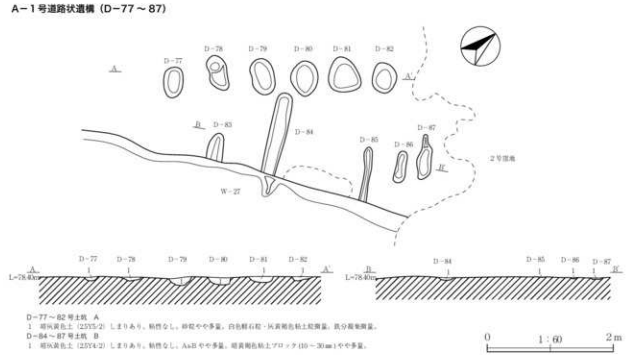
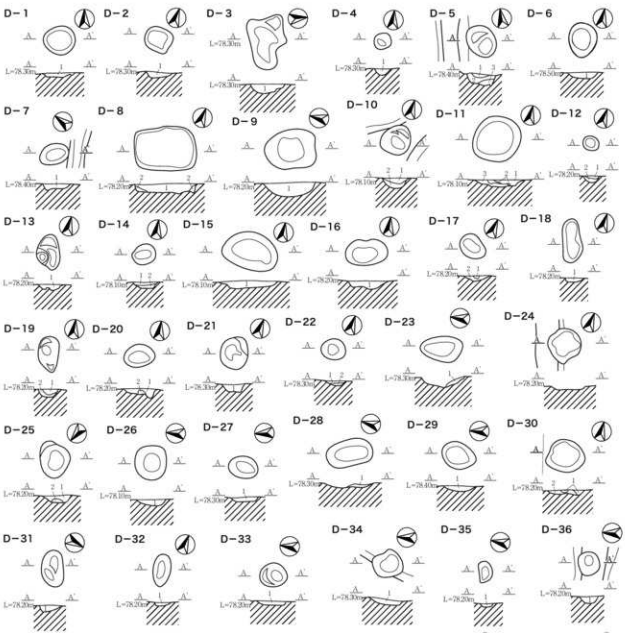
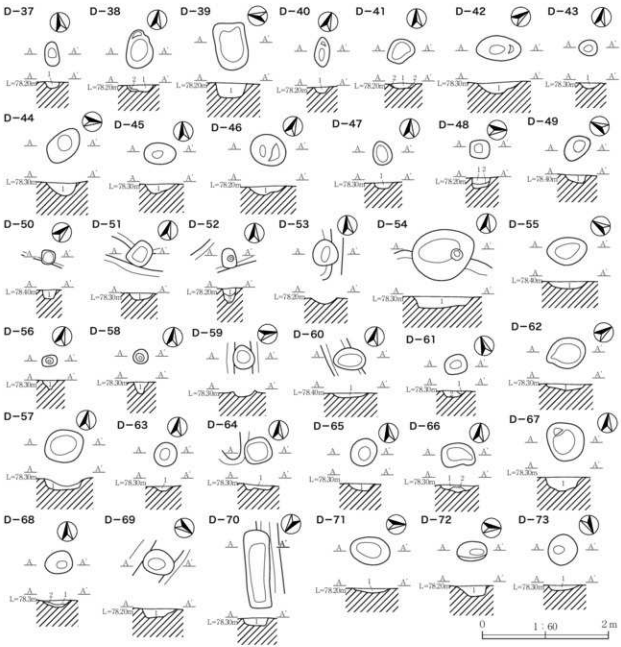


Fig.30 A区1面窪地（3）、A－2区西壁、1面道路状遺構



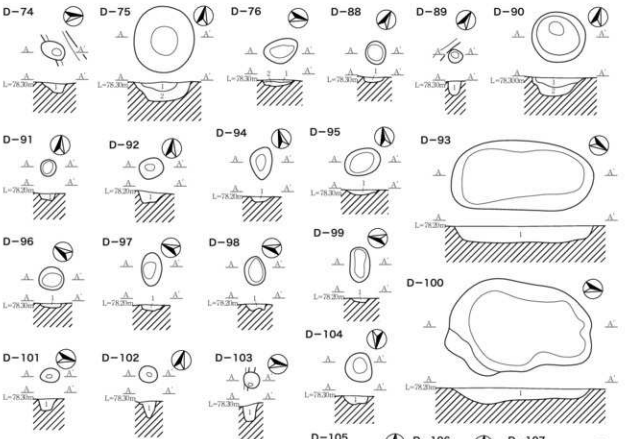
D－1～4号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱，粘性弱，AsB 多量，双眼土ブロック少量，鉄分凝集あり。
D－5号土坑　A
1　黒色土（10YR2/1）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土粒少量，砂質。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（5～10 mm）多量，砂質。
3　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（3～90 mm）多量，砂質。
D－6号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（3～5 mm）多量，砂質。
D－7号土坑　A
1　青灰色土（5B6/1）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（10～30 mm）多量，黒褐色砂質土ブロック（20 mm）少量，砂質。
D－8号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性やや弱，AsB やや多量。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性弱，AsB 多量，鉄分凝集あり。
D－9号土坑　A
1　黒褐色土（10YR2/2）しまりやや弱，粘性弱，双眼土ブロックやや多量。
D－10・12・14号土坑　A
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性やや弱，AsB 多量。
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，双眼土ブロック少量。
D－11号土坑　A
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，双眼土ブロック少量。
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり・粘性弱，AsB 主体。
3　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性やや弱。
D－13・15号土坑　A
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，双眼土ブロック少量。
D－16号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，鉄分凝集あり。
D－17号土坑　A
1　灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり，粘性やや強，双眼土ブロック主体，鉄分凝集あり。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱，双眼土ブロック少量，鉄分凝集あり。
D－18号土坑　A
1　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，鉄分凝集あり。
D－19号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，双眼土ブロック少量。
2　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，双眼土ブロックやや多量。
D－20号土坑　A
1　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱，AsB 多量，双眼土ブロック少量。
2　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱，AsB・双眼土ブロック多量。
D－21・27～29号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（－混雑化 5～20 mm）多量，砂質。
D－22号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（－混雑化 5～20 mm）多量，砂質。
2　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり，粘性なし，砂質。
D－23・33号土坑　A
1　青灰色土（5B6/1）しまりあり，粘性なし，灰黄褐色粘土ブロック（10～30 mm）多量，砂質。
D－25号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱，双眼土ブロック・AsB やや多量。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱，粘性弱，AsB 多量。
D－26号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱，AsB やや多量，双眼土ブロック少量。
D－30号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱，AsB やや多量，双眼土ブロック少量。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり，粘性やや強，双眼土ブロック主体。
D－31・32・35・36号土坑　A
1　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱，AsB やや多量，双眼土ブロック少量，鉄分凝集あり。
D－34号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性なし，AsB ブロック（10～30 mm）・灰黄褐色粘土ブロック（－混雑化 5～20 mm）多量，砂質。

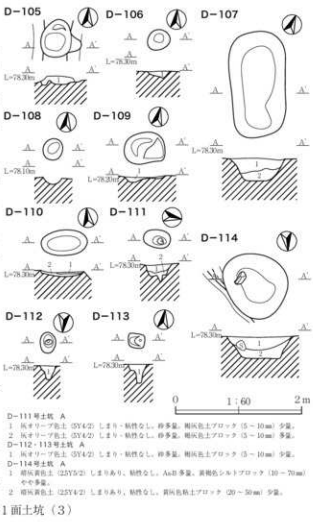
Fig.31　A区1面土坑（1）



D-37・39・40・46 号土坑　A
1　暗灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量、双層土ブロック少量、鉄分酸集あり。
D-38・41 号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量、双層土ブロック少量。
2　暗灰色土（10YR4/1）しまり・粘性弱、As-B 多量、双層土ブロック少量。
D-42 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり、As-B 主体。
D-43 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり、As-B 主体、にぶい黄褐色粘質土の小ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量。
D-44・45 号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし、灰黄褐色粘土ブロック（一部酸化 5 ～ 20㎜）多量、砂質。
D-47 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり、As-B 主体、黒褐色粘質土の小ブロック微量。
D-48 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまり・粘性あり、黒褐色粘質土ブロック（10 ～ 20 ㎜）少量、As-B 混入、シルト質。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性なし、砂粒微量。
D-49 号土坑　A
1　暗灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし、灰黄褐色粘土ブロック（10 ㎜）少量、黒褐色砂質土ブロック（20 ～ 50 ㎜）少量。
D-50 号土坑　A
1　暗灰黄色土（10YR4/2）しまり・粘性あり。
D-51 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし、As-B 主体、黒褐色粘質土ブロック（5 ～ 10 ㎜）微量。
D-52 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまり・粘性あり、鉄分酸集少量、シルト質。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性ややあり、1 層土小ブロック少量。
D-54 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性ややあり、As-B やや多量、黄褐色粘質土ブロック（1 ～ 2 ㎜）少量。
D-55 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし、As-B 主体、白色粒石（1 ㎜以下）少量、黒褐色・灰黄褐色粘土ブロック（10 ～ 30 ㎜）少量。
D-56 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまり・粘性なし、暗灰色粘土ブロック（10 ～ 20 ㎜）多量、シルト質。
D-57 号土坑　A
1　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりあり、粘性なし、As-B 多量、暗灰色シルト混入。
D-58 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし、As-B 混入、シルト質。
D-60 号土坑　A
1　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりあり・粘性なし、As-B 粒石やや多い、黄褐色粘土ブロック（2 ～ 5㎜）微量。
D-61 号土坑　A
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性弱、As-B 多量、双層土ブロック少量。
2　暗灰色（10YR4/1）しまり・粘性弱、As-B 多量、双層土ブロックやや多量。
D-62 ～ 65・69・71・72 号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性やや弱、As-B 多量、双層土ブロック少量。
D-66・68 号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性やや弱、As-B 多量、双層土ブロック少量。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまり弱、粘性やや弱、As-B・双層土ブロックやや多量。
D-67 号土坑　A
1　黒褐色土（10YR3/1）しまり弱、粘性やや弱、As-B・双層土ブロックやや多量。
D-70 号土坑　A
1　灰褐色土（7.5YR5/2）しまりあり・粘性なし、暗灰色砂主体、灰褐色粘土ブロック（20 ～ 40 ㎜）多量、粒石粒微量。
D-73 号土坑　A
1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり・粘性なし、As-B・黄褐色シルトブロック（0.5 ～ 2 ㎜）やや多量。

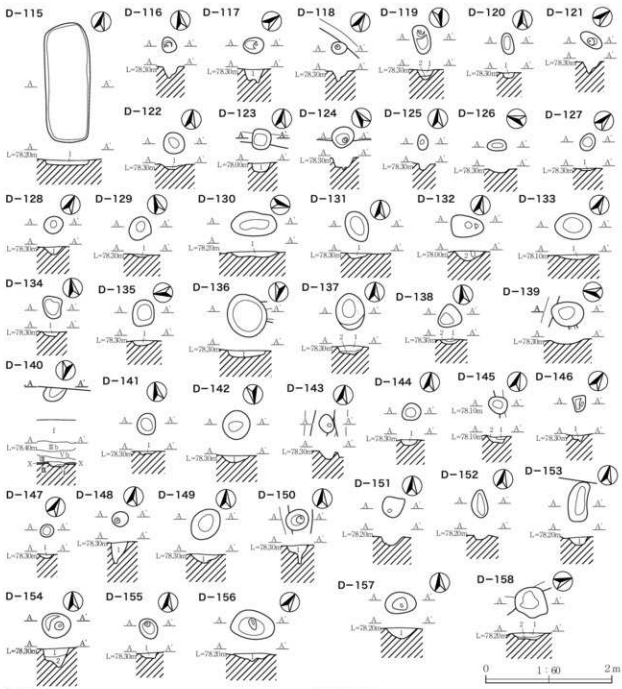
Fig.32　A 区 1 面土坑（2）





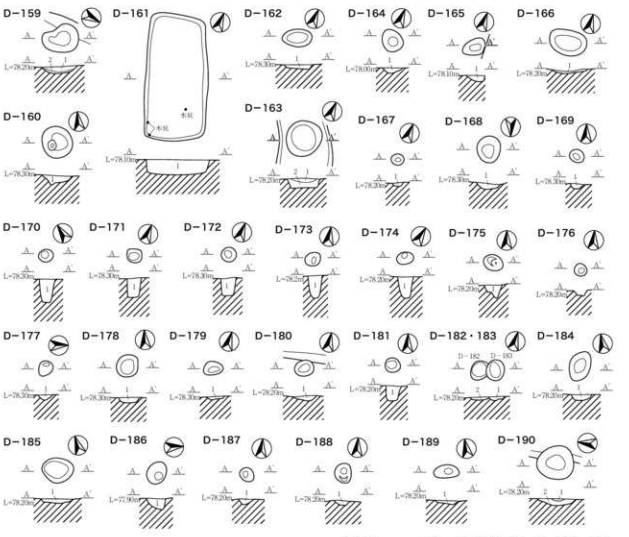
D-74 号土坑 A
1 暗灰黄色土(2.5Y4/2)しまりあり・粘性なし。As-B 主体。黄褐色シルトブロック(0.5～2mm)やや多量。
D-75 号土坑 A
1 黄灰色土(2.5Y4/1)しまりあり、粘性なし。黄褐色シルトブロック(0.5～1mm)多量。As-B やや多量。
2 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまりあり、粘性なし。As-B やや多量。
D-76 号土坑 A
1 暗灰黄色土(2.5Y4/2)しまりあり、粘性なし。As-B 多量。黄灰色シルトブロック(5～10mm)少量。
2 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまりあり、粘性なし。黄褐色シルトブロック (5～20mm) 中量。As-B 少量。
D-88 号土坑 A
1 黄灰色土(2.5Y4/1)しまりあり、粘性なし。As-B 多量。微化した黄褐色粘土ブロック(5～30mm)少量。暗灰色粘質シルト (30mm) 微量。
D-89 号土坑 A
1 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりあり、粘性なし。暗灰色粘土 (1～5mm) 主体。As-B 少量。
D-90 号土坑 A
1 暗灰黄色土(2.5Y4/2)しまりあり、粘性なし。暗灰色粘土ブロック(30～70mm)少量。鉄分凝集、砂質。
2 暗灰色土 (10YR4/1) しまりあり、粘性なし。暗灰色粘土ブロック (10～20mm) 少量。シルト質。
D-91・106 号土坑 A
1 黒褐色土 (10YR2/2) しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。双層土ブロック少量。鉄分凝集あり。
D-92・93・100 号土坑 A
1 暗灰色土 (10YR4/1) しまり・粘性弱。As-B・XI・XIIb 層土ブロックやや多量。
D-94 号土坑 A
1 暗灰色土 (10YR4/1) しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。双層土ブロック少量。鉄分凝集あり。
D-95 号土坑 A
1 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりあり、粘性なし。As-B 多量。黄褐色シルトブロック (2～5mm) 微量。
D-96 号土坑 A
1 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまりあり、粘性なし。白色軽石微量。
D-97～99 号土坑 A
1 黒褐色土 (10YR2/2) しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。双層土ブロック少量。
D-101・103 号土坑 A
1 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまりあり、粘性なし。As-B 多量。黒褐色シルトブロック (10～20mm) 微量。黄土の軽鉄分に鉄分凝集。
D-102 号土坑 A
1 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまりあり、粘性なし。黄灰色シルトブロック (5～20mm)・灰黄色シルトブロック (5～10mm) 多量。As-B やや多量。
D-104 号土坑 A
1 黒褐色土 (2.5Y3/2) しまりあり・粘性なし。As-B 多量。黒褐色粘土少量。
D-105 号土坑 A
1 黒褐色土 (2.5Y3/2) しまりあり、粘性なし。黄褐色シルトブロック (5～20mm) をやや多量に含む As-B 上の風土。
D-107 号土坑 A
1 黒褐色土 (10YR2/2) しまり・粘性やや弱。As-B 多量。双層土ブロック少量。
2 黒褐色土 (10YR3/1) しまりあり、粘性やや強。XI・XIIb 層土ブロック主体。
D-109 号土坑 A
1 暗灰色土(10YR4/1)しまりあり、粘性なし。As-B 主体。灰黄褐色粘土ブロック (10～20mm) 多量。
D-110 号土坑 A
1 暗褐色土 (10YR3/3) しまりあり、粘性なし。As-B 主体。微化した灰黄褐色粘土粒・ブロック (5～10mm) 多量。白色軽石粒 (2mm) 微量。
2 暗灰色土 (10YR4/1) しまりあり、粘性なし。As-B 主体。微化した灰黄褐色粘土粒・ブロック (5～10mm) 多量。白色軽石粒 (1mm) 多量。
D-111 号土坑 A
1 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色土ブロック (5～10mm) 少量。
2 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色土ブロック (5～10mm) 多量。
D-112・113 号土坑 A
1 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色土ブロック (5～10mm) 少量。
D-114 号土坑 A
1 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりあり、粘性なし。As-B 多量。黄褐色シルトブロック (10～70mm) やや多量。
2 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりあり、粘性なし。黄灰色粘土ブロック (20～50mm) 少量。

Fig.33 A区1面土坑（3）



D-115 号土坑 A
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性弱、As-B やや多量、又層土ブロック少量。
D-117・122・136 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）多量。
D-119 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量。
2 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）多量。
D-120・127 ～ 129・131・134・135・141・148 ～ 150 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量。
D-123 号土坑 A
1 にぶい黄褐色土（10YR5/3）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量。
D-130・133 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性弱、As-B やや多量、又層土ブロック少量。
D-132 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR2/3）しまり・粘性弱、As-B 多量、又層土ブロック少量。
2 黒褐色土（10YR2/2）しまり・粘性弱、As-B 多量、又層土ブロック少量。
D-137 号土坑 A
1 暗褐色土（10YR3/3）しまりあり、粘性なし、As-B 少量、黒褐色粘土・黄褐色シルト（30 ～ 50 ㎜）を含む層土。
2 黄灰色土（2.5Y4/1）しまりあり、粘性なし、砂粒（As-B か）主体。
D-138 号土坑 A
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし、As-B 少量、黒褐色粘土（20 ～ 30 ㎜）微量。
2 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし、As-B 少量、黄褐色粘土粒（～ 5 ㎜）微量。
D-140 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性弱、As-B 主体。
D-142 号土坑 A
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性なし、白色軽石（1 ㎜以下）・暗灰色粘土粒・ブロック（1 ～ 5 ㎜）多量、関土下端に炭化物確認、鉄分凝集あり、砂質。
D-144 号土坑 A
1 暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり、粘性なし、暗褐色粘土多量、As-B 少量。
D-145 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強、又層土ブロック多量。
2 黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱、As-B 多量。
D-146 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし、鉄分凝集あり、砂質。
D-147 号土坑 A
1 黒灰色土（2.5Y4/1）しまりあり、粘性なし、As-B やや多量、灰黄色シルト粒（5 ㎜大）微量。
D-153 号土坑 A
1 暗灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量、又層土ブロック少量、鉄分凝集あり。
D-154 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量。
2 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）多量。
D-155 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし、砂多量、暗灰色ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量、無化が顕著。
D-156 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強、As-B やや多量、黒褐色・暗灰色粘土ブロック少量。
D-157 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強、As-B やや多量、黒褐色粘土ブロック少量。
D-158 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし、As-B やや多量、黒褐色粘土粒・黄褐色シルト粒微量。
2 暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし、砂質。

Fig.34　A 区 1 面土坑（4）



D-159 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。As-B・黄褐色シルトブロック（5～30 ㎜）やや多量。
　黒褐色土ブロック（30～50 ㎜）少量、やや多量。
2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし。砂質。

D-160 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）As-B ブロック（20～50 ㎜）・酸化した灰黄褐色粘土ブロック（5～40 ㎜）多量。

D-161 号土坑　A

1　灰黄褐色土（10YR5/2）しまり・粘性あり。As-B・宮原土ブロック少量。

D-162 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。砂多量。黒褐色土ブロック（5～10 ㎜）多量。

D-163 号土坑　A

1　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり、粘性なし。砂（As-B か）やや多量。
2　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりあり、粘性やや強い。砂（As-B か）少量。

D-164・165 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量、宮原土ブロック少量、鉄分凝集あり。

D-166・170・181 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色土ブロック（5～10 ㎜）少量。

D-167 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。下底部中心に砂多量。褐灰色ブロック（5～10 ㎜）少量、As-B 混入。

D-168 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強い。As-B・褐灰色粘土ブロック（5～30 ㎜）やや多量。黒褐色粘土ブロック少量。

D-169 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。下底部中心に砂多量。褐灰色ブロック（5～10 ㎜）少量。

D-171 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色ブロック（5～10 ㎜）少量。下半部に黄色シルト粒少量。

D-172 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。褐灰色粘土ブロック（10～30 ㎜）やや多量。黒褐色粘土ブロック少量。

D-173 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。

D-174 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色土ブロック（5～10 ㎜）少量。下半部に鉄分凝集層。

D-175 号土坑　A

1　灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。砂多量。褐灰色土ブロック（5～10 ㎜）少量。

D-177 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。砂質。

D-178～180・184・185 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。

D-182・183 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色粘土ブロック少量。褐灰色粘土ブロック微量。（D－183）

2　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色粘土ブロック少量。（D－182）

D-186・191 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱、As-B やや多量。宮原土ブロック少量。鉄分凝集あり。

D-187 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。灰褐色粘土粒微量。

D-188 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色・灰褐色（10～40 ㎜）粘土ブロック少量。

D-189 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。砂多量。As-B やや多量。黒褐色粘土ブロック少量。

D-190 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR2/2）しまりやや弱、粘性弱、As-B 多量。宮原土同質。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。宮原土ブロックやや多量。As-B 少量。

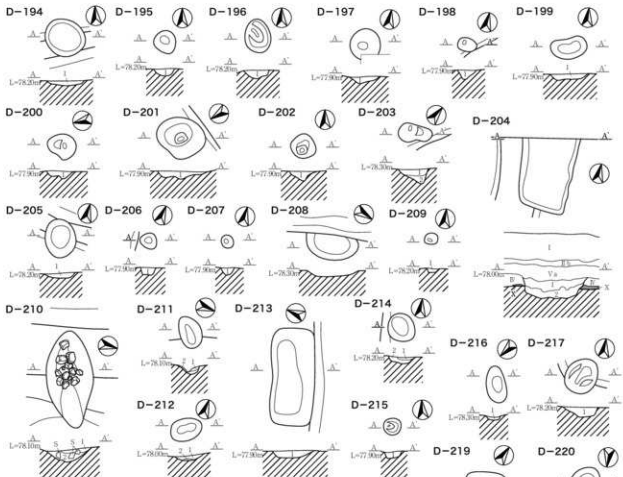
D-192 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色・灰褐色粘土ブロック少量。

D-193 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。灰褐色粘土粒微量。鉄分凝集微量。

Fig.35　A 区 1 画土坑（5）



D-194 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり、砂多量。As-B やや多量。褐灰色粘土ブロック（5 ～ 20 ㎜）中量。黒褐色粘土ブロック少量。茶色味を帯びる。

D-195 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。灰褐色粘土粒（5 ㎜）微量。部分的に砂のブロックを縞道。

D-196 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。As-B やや多量。灰褐色シルトブロック（10 ～ 50 ㎜）多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。

D-197 ～ 202 号土坑 A
1 褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。又層土ブロック少量。炭少量集あり。

D-203 号土坑 A
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまりあり、粘性ややあり。灰褐色土粒・ブロック（3 ～ 5 ㎜）微量。
2 黄灰色土（2.5Y3/1）砂質。

D-204 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱。As-B 少量。
2 黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱。As-B・又層土ブロックやや多量。

D-205 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性なし。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。灰褐色シルト（30 ～ 20 ㎜）少量。

D-206 ～ 207・215 号土坑 A
1 褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。又層土ブロック少量。炭少量集あり。

D-209 号土坑 A
1 黄褐色土（2.5Y5/3）しまりあり、粘性なし。As-B 主体。

D-210 号土坑 A
1 黄灰色土（2.5Y4/1）しまりなし、粘性あり。砂質土ブロック（20 ～ 50㎝）多量。シルト質。
2 にぶい黄色土（2.5Y6/3）しまり・粘性なし。砂質。

D-211 号土坑 A
1 褐灰色土（2.5Y4/1）しまりなし、粘性あり。白色粒（1 ㎜以下）少量。炭少量集あり。シルト質。
2 褐灰色土（10YR4/1）しまりなし、粘性あり。炭少量集あり。砂質シルト。

D-212 号土坑 A
1 黒褐色（10YR3/2）しまりなし、粘性あり。青灰色砂質土ブロック（10 ㎜）少量。炭少量集あり。粘質シルト質。
2 黒色土（10YR2/1）しまり・粘性なし。砂質。

D-213 号土坑 A
1 灰黄褐色土（10YR4/2）しまり弱。粘性やや弱。As-B やや多量。又・Xb 層土ブロック少量。

D-214 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。
2 黄灰色土（2.5Y4/1）As-B 主体。灰黄褐色粘土粒微量。

D-216 号土坑 A
1 褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性なし。砂質土ブロック（10 ～ 30 ㎜）多量。炭少量集あり。

D-217 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色粘土ブロック少量。

D-218 号土坑 A
1 褐灰色土（10YR4/1）しまりあり。砂質土ブロック（10 ～ 30 ㎜）多量。炭少量集あり。粘土質。

D-219 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。As-B・砂多量。褐灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量。下半部に灰黄褐色粘土ブロック（30 ～ 50 ㎜）少量。

D-220 号土坑 A
1 褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。又層土ブロック少量。炭少量集あり。
2 黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性あり。又層土ブロックやや多量。

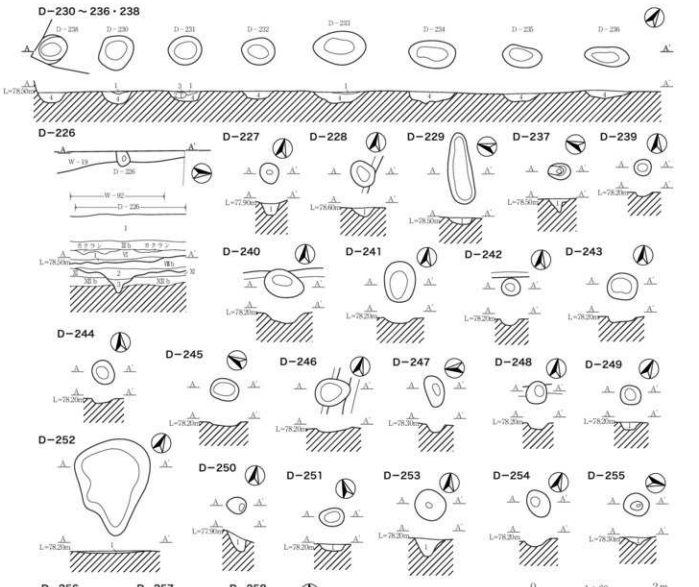
D-222 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり。粘性ややあり。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色・灰黄褐色（20 ～ 50 ㎜）粘土ブロック少量。炭少量集微量。

D-223 号土坑 A
1 灰オリーブ色土（5Y4/2）しまり・粘性なし。褐灰色土ブロック（5 ～ 10 ㎜）少量。

D-224 号土坑 A
1 黒褐色土（10YR3/2）しまりあり。粘性なし。As-B やや多量。黒褐色・褐灰色・灰黄褐色（10 ～ 20 ㎜）粘土ブロック少量。

D-225 号土坑 A
1 褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性ややあり。白色粒石（1 ㎜）少量。シルト質。

Fig.36　A 区 1 面土坑（6）



D-226 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性なし。砂質。（W－92）

2　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまり・粘性やや有り，白色粒石（1 ㎜）多量。炭分混集あり。砂質シルト。（D－226）

3　黄灰色土（2.5Y4/1）しまりやや有り，粘性あり。灰黄褐色粘土ブロック（10～30 ㎜）多量。砂質シルト。（D－226）

D-227 号土坑　A

1　灰色土（7.5Y4/1）しまりなし。粘性あり，黒褐土ブロック（30～50 ㎜）多量。炭分混集あり。シルト質。

D-228・229・237 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱，粘性弱。As-B 多量，黒褐土ブロック少量。

D-230～236・238 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱。As-B やや多量。

2　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱。As-B 多量。

3　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性やや強，黒褐土ブロック多量。

4　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱。As-B 多量，黒褐土ブロック少量。

D-249・251・253 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり，粘性やや有り，白色粒石（1 ㎜）少量。シルト質。

D-250 号土坑　A

1　灰色土（10YR2/1）しまりなし，粘性あり，白色粒石若少量。

D-252 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR5/1）しまり・粘性あり，白色粒石（2 ㎜）多量。

D-255 号土坑　A

1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり，粘性やや有り，下端に砂層，白色粒石（1 ㎜以下）多量。炭分混集あり。

D-258 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性なし。As-B やや多量。酸化した黄褐色シルトブロック（5～10 ㎜）やや多量。

2　暗灰黄色土（2.5Y5/2）しまりあり，粘性なし。As-B 主体。暗灰黄色粘土ブロック（10～30 ㎜）少量。

D-259・263・264 号土坑　A

1　暗灰黄色土（2.5Y4/2）しまりあり，粘性なし。黄褐色粘土ブロック（30～50 ㎜）少量。As-B 混土。

D-260・261 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性なし。As-B やや多量。酸化した黄褐色シルトブロック（5～10 ㎜）やや多量。

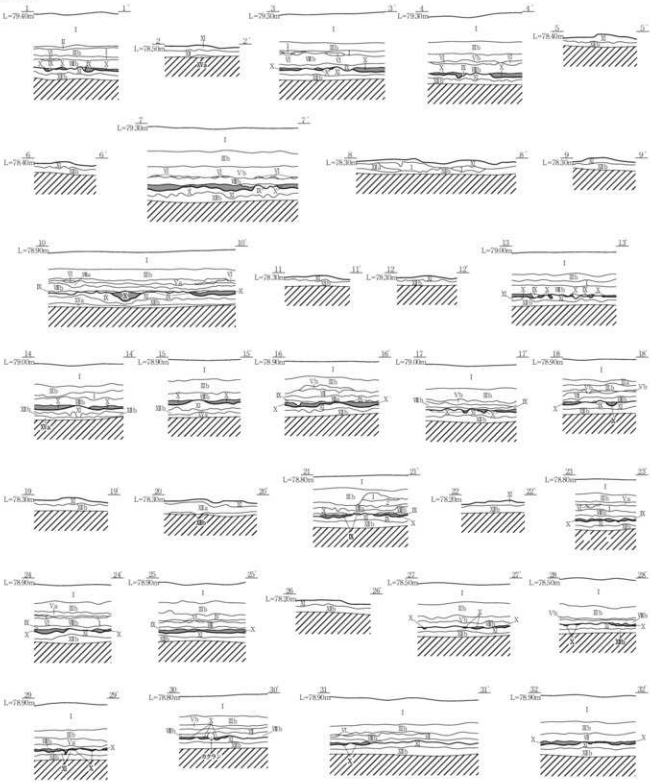
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり，粘性なし。As-B 多量。酸化した黄褐色シルトブロック（5～10 ㎜）やや多量。
黒褐色粘土質・黄褐色シルト粒微量。

D-262 号土坑　A

1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり，粘性なし。As-B やや多量。酸化した黄褐色シルトブロック（5～10 ㎜）やや多量。
黒褐色粘土質・黄褐色シルトブロック（10～20 ㎜）微量。

Fig.37　A 区 1 面土坑（7）

畦畔（1）



畦畔　1・3・13・14
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり・粘性やや弱。
畦畔　8
1　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり。粘性やや弱。やや砂質。
畦畔　21
1　褐色土（10YR4/6）しまりあり。粘性やや弱。切堀土少量。白色粗石粒（As-A か）少量。
2　褐色土（10YR4/4）しまりあり。粘性やや弱。As-B・切堀土・灰黄褐色土（10YR5/2）シルト質土少量。
畦畔　23
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱。上層の切堀土をやや多量に含む場層。
畦畔　24
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや弱。上層の切堀土をやや多量に含む場層。

Fig.38　AIX As-B 下水田畦畔（1）

畦畔（2）

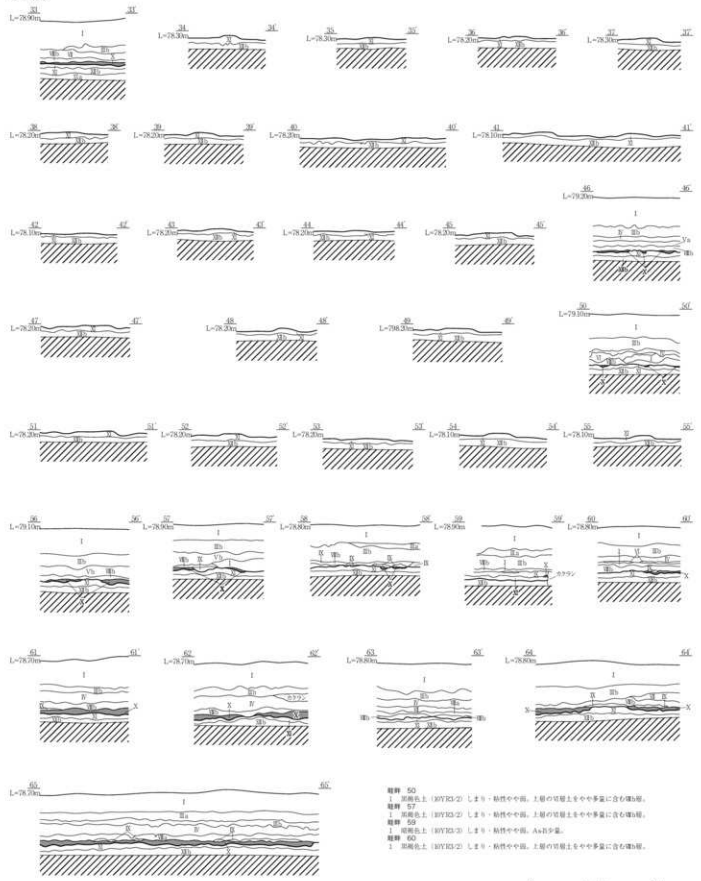


Fig.39　A区 As-B 下水田畦畔（2）

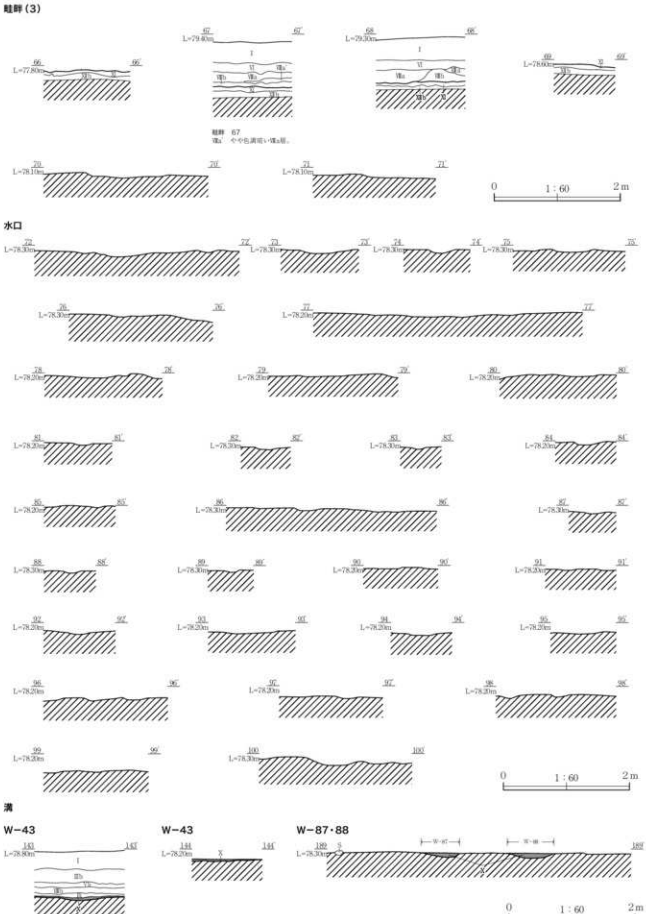


Fig.40　A区 As-B 下水田畦畔（3）・水口・溝（W－43・87・88）

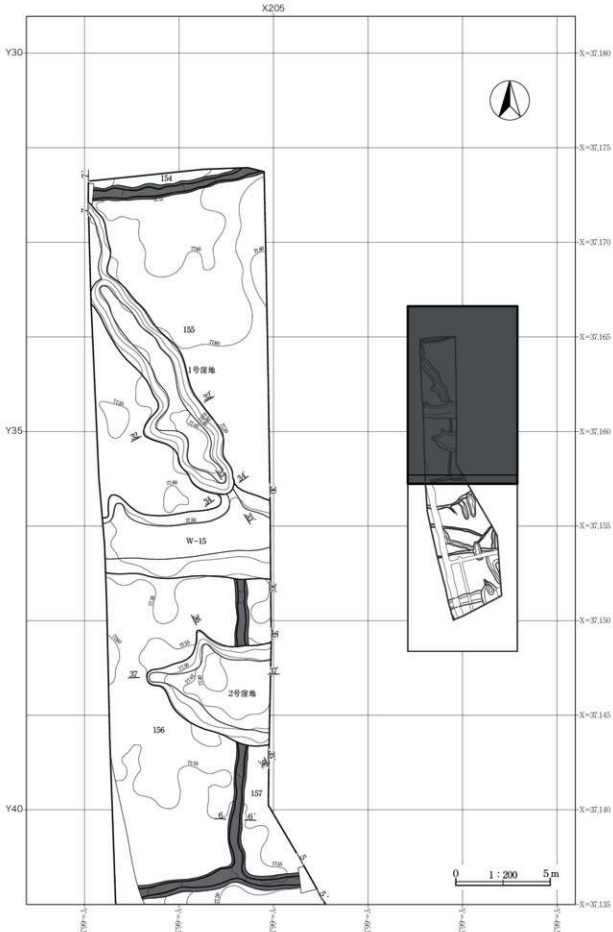


Fig.41　B－1区1面全体図（1）

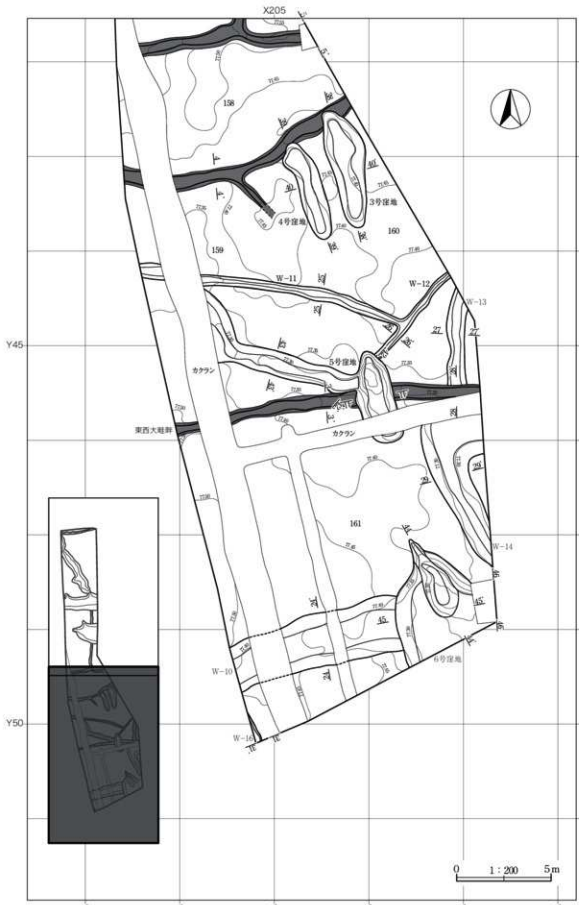
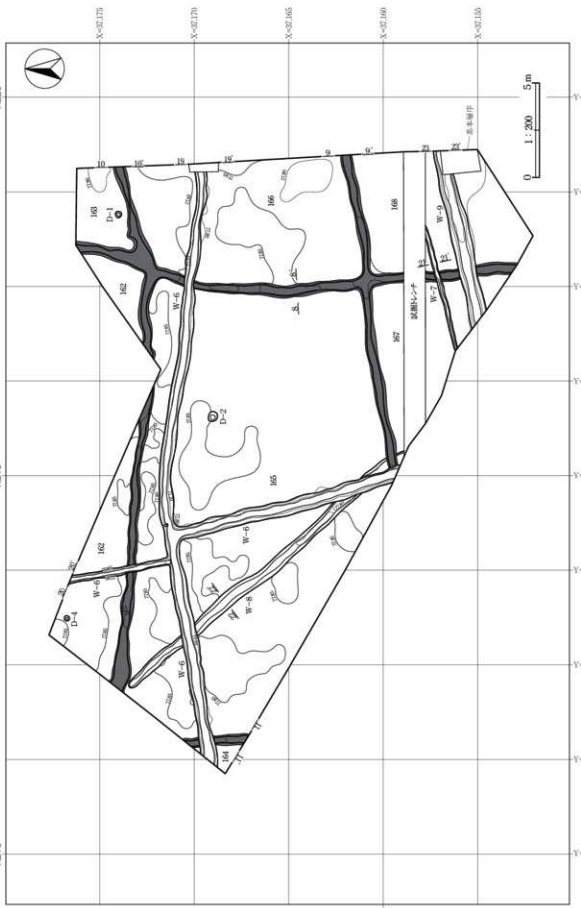


Fig.42　B－1区1面全体図（2）


X=62,175
X=62,170
X=62,165
X=62,160
X=62,155
X220
X215
X210
Y=66,520
Y=66,525
Y=66,530
Y=66,535
Y=66,540
Y=66,545
Y=66,550
Y=66,555
Y=66,560
Y35
0
1:200
5m
B-1
B-2
B-3
B-4
W-1
W-2
W-3
W-4
W-5
W-6
W-7
W-8
W-9
W-10
W-11
W-12
W-13
W-14
W-15
W-16
W-17
W-18
W-19
W-20
W-21
W-22
W-23
W-24
W-25
W-26
W-27
W-28
W-29
W-30
W-31
W-32
W-33
W-34
W-35
W-36
W-37
W-38
W-39
W-40

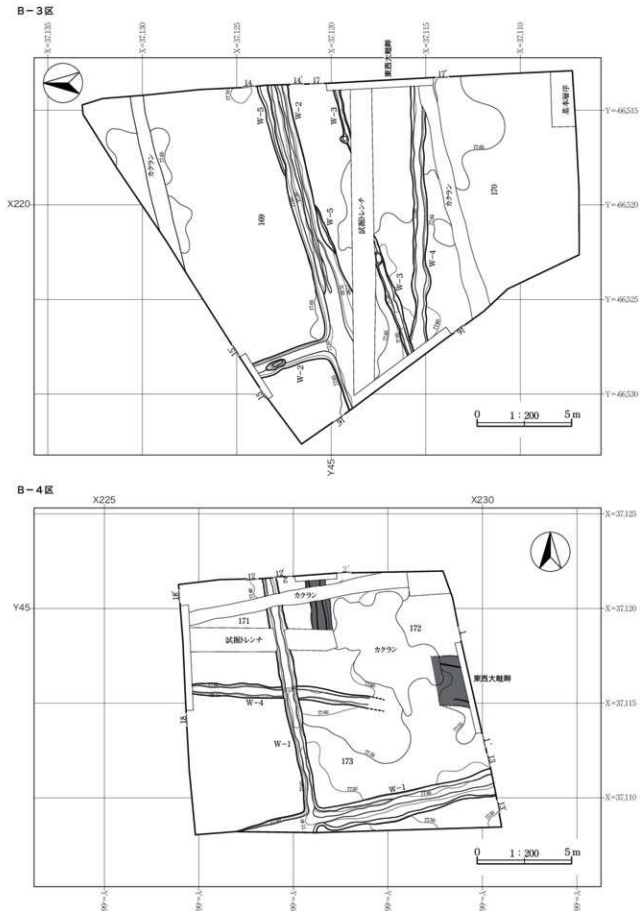
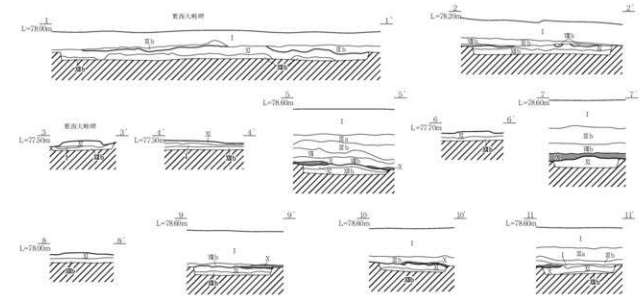
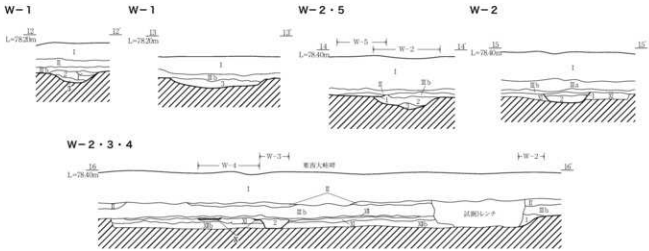


Fig.44　B－3・4区1面全体図

畦畔



畦畔3
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりやや弱、粘性やや強。黒色土（炭化物か）をやや多く含む。
畦畔4
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強、やや色調明るい芯畦土。
畦畔11
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。As3層に類似。



W－1号溝　12・13
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性やや強、ブロック状。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量。
3　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量。
　Ⅱb層土ブロック少量。
W－2・5号溝　14
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-B少量、鉄分凝集あり。（W－5）
2　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量。（W－2）
3　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量。
　Ⅱb層土ブロック少量。（W－2）
W－2号溝　15
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり・粘性あり。As-B・白色粒右肩少量。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量。
　Ⅱb層土ブロック少量。
W－2・3・4号溝　16
1　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや弱、As-Bやや多量。（W－2）
2　暗褐色土（10YR3/3）しまりやや強、粘性やや弱。（W－3）
W－3・4号溝　17
1　暗褐色土（10YR3/3）しまりやや強、粘性やや弱、芯畦土ブロックやや多量。（W－3）

Fig45　B区 As-B 下水田畦畔、1面溝（1）

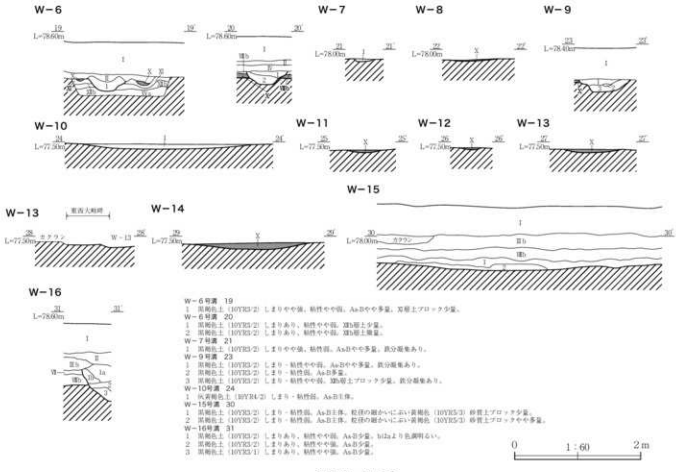


Fig.46　B区1面溝（2）、1面窪地（1）

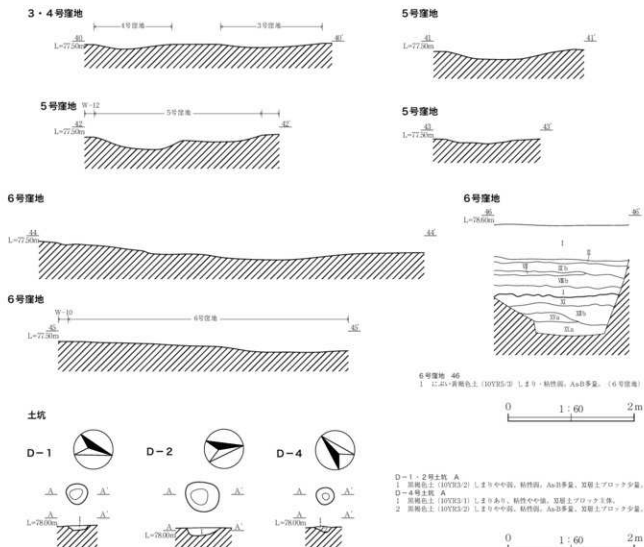


Fig.47　B区１面窪地（２）、１面土坑

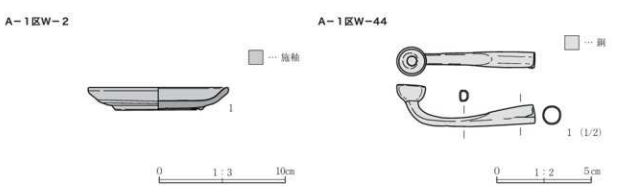


Fig.48　１面出土遺物

Tab. 4　１面出土遺物観察表

A－１区 W－２

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 1	陶器　瓶	(11.5)	6.8	1.9	黒色細粒	堅緻	灰白		内面ロクロナデ後体部中位以下回転ヘラケズリ，底部（回転糸切り痕）回転ヘラケズリによる調整が加え，高台貼付後，内面ロクロナデ，貼付痕強残，底部ヘラ記号有り，底部高台内に墨痕跡多面残存。	古瓦残存，瀬戸・美濃。

A－１区 W－44

No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 2	銅製品　煙管	(7.2)	(1.5)	(1.6)	銅	－	－	5.7	吸口部，雁首，羅宇，吸口欠損，雁首欠損している。	火箸一種か残存。

2　第2面

（1）調査の概要

A区ではA－1区においてトレンチ調査を行い、Hr-FA洪水層を確認した箇所は掘り下げて遺構の有無を確認した。トレンチ調査は東西方向に12ヶ所トレンチを設定し、灰白色粘質土層（Ⅲ層）まで掘り下げて土層断面を確認した。8号トレンチ断面ではHr-FA洪水層が確認されたため、この層の広がりを平面的に確認した。その結果、8号トレンチの位置する細長い調査区内ではこの層が薄く確認されたものの、その直下に水田等の遺構は確認されなかった。また8号トレンチではAs-C一次堆積層も確認されており、ちょうど窪地部分にトレンチが当たったと考えられる。11号トレンチ断面では、ブロック状のHr-FA洪水層が確認された。小ブロックであるため、一次的な堆積とは判断し難く、下層に黒色の水田耕作土層は確認できなかった。6号トレンチは畦畔が変則的に斜行する低地部に重複するが、断面では落ち窪むような土層は確認されなかった。

また第1面調査中、A－1区西側のA－1号道路状遺構の下層にHr-FA洪水層の堆積が確認されていた。第2面調査ではその箇所を部分的に掘り下げた。洪水層は溝の覆土として確認され、W－94·95を検出した。また、第1面で調査したが、As-B下水田より時期の古い遺構は第2面の項目で記述する（W－22・71）。

B区については、周囲の調査事例からB－1・3区でHr-FA洪水層下水田と、古墳時代前期の住居跡の検出が想定されていた。実際、B－1区ではHr-FA洪水層が南側の微高地を除いて全面的に確認され、FA洪水層に埋没した古墳時代後期の水田及びそれに伴う溝7条（W－17・19・22・25～27・29）を検出した。南側の微高地部分ではFA洪水層が確認できず、Ⅻ層上面において1号周溝状遺構を検出した。この遺構は隣接する南部拠点地区遺跡群No.11の中央調査区東壁際に検出された「5号周溝状遺構」（古墳時代前期の住居跡）の未調査部分である。また、B－1区では他に、FA洪水層堆積以降の溝7条（W－18・20・21・23・24・28・30）、土坑2基（D－5・6）を検出した。B－2・4区については、鍵層となるHr-FA洪水層やAs-C一次堆積層は確認されず、重機で灰白色粘質土層（Ⅲ層）まで掘り下げた後、断面を確認して調査を終了した（Fig.59）。B－3区は西側に周溝状遺構の検出が想定されたため、西半分を重機で掘削してⅫ層を面的に広げたが、周溝状遺構は検出されず、土坑1基（D－3）と倒木痕が1基検出された。倒木は西に向かって倒れたとみられる。FA洪水層は層としては確認できなかったが、B－3区西壁断面Dでは As-B下水田耕作土層中にFA洪水層の小ブロックが混入していることが確認された（Fig.59）。

（2）古墳時代後期～平安時代

A－1区W－22号溝（Fig.49・50、PL.13）

位置　A－1区（X 156、Y 30）　**主軸方向**　N－3°－E　**規模**　長さ2.74 m、上幅0.43 m、下幅0.18 m、深さ0.08 m。　**形状等**　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。南北方向に走行する。覆土はHr-FA洪水堆積物を少量含む粘質土である。　**重複**　As-B下水田よりも古い。　**出土遺物**　なし。　**時期**　第1面調査時にAs-B下水田面に確認した遺構であるため、水田と時期差はあまりないものと考えられる。時期は平安時代と考えたい。

B－1区W－18号溝（Fig.52・54、PL.19）

位置　B－1区（X 202～204、Y 32～36）　**主軸方向**　N－43°－E、N－29°－W。　**規模**　長さ（17.46）m、上幅1.03～2.21 m、下幅0.52～1.27 m、深さ0.21～0.47 m。　**形状等**　調査区北に検出。断面は弧状を呈する。およそ南東に向かって走行し、南端部で南西方向に湾曲する。覆土はラミナ状堆積が見られ、流水していたと考えられる。覆土上層は泥炭質層が見られる。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田→W－23→本遺構→W－21である。　**出土遺物**　須恵器、土師器の坏・甕の小片が数点ずつ出土。　**時期**　重複関係と出土遺

物から8世紀と考えられる。

B－1区W－20号溝（Fig.53・54、PL.19）

位置　B－1区（X 203、Y 41～42）　**主軸方向**　N－1°－W　**規模**　長さ3.26m、上幅0.27～0.38m、下幅0.11～0.18m、深さ0.14m。　**形状等**　調査区中央に検出。断面は弧状を呈する。南北方向に直線的に走行する。覆土は砂質土をやや多量に含む粘質土で、Hr-FA 洪水のブロックを含む。　**重複**　新旧関係はHr-FA 洪水層下水田・W－17→本遺構である。　**出土遺物**　土師器の坏が2点出土。小片のため図示しなかった。　**時期**　覆土の状況と重複関係から古墳時代後期～平安時代と考えられる。

B－1区W－21号溝（Fig.52・54・60、Tab. 6、PL.19）

位置　B－1区（X 204、Y 36～37）　**主軸方向**　N－1°－E　**規模**　長さ（3.83）m、上幅0.58～0.75m、下幅0.27～0.43m、深さ0.17～0.21m。　**形状等**　調査区北に検出。断面は弧状を呈する。南北方向に走行する。北端はW－18と、南端はW－23と重複する。覆土は砂質土をやや多量に含む粘質土で、流水していたと考えられる。Hr-FA 洪水のブロックを少量含む。　**重複**　新旧関係はHr-FA 洪水層下水田→W－23→W－18→本遺構である。　**出土遺物**　土師器の坏（1）・（2）を図示した。他に叩き石が覆土上層から出土している。　**時期**　重複関係と出土遺物から9世紀と考えられる。

B－1区W－23号溝（Fig.52・54・60、Tab. 6、巻頭図版4）

位置　B－1区（X 202～204、Y 33～38）　**主軸方向**　N－19°－W、N－51°－W。　**規模**　長さ（16.53）m、上幅4.33m、下幅1.03～1.86m、深さ0.39～0.77m。　**形状等**　調査区北に検出。断面は弧状を呈する。南に向かうにつれて湾曲し、東へ大きく傾いて南東方向へ下る。覆土はラミナ状の堆積があり、流水していたと考えられる。粘質土を主体とし、Hr-FA 洪水のブロックやAs-Cを少量含む。覆土上層にはⅦ層が確認された。堆積土層から、少なくとも2度溝を掘り直した形跡がある。また、断面左側では、Hr-FA 洪水層とAs-C一次堆積層が落ち込んでおり、Hr-FA 洪水層下水田の時には溝があり、それ以前は窪地であったところに溝を掘削したと推測される。　**重複**　新旧関係はHr-FA 洪水層下水田・W－19・W－26→本遺構→W－18→W－21である。　**出土遺物**　溝底面近くから6世紀後半の須恵器模倣坏（1）・（2）が出土した。また、木杭（3）、加工痕のある不明木製品（4）を図示した。また、S字条口縁台付甕が二十数点出土しており、その内3点（1）・（2）・（3）を遺構外遺物として図示した。他に、土師器の坏が二十数点、甕が五十数点出土しているが、いずれも小片のため図示しなかった。　**時期**　重複関係と出土遺物から6世紀後半に掘削され、Ⅶb層堆積後には完全に埋没していたと考えられる。

B－1区W－24号溝（Fig.53・54、PL.18）

位置　B－1区（X 205～207、Y 42～45）　**主軸方向**　N－29°－W　**規模**　長さ（11.83）m、上幅（3.1）m、下幅（2.44）m、深さ（0.29）m。　**形状等**　調査区南の東壁際に検出。断面は弧状を呈する。覆土は粘質土主体で砂質土を含み、ラミナ状堆積が見られるため、流水していたと考えられる。また、Hr-FA 洪水のブロックを含む。W－23とは覆土が類似している。　**重複**　新旧関係はHr-FA 洪水層下水田→本遺構である。　**出土遺物**　土師器の坏の小片が数点、土師器の甕の小片が11点、S字状口縁台付甕の小片が1点出土している。　**時期**　覆土の状況から、古墳時代後期～平安時代と考えられる。　**備考**　W－23とは覆土が類似し、出土遺物に須恵器が含まれない点が共通している。W－24は谷地の最も低い所に位置しており、谷地形に沿って溝を掘ったとすれば、W－23は調査区外で南に蛇行してW－24に繋がっている可能性がある。

B－1区W－28号溝（Fig.52・55、PL.19）

位置　B－1区（X 204、Y 31～32）　**主軸方向**　N－11°－W　**規模**　長さ（2.49）m、上幅1.96m、下幅0.89m、深さ0.31m。　**形状等**　調査区北端に検出。断面は弧状を呈する。およそ南北方向に走行する。覆土はAs-Cを少量、Hr-FA 洪水のブロックを微量含む粘質土である。　**重複**　新旧関係はHr-FA 洪水層下水田・W－27→

本遺構である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から古墳時代後期～平安時代と考えられる。

B－1区W－30号溝（Fig.53、PL.18）

位置　B－1区（X 207、Y 45）　**主軸方向**　N－27°－W　**規模**　長さ1.39 m、上幅0.29～0.42 m、下幅0.09～0.21 m、深さ0.08 m。　**形状等**　調査区南に検出。断面は弧状を呈する。水田畦畔を切って形成されている。北東方向に向かって傾斜している。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田→本遺構である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から古墳時代後期～平安時代と考えられる。

土坑

B－2区D－3号土坑（Fig.59、PL.19）

位置　B－2区（X218、Y45）　**規模**　長軸0.85 m、短軸0.78 m、深さ0.14 m。　**形状**　平面は円形、断面は台形状を呈する。覆土はⅦb層土ブロックと砂質土を含む。　**重複**　新旧関係は倒木痕→本遺構である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から古代と考えられる。

B－1区D－5号土坑（Fig.53・55・60、Tab. 6、PL.19）

位置　B－1区（X204～205、Y44～45）　**規模**　長軸3.67 m、短軸1.93 m、深さ0.38 m。　**形状**　平面は楕円形、断面は弧状を呈する。覆土はHr-FA洪水のブロックと砂質土を含む粘質土である。　**重複**　新旧関係はW－17・19→本遺構である。　**出土遺物**　土師器の坏の小片30点、甕の小片が3点、S字状口縁台付甕の小片が1点出土している。土師器の坏（1）を図示した。　**時期**　覆土の状況と出土遺物から9世紀と考えられる。

B－1区D－6号土坑（Fig.52・55、PL.20）

位置　B－1区（X204、Y31）　**規模**　長軸0.96 m、短軸0.64 m、深さ0.16 m。　**形状**　平面は楕円形、断面は弧状を呈する。覆土はHr-FA洪水のブロックを含む粘質土である。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田→本遺構である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から古墳時代後期～平安時代と考えられる。

（3）Hr-FA洪水層下

Hr-FA洪水層下水田

B－1区（Fig.52・53・56・57・60、Tab. 5・6、巻頭図版4、PL.14）

被覆層と水田の残存状況　水田面を被覆するHr-FA洪水層の厚さは0～10cmである。W－19の両脇の畦畔上部は直接Ⅶ層が堆積していたため削平を受けていると考えられるが、水田面を区画する小畦畔はFA洪水層に完全に埋没していた場合もあり、畦畔の残存状況は良好といえる。水田面におけるFA洪水層の堆積はおよそ5cm前後で、溝においては堆積が厚く最大10cmであった。調査区南側は微高地で、FA洪水層や水田耕作土は確認できず水田の有無は不明だが、W－17・19が微高地を避けるような形で流れるため、水田は存在していなかった可能性が高い。水田面24はW－24に削平されており、残存状況はやや不良であった。そのため、畦畔が確認できず面積が広くなっているが、実際は東西方向の畦畔が数本存在した可能性がある。調査区北側ではW－18・21・23により水田面が大きく削平されている。全体的に見ると、洪水層が残存しているところでは被覆層が厚く、水田の残存状況は良好といえる。　**水田域の地形**　水田面は細かく見ると多少の起伏があるが、水田面1～21では北から南にかけて、22～24では北北西から南南東にかけて傾斜している。水田面の比高差は、北と南西では0.31 m、北と南東では0.55 mである。　**畦畔の走向と区画**　畦畔の走行方向はN－20°－Eで、谷の方向に沿っている。W－19両脇の畦畔は規模が大きく、下幅0.64～1.34 m、高さ0.04～0.13 mである。W－17と交差する箇所においても畦畔の高まりは続いている。田面と田面を区画する畦畔は下幅0.28～0.72 m、高さ0.03～0.06 mである。水田の区画は調査区を南北に流下するW－19を境にして大きく異なる。水田面3・4・

22・23は地形の傾斜が緩やかであるため水田区画が広い。それに対して水田面10～22は傾斜がやや大きいため、より小さく区画することで一定の水深で湛水するようにしていると考えられる。　**耕作土**　黒色粘質土を耕作土とする。水田面には細かな凹凸が確認された。　**取配水の方法**　水田面1～4は北側からの取水が想定される。W－22は水田面4の排水路と考えられる。水田面5～9はW－26から取水していたと考えられる。水田面10～21は水田面10の水口を通じてW－19から取水し、北から南へ配水したと考えられる。水田面22～24は東あるいは北からの配水が想定される。また、規模等からW－19はより南方の水田へと導水するための用水路と考えられる。W－17については、両脇を畦畔で盛り上げず、水田面の区画方向に規制されているようにも見えない。田面を湛水させると、W－17は水没し、余水はW－19へと流れる仕組みであったと考えられる。W－25も同様に湛水時は水没していたと考えられる。　**出土遺物**　一括遺物で取り上げた土師器の坏（1）を図示した。W－24からは同一破片が出土している。

溝

A－1区W－71号溝（Fig.49・50、PL.13）

位置　A－1区（X 153、Y 41～42）　**主軸方向**　N－21°－E　**規模**　長さ（2.42）m、上幅0.19 m、下幅0.06 m、深さ0.08 m。　**形状等**　調査区西端に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向にやや蛇行して走行する。覆土は上部にHr-FA洪水層が堆積し、下部は灰黄褐色粘土ブロックを少量含む砂質シルト。　**重複**　本遺構→W－17である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から古墳時代後期と考えられる。　**備考**　本遺構は1面調査の際に確認・調査したが、調査区西壁付近は多数の溝によりⅪ・Ⅻ層が削平されていたため、1面より下層の本遺構が検出されたと考えられる。また、W－95とは覆土や形状等が類似する。位置関係から考えると、同一遺構の可能性がある。

A－1区W－94号溝（Fig.49・50、PL.13）

位置　A－1区（X 154～156、Y 33～38）　**主軸方向**　N－19°－E　**規模**　長さ（22.87）m、上幅0.41 m下幅0.16 m、深さ0.03～0.07 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向にやや蛇行して走行する。覆土は砂質で洪水による堆積と想定される。　**重複**　本遺構→W－95である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から古墳時代後期と考えられる。　**備考**　W－95とは形状等が類似することから、時期差はあまりないと考えられる。

A－1区W－95号溝（Fig.49・50、PL.13）

位置　A－1区（X 154～156、Y 33～38）　**主軸方向**　N－19°－E　**規模**　長さ（24.93）m、上幅0.17～0.52 m、下幅0.06～0.24 m、深さ0.06～0.09 m。　**形状等**　調査区北西に検出。断面は弧状を呈する。南西－北東方向にやや蛇行して走行する。覆土は上部にHr-FA洪水層が堆積する。下部は砂質で洪水による堆積と想定される。　**重複**　W－94→本遺構である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から古墳時代後期と考えられる。　**備考**　W－71とは覆土や形状等が類似する。位置関係から考えると、同一遺構の可能性がある。

B－1区W－17号溝（Fig.53・54、PL.18）

位置　B－1区（X 203～205、Y 41～45）　**主軸方向**　N－67°－E、N－37°－W。　**規模**　長さ（25.6）m、上幅2.62～（5.03）m、下幅0.73～2.27m、深さ0.3 m。　**形状等**　調査区中央から南にかけてU字形に検出。断面は弧状を呈する。大きく湾曲し、南端はW－19に接続する。W－19より西側では溝の東辺は緩やかな立ち上がりとなる。W－25との境界は撹乱により不明だが、同時期の遺構で規模も似ていることから、水田の水路として接続していると考えられる。覆土は最下層にHr-FA洪水層が堆積する。それより上層は、Hr-FA洪水ブロックと砂質土を少量含む粘質土。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田・W－19・W－25と同時期で、本遺構→D－5である。　**出土遺物**　土師器の坏の小片が数点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から、Hr-

FA 洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

B－1区W－19号溝（Fig.52～54、巻頭図版4、PL.18）

位置　B－1区（X 202～207、Y 36～46）　**主軸方向**　N－20°－W、N－70°－W。　**規模**　長さ（44.25）m、上幅0.78～2.52 m、下幅0.31～0.91 m、深さ0.11～0.24 m。　**形状等**　調査区中央から南にかけて検出。断面は弧状を呈する。部分的に蛇行しながら南南東方向に向かい、調査区南側の微高地を避けるように大きく東へ向きを変えて南東方向へ走行する。溝両脇に畦畔を有し、北端部では水田面10に導水する水口をもつ。微高地との境目では、畦畔は確認できなかった。W－17との交差部分においても畦畔が確認された。微高地に接する部分でW－17が合流する。本遺構は東壁調査区外まで続く。覆土は最下層にHr-FA洪水層が堆積する。それより上層は、As-C・Hr-FA洪水ブロック・砂質土を含む粘質土が堆積する。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田・W－17と同時期で、本遺構→W－23→D－5である。　**出土遺物**　須恵器の甕の小片が1点、土師器の坏の小片が11点、土師器の甕が5点出土。　**時期**　覆土の状況と重複関係から、Hr-FA洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

B－1区W－22号溝（Fig.52・54、巻頭図版4、PL.19）

位置　B－1区（X 203～204、Y 32～33）　**主軸方向**　N－78°－E　**規模**　長さ3.8 m、上幅0.86 m、下幅0.49m、深さ0.16 m。　**形状等**　調査区北側に検出。断面は弧状を呈する。東端はW－27に接続し、西端は水口となっている。W－27に向かって傾斜するため、水田面4の余水を配水する水路と考えられる。覆土は最下層にHr-FA洪水層が堆積する。それより上層は、Hr-FA洪水ブロックと砂質土を少量含む粘質土が堆積する。　**重複**　Hr-FA洪水層下水田とW－27とは同時期である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から、Hr-FA洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

B－1区W－25号溝（Fig.53・54、PL.18）

位置　B－1区（X 203、Y 44）　**主軸方向**　N－75°－W　**規模**　長さ（1.18）m、上幅1.59 m、下幅0.87 m深さ0.15 m。　**形状等**　調査区南の西壁際に検出。断面は弧状を呈する。南東方向に向かって走行する。W－17との境界は攪乱により不明だが、同時期の遺構で規模も似ていることから、水田の水路として接続していると考えられる。西側は調査区外へ続く。覆土はHr-FA洪水層が堆積する。　**重複**　Hr-FA洪水層下水田と同時期である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から、Hr-FA洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

B－1区W－26号溝（Fig.52・57、巻頭図版4）

位置　B－1区（X 203～204、Y 33～35）　**主軸方向**　N－2°－E、N－77°－E。　**規模**　長さ（23.02）m、上幅0.61～1.51 m、下幅0.33～1.43 m、深さ0.14 m。　**形状等**　調査区南でL字形に検出。断面は弧状を呈する。北側で2条から3条に分かれる。最も北の1条は溝内に畦畔をがあり、西端部はW－18に削平されている。その内2条はL字に屈曲して南北方向に走行する。1条は南端部がW－23に、もう1条はW－18に削平されて、その先は残存していない。W－19より小規模だが溝の両脇に畦畔をもつ。覆土はW－22・27と同一で、最下層にHr-FA洪水層が堆積する。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田・W－27と同時期で、本遺構→W－23→W－18である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から、Hr-FA洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

B－1区W－27号溝（Fig.52・57、PL.19）

位置　B－1区（X 204、Y 31～33）　**主軸方向**　N－2°－E　**規模**　長さ（3.7）m、上幅（1.46）m、下幅（0.75）m、深さ0.27 m。　**形状等**　調査区北の東壁際に検出。南北方向に走行すると考えられ、溝の大部分は調査区外となる。W－22・26に接続する。覆土はW－22・26と同一で、最下層にHr-FA洪水層が堆積する。　**重複**　新旧関係はHr-FA洪水層下水田・W－22・W－26と同時期で、本遺構→W－28である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況と重複関係から、Hr-FA洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

B－1区W－29号溝（Fig.52・55、PL.19）

位置　B－1区（X 202～203、Y 31）　主軸方向　N－54°－E　規模　長さ（0.83）m、上幅（0.84）m、下幅（0.47）m、深さ（0.32）m。　形状等　調査区北西隅に検出。断面は弧状を呈する。北東－南西方向に走行すると考えられる。覆土は最下層にHr-FA洪水層が堆積する。それより上層は、Hr-FA洪水のブロックを少量、砂質土をやや多量に含む粘質土が堆積する。　重複　なし。　出土遺物　なし。　時期　覆土の状況から、Hr-FA洪水層下水田に伴う用水路と考えられる。

（4）古墳時代前期

周溝状遺構

B－1区1号周溝状遺構（Fig.53・58、巻頭図版4）

位置　B－1区（X 203～204、Y 45～48）　規模　南北（12.22）m、東西（1.66）m、上幅1.88～（2.15）m、深さ0.13～0.27 m。　形状等　調査区南の西壁際に検出。断面は弧状を呈し、溝底面には凹凸がある。大部分は調査区外となる。覆土は粘質土を主体とし、As-Cと考えられる白色軽石粒を微量～少量含む。　重複　なし。　出土遺物　S字状口縁台付甕と土師器の坏・甕がそれぞれ数点出土。いずれも小片のため図示しなかった。　時期　覆土の状況と遺物の傾向から古墳時代前期と考えられる。　備考　隣接する南部拠点地区遺跡群No.11で検出された5号周溝状遺構と同一の遺構と考えられる。

Tab. 5　Hr-FA洪水層下水田計測表

調査区	田面	グリッド	面積（㎡）	東西（m）	南北（m）	標高（m）					備考
						NW	NE	中央	SW	SE	
B－1区	1	X＝37,171～37,173　Y＝－66,584～－66,589	(4.96)	(5.80)	(1.26)	77.44	77.43	77.46	77.41	77.43	
B－1区	2	X＝37,170～37,173　Y＝－66,580～－66,583	(5.48)	(2.60)	(2.44)	77.38	77.11	77.07	－	－	
B－1区	3	X＝37,165～37,171　Y＝－66,585～－66,589	(13.42)	(3.14)	(5.11)	77.21	77.46	77.44	7741	77.27	
B－1区	4	X＝37,166～37,173　Y＝－66,581～－66,586	(18.30)	4.03	4.91	77.46	77.39	77.42	77.37	77.41	南に水口
B－1区	5	X＝37,158～37,163　Y＝－66,586～－66,588	(4.77)	(1.30)	(4.67)	79.92	77.27	77.23	77.22	77.32	
B－1区	6	X＝37,160～37,164　Y＝－66,580～－66,583	8.99	2.74	4.00	77.31	77.31	77.23	77.22	77.16	南に水口
B－1区	7	X＝37,155～37,160　Y＝－66,580～－66,583	(9.06)	1.98	4.69	77.33	77.32	77.36	77.34	77.22	北に水口
B－1区	8	X＝37,153　Y＝－66,583～－66,584	(0.13)	(0.36)	(0.34)	－	－	－	－	－	
B－1区	9	X＝37,150～37,155　Y＝－66,580～－66,583	(9.73)	(3.03)	(3.79)	77.29	77.26	77.28	77.28	77.21	
B－1区	10	X＝37,141～37,145　Y＝－66,586～－66,588	(6.49)	2.13	(4.22)	77.35	77.36	77.35	77.31	77.26	東に水口
B－1区	11	X＝37,141～37,143　Y＝－66,587～－66,588	(1.45)	(1.05)	(2.26)	－	－	－	－	77.24	
B－1区	12	X＝37,138～37,142　Y＝－66,584～－66,587	7.81	2.63	3.18	77.26	77.31	77.26	77.24	77.19	南・南東に水口
B－1区	13	X＝37,137～37,141　Y＝－66,586～－66,588	(5.15)	(1.77)	3.15	－	77.22	77.21	77.22	－	南東に水口
B－1区	14	X＝37,138～37,142　Y＝－66,584～－66,587	7.26	3.50	2.07	77.26	－	77.26	77.24	77.19	南・北・北東に水口
B－1区	15	X＝37,134～37,137　Y＝－66,585～－66,588	(6.26)	(2.35)	2.67	－	77.21	77.27	77.26	－	北東に水口
B－1区	16	X＝37,135～37,138　Y＝－66,583～－66,586	5.66	2.05	2.84	77.18	77.21	77.27	77.17	77.22	北・南東に水口
B－1区	17	X＝37,134～37,137　Y＝－66,585～－66,588	(8.56)	(2.31)	2.67	－	77.21	77.27	77.26	－	
B－1区	18	X＝37,131～37,135　Y＝－66,582～－66,585	(5.98)	1.93	3.17	77.23	77.23	77.18	77.16	77.26	南東・北東に水口
B－1区	19	X＝37,127～37,131　Y＝－66,584～－66,588	(11.62)	(3.53)	3.24	77.19	77.21	77.23	77.17	77.19	南東に水口
B－1区	20	X＝37,129～37,132　Y＝－66,582～－66,584	1.56	1.51	1.60	77.22	－	－	－	－	北東に水口
B－1区	21	X＝37,127～37,131　Y＝－66,584～－66,588	(7.53)	(3.58)	3.29	77.19	77.21	77.23	77.17	77.19	
B－1区	22	X＝37,138～37,146　Y＝－66,579～－66,583	(17.54)	(2.95)	7.43	77.34	77.33	77.31	77.29	77.29	南西に水口
B－1区	23	X＝37,133～37,138　Y＝－66,577～－66,581	(12.42)	(2.96)	4.10	77.21	77.23	77.18	77.12	77.15	北西に水口
B－1区	24	X＝37,116～37,132　Y＝－66,568～－66,578	(31.39)	(2.87)	(17.71)	77.21	77.23	77.08	76.89	76.91	

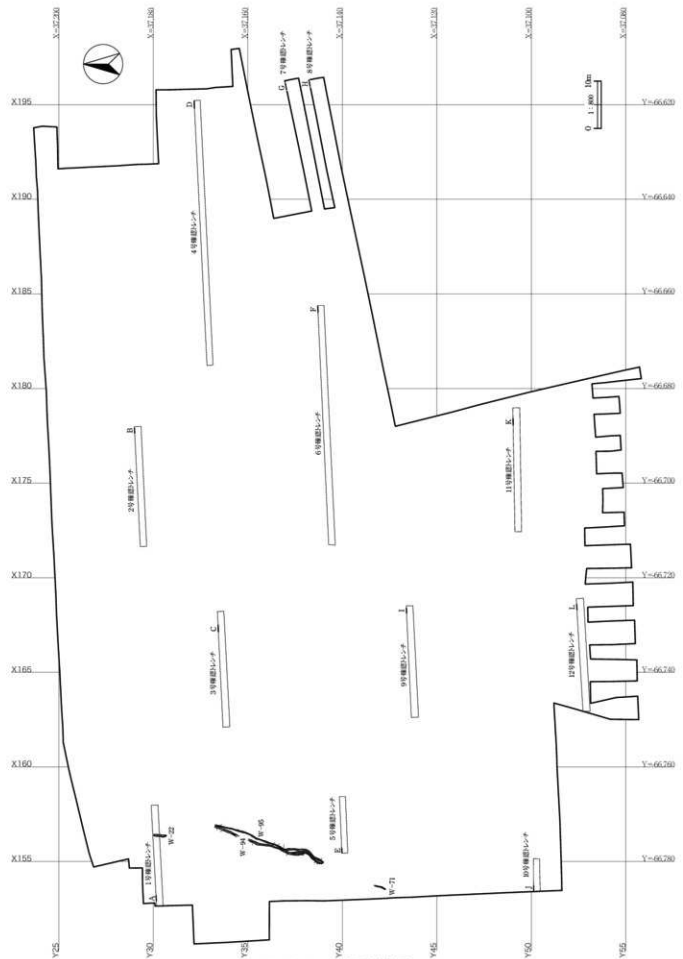


Fig.49　A－1区2面全体図

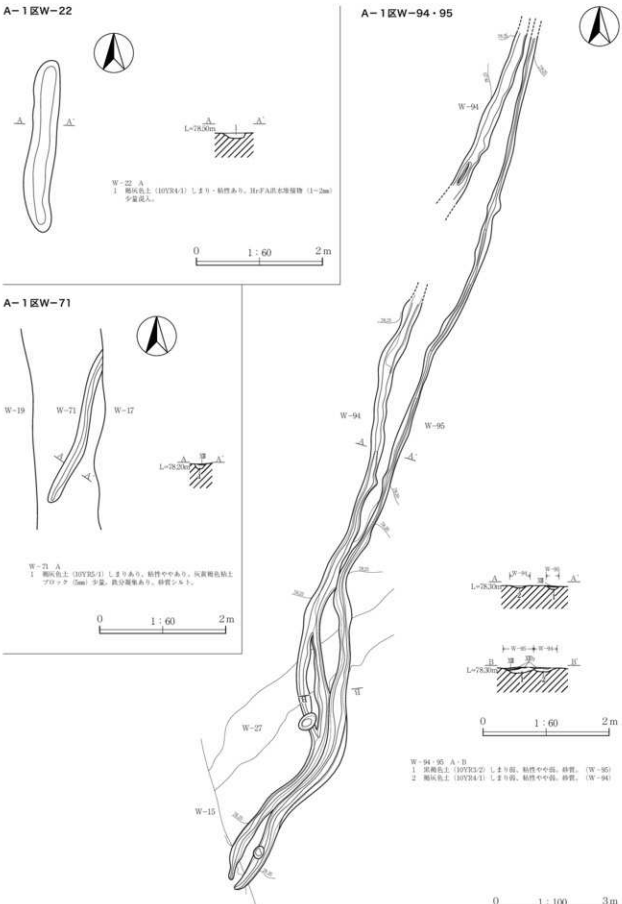


Fig.50　A－1区2面溝

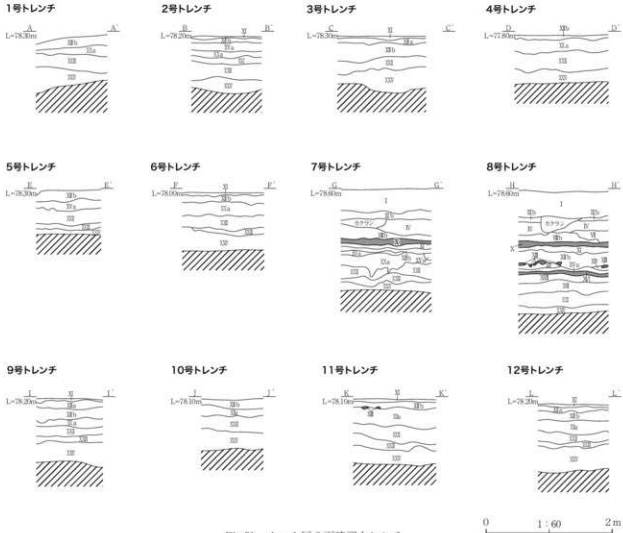


Fig.51　A－1区2面確認トレンチ

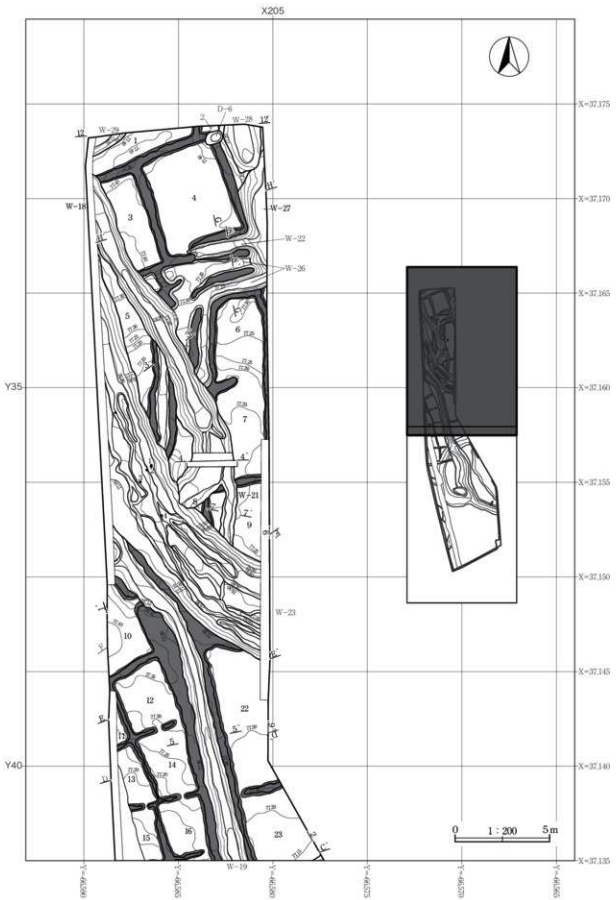


Fig.52　B－1区2面全体図（1）

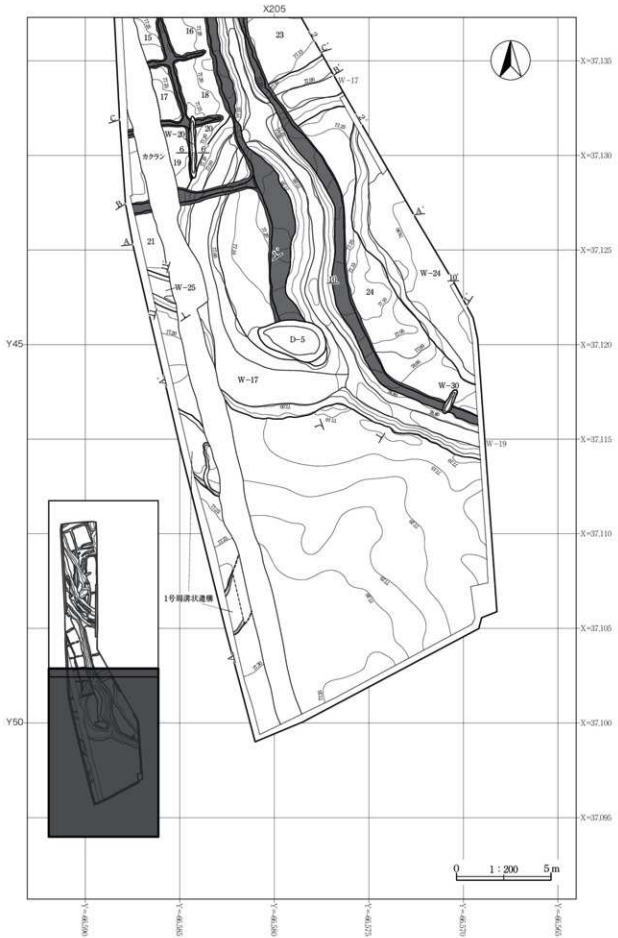
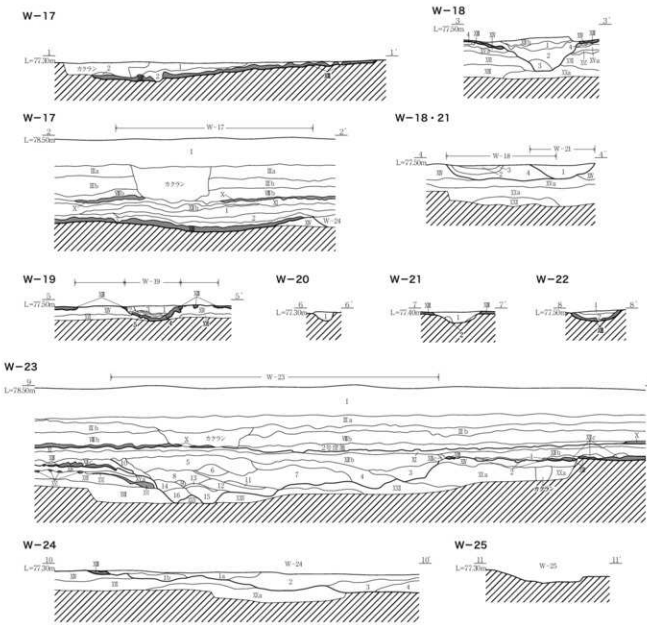


Fig.53　B－1区2面全体図（2）



W－17号溝　1
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック・黒色（10YR2/1）土ブロック・砂質土少量。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック・黒色（10YR2/1）土ブロック少量。

W－17号溝　2
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土やや多量。遺層と同質。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。As-C・Hr-FAブロック微量。遺層と同質。
3　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック・黒色（10YR2/1）土少量。

W－18号溝　3
1　黒褐色土（10YR2/1）しまりやや弱、粘性やや強。黒色（10YR2/1）粘質土やや多量。植物遺体含む。炭化物。（W－18）
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりやや弱、粘性やや強。黒色（10YR2/1）粘質土少量。（W－18）
3　黒褐色土（10YR2/1）しまりやや弱、粘性やや強。砂質土少量。（W－18）
4　やや色調の明るい遺層。

W－21号溝　4
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。As-C・黒色（10YR2/1）土ブロック・砂質土少量。砂質土がラミナ状に堆積。（W－21）
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。As-C・砂質土少量。（W－18）
3　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土やや多量。As-C少量。砂質土がラミナ状に堆積。（W－18）
4　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。As-C少量。（W－18）

W－19号溝　5
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりやや弱、粘性やや強。As-C・砂質土少量。Hr-FA微量。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりやや弱、粘性やや強。砂質土やや多量。
3　黒色土（10YR2/1）しまりやや弱、粘性やや強。
4　黒褐色土（10YR3/2）しまりやや弱、粘性やや強。
5　黒色土（10YR2/1）しまりやや弱、粘性やや強。Hr-FAブロック少量。

W－20号溝　6
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土やや多量。Hr-FAブロック・黒色（10YR2/1）土ブロック少量。

W－21号溝　7
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土やや多量。Hr-FAブロック少量。鉄分凝集あり。
2　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性強。

W－22号溝　8
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土少量。鉄分凝集あり。
2　黒褐色土（10YR3/2）しまりあり、粘性やや強。Hr-FA少量。鉄分凝集あり。

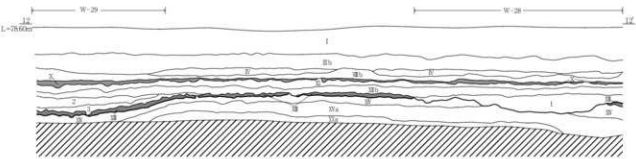
W－23号溝　9
1　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性やや強。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱、砂質。
3　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土少量。Hr-FAブロック微量。（W－23）
4　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土やや多量。ラミナが見られる。（W－23）
5　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土少量。鉄分凝集あり。（W－23）
6　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土やや多量。（W－23）
7　褐灰色土（10YR4/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土多量。ラミナが見られる。（W－23）
8　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土少量。（W－23）
9　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FA少量。（W－23）
10　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック・砂質土少量。（W－23）
11　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性強。As-C微量。（W－23）
12　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性やや強。砂質土多量。ラミナが見られる。（W－23）
13　黒褐色土（10YR3/1）しまり・粘性弱。砂質土主体。（W－23）
14　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック・As-C・砂質土少量。（W－23）
15　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土少量。As-C・炭化物微量。（W－23）
16　黒色土（10YR2/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土多量。As-C・炭化物少量。（W－23）

W－24号溝　10
1　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック少量。As-C微量。bIIaよりHr-FAブロックやや多量。
2　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。Hr-FAブロック・As-C微量。鉄分凝集あり。
3　褐灰色土（10YR4/1）しまり・粘性弱。砂質土主体。ラミナが見られる。
4　黒褐色土（10YR3/1）しまりあり、粘性やや強。砂質土少量。鉄分凝集あり。

0　1：60　2m

Fig.54　B－1区2面溝（1）

W－28・29


W－29
W－28
12
L=78.60m
1
Ⅱb
Ⅱa
Ⅲ
Ⅳa
Ⅳb
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶ
Ⅷ
Ⅸ
Ⅹ
Ⅺ
Ⅻ
ⅩⅢ
ⅩⅣ
ⅩⅤ
ⅩⅥ
ⅩⅦ
ⅩⅧ
ⅩⅨ
ⅩⅩ
ⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅬ
ⅩⅬⅠ
ⅩⅬⅡ
ⅩⅬⅢ
ⅩⅬⅣ
ⅩⅬⅤ
ⅩⅬⅥ
ⅩⅬⅦ
ⅩⅬⅧ
ⅩⅬⅨ
ⅬⅠ
ⅬⅡ
ⅬⅢ
ⅬⅣ
ⅬⅤ
ⅬⅥ
ⅬⅦ
ⅬⅧ
ⅬⅨ
ⅬⅩ
ⅬⅩⅠ
ⅬⅩⅡ
ⅬⅩⅢ
ⅬⅩⅣ
ⅬⅩⅤ
ⅬⅩⅥ
ⅬⅩⅦ
ⅬⅩⅧ
ⅬⅩⅨ
ⅬⅩⅩ
ⅬⅩⅩⅠ
ⅬⅩⅩⅡ
ⅬⅩⅩⅢ
ⅬⅩⅩⅣ
ⅬⅩⅩⅤ
ⅬⅩⅩⅥ
ⅬⅩⅩⅦ
ⅬⅩⅩⅧ
ⅬⅩⅩⅨ
ⅬⅩⅬ
ⅬⅩⅬⅠ
ⅬⅩⅬⅡ
ⅬⅩⅬⅢ
ⅬⅩⅬⅣ
ⅬⅩⅬⅤ
ⅬⅩⅬⅥ
ⅬⅩⅬⅦ
ⅬⅩⅬⅧ
ⅬⅩⅬⅨ
ⅬⅬ
ⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅩⅩ
ⅬⅬⅩⅩⅠ
ⅬⅬⅩⅩⅡ
ⅬⅬⅩⅩⅢ
ⅬⅬⅩⅩⅣ
ⅬⅬⅩⅩⅤ
ⅬⅬⅩⅩⅥ
ⅬⅬⅩⅩⅦ
ⅬⅬⅩⅩⅧ
ⅬⅬⅩⅩⅨ
ⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅠ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅡ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅢ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅣ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅤ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅥ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅦ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅧ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅨ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅩ
ⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬⅬ

Hr-FA洪水層下水田（1）

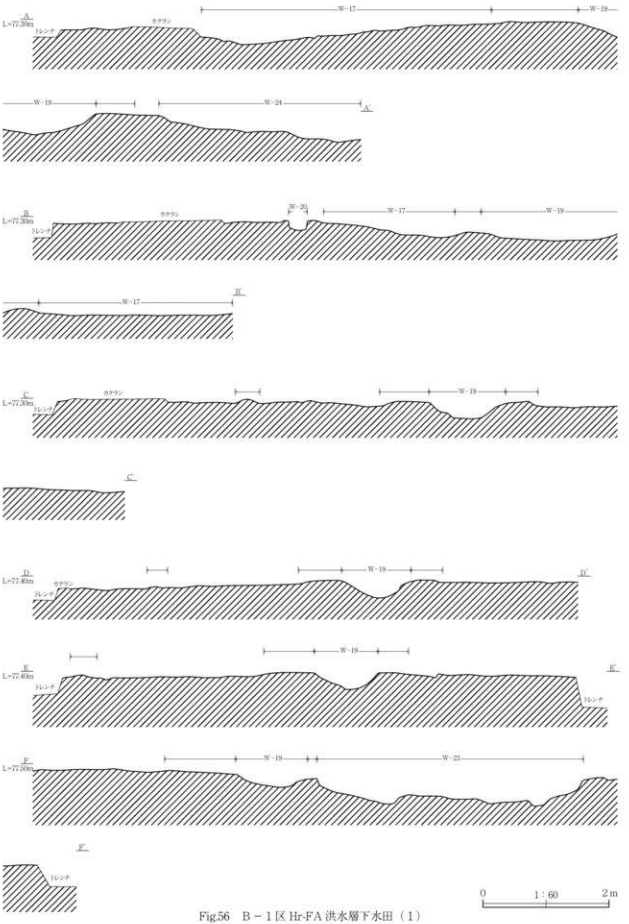


Fig.56　B－1区 Hr-FA 洪水層下水田（1）

Hr-FA洪水層下水田（2）

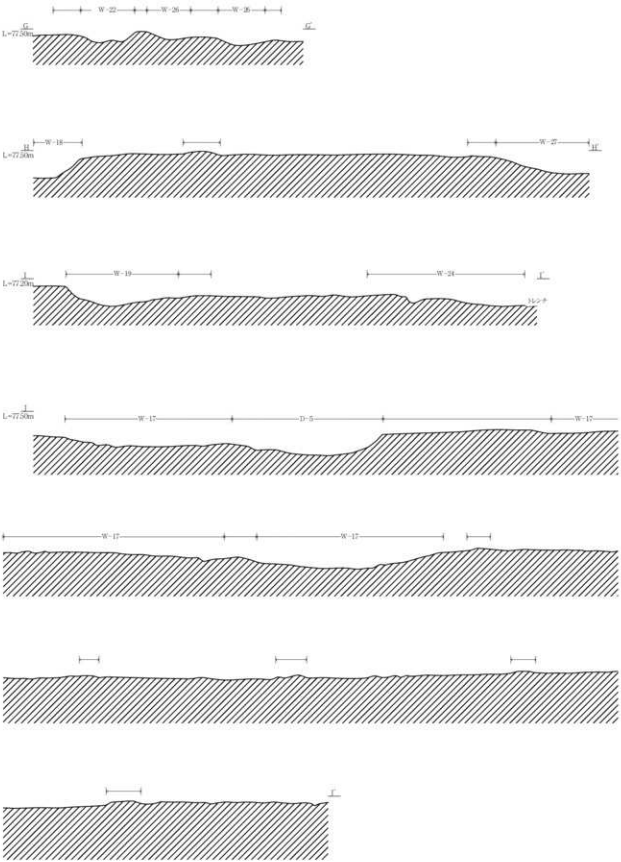
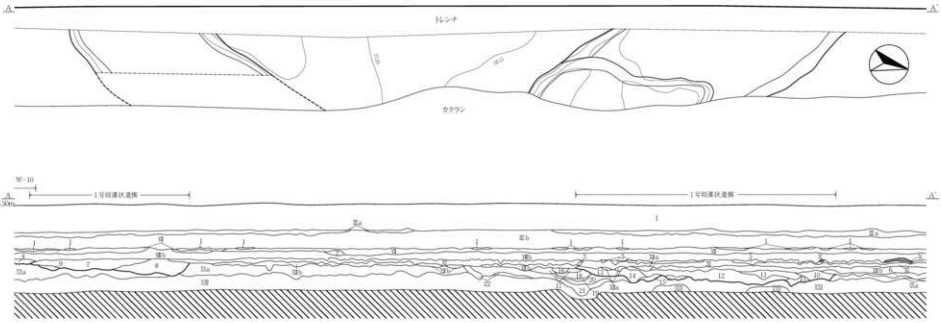


Fig.57　B－1区Hr-FA洪水層下水田（2）

1号周溝状遺構


A
A'
トレンチ
カクラン
W-10
L=28.50m
1号周溝状遺構
1号周溝状遺構
1
Ⅱa
Ⅱb
Ⅲ
Ⅳ
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶ
Ⅷ
Ⅸ
Ⅹ
Ⅺ
Ⅻ
ⅩⅢ
ⅩⅣ
ⅩⅤ
ⅩⅥ
ⅩⅦ
ⅩⅧ
ⅩⅨ
ⅩⅩ
ⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅠ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅡ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅢ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅣ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅤ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅥ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅦ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅧ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅨ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ
ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ

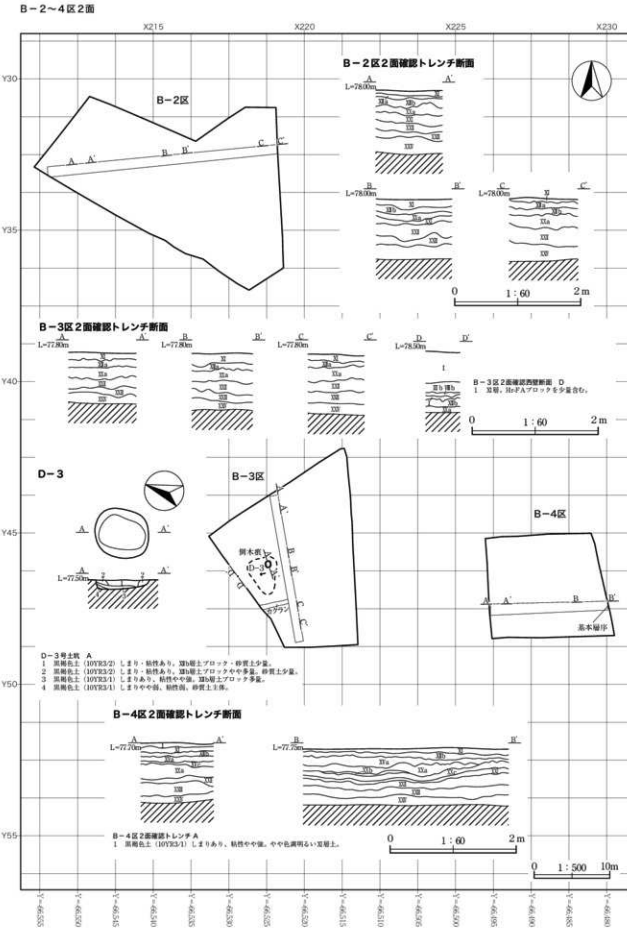


Fig59 B－2～4区2面全体図・確認トレンチ・土坑

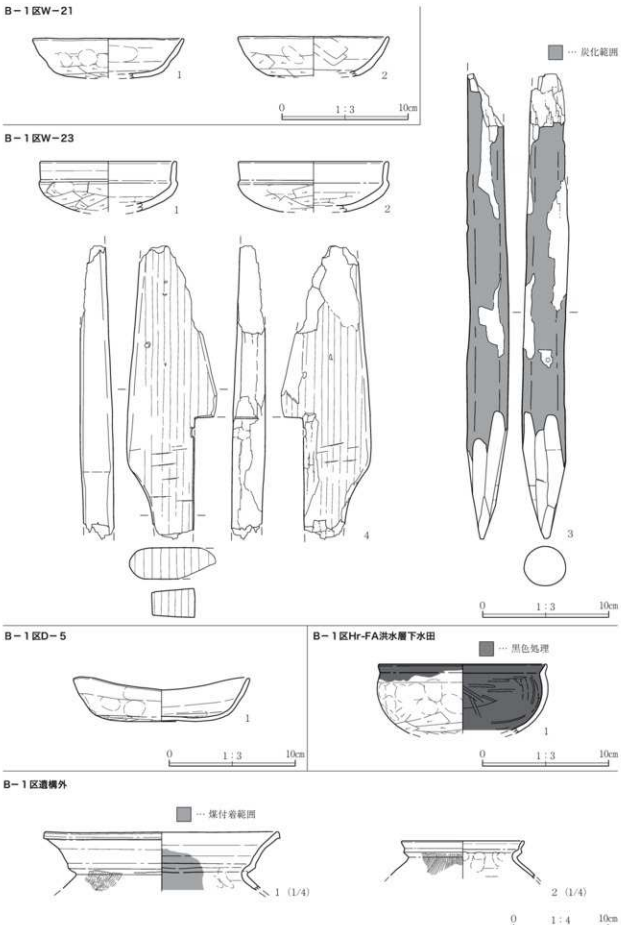


Fig.60　2面出土遺物（1）

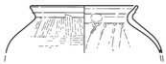


Fig.61　2面出土遺物（2）

Tab. 6　2面出土遺物観察表

B－1区W－21

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	(126)	(7.6)	(32)	黒雲母、白色鉱物粒	やや軟質	橙	内面口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ後ユビオサエ、底部ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ及びユビナデ。	1/5残存。
2	覆土	土師器　坏	(126)	(6.6)	(30)	石英、黒雲母、赤色、チャート	良好	橙	内面口縁部ヨコナデ、以下体部から底部ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	1/5残存。

B－1区W－23

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	No. 4	土師器　坏	(116)	欠損	(4.1)	白・黒・赤粒、雲石	良好	暗灰 灰白	内面口縁部ヨコナデ、口縁部は直立して口縁部が焼かに外反する。体部との端に明確な屈曲を持ち、以下体部から底部ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ及びユビナデ。	口縁～体部1/5残存。
2	No. 5	土師器　坏	(126)	欠損	(4.1)	白・黒・赤粒、雲石	良好	暗灰	内面口縁部ヨコナデ、口縁部は直立して口縁部が焼かに外反する。体部との端に明確な屈曲を持ち、以下体部から底部ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ及びユビナデ。	口縁～体部1/5残存。

No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
3	No. 7	木製品　板	(36.8)	(3.5)	(3.4)	木材	－	－	産業（表皮）は炭化気薄か。	鉄道板欠損。
4	No. 8	木製品　不明	(23.3)	(7.1)	(2.6)	木材	－	－		加工紙あり。

B－1区D－5

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	土師器　坏	(140)	(10.0)	(10.2)	黒雲母、長石、雲石	軟質	にぶい橙	内面口縁部ヨコナデ、体部ユビナデ及びユビオサエ、底部ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、体部から底部ヘラナデ及びユビナデ。	2/3残存。 漆子、炭入が顕著。

B－1区Hr-FA 洪水層下水田

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	Hr-FA 洪水層下水田面	土師器　坏	(134)	欠損	(6.1)	長石、チャート、小礫、雲石	良好	橙 黒	内面口縁部ヨコナデ、内面口縁、以下体部被覆ヘラケズリ後ユビオサエ調整。 内面口縁部ヨコナデ、体部との端に明確を持ち、以下ヘラナデ（強ミガキ調整か）後黒色処理。	1/4残存。 内面黒色処理。 W－24覆土上層出。

B－1区遺構外

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	W－23 No. 3・6	土師器 ミニ状 口縁的性質	(25.6)	欠損	(6.4)	石英、長石、黒雲母、チャート	良好	にぶい黄橙	内面口縁部ヨコナデ、体部から口縁部の下部に明確を持ち、強縦以下縦毛状工具による縦位ハケケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ及びユビナデ。	口縁～胴部上位分。
2	W－23 覆土	土師器 ミニ状 口縁的性質	(130)	欠損	(4.0)	石英、長石、黒雲母、チャート	良好	灰黄	内面口縁部ヨコナデ、口縁部中位に明確を持ち、強縦以下縦毛状工具（7本一単位）による縦位ハケケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ及びユビナデ。	口縁～胴部上位分。
3	W－23 覆土	土師器 ミニ状 口縁的性質	(11.4)	欠損	(5.0)	石英、長石、チャート	軟質	にぶい橙	内面口縁部ヨコナデ、口縁部中位に明確を持ち、強縦以下縦毛状工具による縦位ハケケズリ及び横位ハケケズリ。変化が著しい。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ強縦位ユビナデ。変化が著しい。	口縁～胴部上位分。 外面は変化による剥落顕著。

3　第3面

（1）調査の概要（Fig.62）

B－1区では第2面調査後に第3面の確認調査を行った。まず、第2面でW－18を断ち割った際、断面にAs-C一次堆積層が確認された（W－18断面3）ため、その箇所をAs-C堆積層上面まで掘り下げた。その結果、As-Cが埋没土上部に堆積する7号窪地が確認された。7号窪地はトレンチを入れて断面を観察し、As-Cを掘り下げて終了した。また、調査区中央のトレンチ断面Cにおいても、As-Cが堆積する下層に窪地状の落ち込み（8号窪地）が確認された。

結果として、As-C一次堆積層が窪地の落ち込み部分では確認できるが、全体的には確認できず、As-C下の水田は確認できなかった。B－1区は、1号周溝状遺構を検出した南端から北側は谷地形で、谷に水田が造られる以前は、自然に形成された複数の窪地があり、水が緩やかに流れる湿地のような環境であったと考えられる。

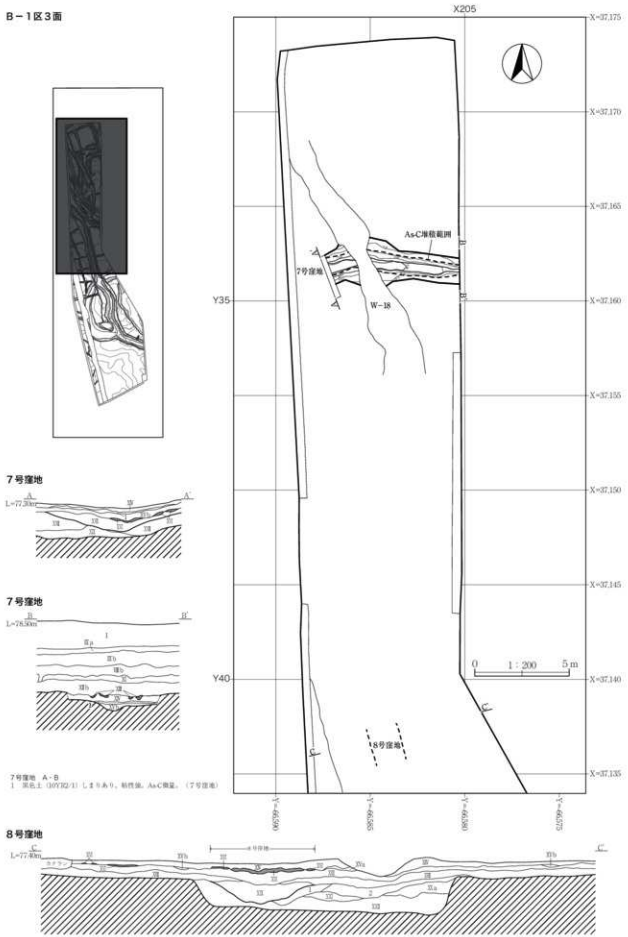


Fig.62　B－1区3面全体図・窪地

Ⅵ　発掘調査の成果と課題

今回の調査で、１面では平安時代末期から近世、一部は現代まで続く遺構が検出された（As-B 下水田、溝109条、洪水跡の窪地14基、耕作痕の窪地５基、道路状遺構１条、土坑267基）。第２面ではＡ－１区とＢ－１・３区において古墳時代前期から平安時代の遺構が検出された（Hr-FA 洪水層下水田、溝18条、土坑３基、周溝状遺構１基）。第３面は主にトレンチ調査であったが、Ｂ－１区で As-C 一次堆積層が覆土上部に堆積する窪地２基が検出された。周辺の調査事例も多いため、それらを踏まえて今回検出された主な遺構について考えたい。

古墳時代前期以前の環境

Ｂ－１区の谷地部で７・８号窪地が検出された。８号窪地は Ⅻ層を覆土として、３世紀後葉から４世紀初頭の As-C が降下した頃にはほぼ埋没しており、今回検出された中で最も時期が古い。上幅1.67ｍ、深さ0.35ｍとやや規模が大きく、断面のみの確認ではあるが南北方向に伸びていると予想される。７号窪地は８号窪地よりも新しく、覆土最下部は Ⅻ層である。覆土上部の As-C の堆積状況から、東西方向に伸びていると考えられる。この時期のＢ－１区の谷地部は人間の活動の希薄な湿地であったと考えられる。遺物の出土は非常に少なく、Ａ－１区Ｗ－15から黒曜石製の石鏃が出土している。

周溝状遺構について

第２面で Hr-FA 洪水層下水田が検出されなかったＢ－１区南側は微高地で、１号周溝状遺構が検出された。この微高地はＢ－１区西側に隣接する南部拠点地区遺跡群 No.11 まで続いている。１号周溝状遺構は南部 No.11の中央調査区東壁沿いで確認された「５号周溝状遺構」と同一の遺構で、古墳時代前期の建物跡である。南部 No.11では微高地上に９基の周溝状遺構が検出されたが、今回の調査では１基の検出に留まり、東側への建物跡の広がりは確認できなかった。微高地の東辺は北西－南東方向に走行する谷地形があって途切れるが、谷地を越えた先の微高地部分を調査した南部 No.10で同様の建物跡が２軒検出されている。また、北関東自動車道建設に伴って調査した横手早稲田遺跡、横手湯田遺跡においても、谷地あるいは低地帯沿いの微高地に、周溝を持つ建物跡を複数検出しており、今回検出された建物跡と立地状況が等しい。古墳時代前期は、今まで人間の活動が希薄であった低地部の開発が始まった時期である。本遺跡地周辺では、Ｓ字甕を代表とする東海西部系や、東海東部、南関東系や北陸系などの土器が出土しており、外部からの移入者が開発に関わっている。周溝を持つ建物の形式は、弥生時代中期からこの形式の建物跡が確認されている東海地方東部や北陸地方から導入されたと考えられている[21]。周溝状遺構から出土した土器はいずれも小片であったが、Ｗ－23からこの時期の土器が出土しており、遺構外遺物としてＳ字甕を３点図示した（Fig.60・61、Tab. 6）。（１）は口縁部が長く伸びるタイプで、田口一郎氏の編年でⅣ・Ⅴ期に該当し、（２）も口縁形態から同期に該当すると考えられ、４世紀後半から５世紀初頭の時期に比定される。（３）は、内面横ハケは消失するが、外面横ハケが残ることから Ⅲ・Ⅳ期に該当すると考えられ、４世紀中葉から後半に比定される。

Hr-FA 洪水層下水田について

５世紀末から６世紀初頭の榛名山の噴火に起因する洪水堆積物に覆われた小区画水田がＢ－１区の谷地形で検出された。榛名山噴火の季節は初夏で、洪水の発生は噴火から１ヵ月以内と推定されている[22]。この時代の水田の小畦は毎年作り直しており、御布呂遺跡、元総社北川遺跡、浜川芦田貝戸遺跡、上滝榎町北遺跡では、畦畔が造成途中の水田や、前年度以前のままの低平な古い畦畔が確認されている。上滝榎町北遺跡で検出された水田について、（１）田起こしから代かきまでの農作業を終わらせた田植え直前の場所、（２）農作業に着手しておらず収穫を終えた前年度のままの場所、（３）１年以上利用されずに休耕していた場所の三者が混在しており、また水利系統別にＡ～Ｃの３つの灌漑ユニット群に分類されるという。その内、ユニット群Ａ・Ｂはどちらも（１）と（２）の状況の水田があり、各ユニット群ごとに田起こしから代かきまでの作業が進められていたこと

が指摘されている[3]。今回検出された水田は、水利系統が同じであるから同一のユニット群に該当する。Fig.63では田面の規模や水路によってA～Dに分類したが、水田の状態に差異は見られず、畦畔の高まりがしっかりと認識できるため、田起こしから畔づくりまで終えた田植え直前の水田と考えたい。

A－1区北側の横手湯田遺跡では、Hr-FA洪水層下水田が確認されている。そのため、今回A－1区での検出が期待されたが、確認できず、調査区西端でFA洪水層を覆土とするW－71・95、および94が検出された。これらの溝は浅く、溝の走行方向も安定していないため、人為的に形成された遺構とは言い難い。水田がFA洪水層に直接覆われているのに対し、これらの溝は洪水砂のような砂質土で埋没した後、FA洪水層が堆積している。したがって、水田との関係は薄いと考えられる。また、A－1区は水田耕作土に相当するⅡ層についても、窪地に当たる8号トレンチ以外では確認できず、水田が存在したという手掛かりは得られなかった。今回、Hr-FA洪水層下水田はB－1区の谷地形で検出されたが、この谷地形は北側の横手湯田遺跡まで続いており、そこでも同様に水田が検出されている。横手湯田では南北方向に2条、東西方向に3条畦畔が検出されたが、整然と並ぶ小区画水田ではなく、畦畔が互い違いに位置するなど谷地形に即した不整形な水田となっている。また、谷地形の西端部に水口を有する大畦畔が確認されており、調査区の状況から、谷の西端部が水路の機能を持っていたと想定されている[4]。この水路はそのまま谷地形を南へ下って、B－1区のW－19・27・29に繋がると推測される。本調査区においても、谷地は給排水の役割を担っていたと考えられるが、谷地形の中にも微高地と低地が混在し、微高地には水田を造っている。一般的に、6世紀の水田跡は小区画の面積にばらつきが少なく、ほとんど10㎡以下に小型化・規格化されている点が特徴で[5]、微高地上では2～3㎡が一般的であるが、谷地形では区画面積が大きくなる傾向がある[6]。今回検出された田面が水路を境にして区画面積に差異があるのは、谷地形に影響されたためといえる。Fig.63のC区画は南部No.11で確認された水田面と合わせると、25面の小区画が復元できる。北側の水田面10は横長の大きな区画となっているが、これはW－19から流れてきた水をここで一度溜めてから配水することでC区画全域に水を行きわたらせるための工夫と考えられる[7]。水口のない箇所は田越しに水を流していたと推測される。次に水路についてだが、Fig.63では流水方向を矢印で示している。破線は推定である。検出された水路はいずれも小規模で、基幹的な水路とは言い難い。水路は両脇に畦畔をもつか否かによって2種類に分類され、畦畔をもつW－19・22・26は走行方向が概ね水田区画に沿っている。一方、畦畔をもたないW－17・25・27・29は水田

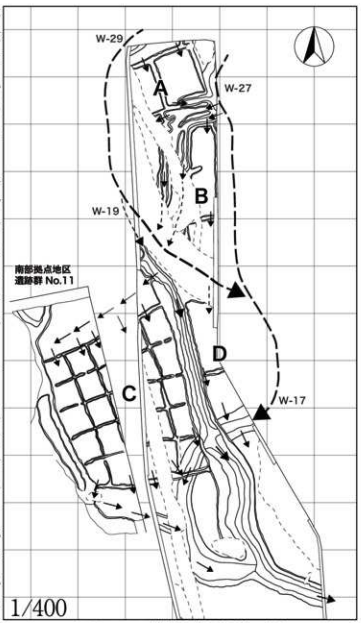


Fig.63　Hr-FA洪水層下水田取配水の方向

区画に沿っていない部分が見受けられる。特にW－17は大きく湾曲し、水田区画と重複する。このような水田区画に沿わない形状の水路を水田を造成する際に造ったとは考えにくい。したがって、畦畔をもたない溝は水田を造成する以前に谷地形の中に元々存在した細かい自然の流路と考えられる。水田を造成する際、これらを給排水の水路として利用し、それに加えて、水田全域に水を行き渡らせるために W－19・22・26を造って水田を完成させたと推定される。この時期の居住地については古墳時代前期と同様、B－1区の谷地形を越えた東側の微高地で住居跡が1軒確認されている。

Hr-FA 洪水層堆積後は、水田が復旧された形跡は見られない。その後は調査区北側に溝が集中する。6世紀後半にはW－23が掘削され、8世紀にはW－18、9世紀にはW－21が掘削される。水田は造られなかったが、水路としては継続して利用されていたといえる。

As-B 下水田について

1108年の浅間山噴火による軽石に埋没した条里型水田が調査区の大部分で検出された。Fig.64は現地表条里の残存する昭和40年代の都市計画図に As-B 下水田の検出状況を重ねた図である[8]。現地表条里は中世から現代に渡る土地利用を経て残存したもので、調査で検出された平安時代末期当時の条里型水田とは同一に扱えるものではないが、南部拠点地区遺跡群周辺の条里型区画を考える上での参考としたい。

本調査区東側の南部 No. 4から端気川の自然堤防までの間は、北関東自動車道より南は現地表条里が残存している。北関東自動車道より北側の虚空蔵・屋敷東辺りは鶴光路亀里環濠遺構群が形成されたことにより、地割が改変されていると考えられる。端気川より西は現地表条里が残存しており、藤川の手前まで確認できる[9]。本遺跡の現地表条里は確認できず、東西で6町、南北は前田・亀ノ甲あたりから利根川まで確認できない。

南部拠点地区遺跡群周辺の As-B 下水田の検出事例は多く、坪境畦畔は東西方向で12条、南北方向で19条検出されている。下阿内前田遺跡の坪境畦畔から横手南川端遺跡の坪境畦畔まで水田が続いていたと仮定すれば、利根川から端気川の間に東西19町の水田地帯が広がっていたことが推定される。

今回の調査では、東西に4町分、南北に2町分、合計8町分の水田区画が検出された。隣接する調査地と合わせて坪内区画を検討すると、基本的には東西に2分割、南北に5分割した半折型の様相を呈し、それを基本として、地形の傾斜に応じて細かく区画していると考えられる。ただ、B－3区の東西坪境から南側の坪については、微高地部分は削平を受け、低地と微高地の境付近は後世の溝が集中しているため、坪内区画の検討が難しい。また、谷地形が水田区画に対して斜行して入っており、水田に伴う水路の可能性のある溝が検出されている[10]。南部 No. 7のⅡ区においてもこの溝の続きが検出されているが（「1号窪地」）、斜行する溝に対して平行あるいは直行する畦畔が検出されており、区画が変則的となっている。B－4区の東西坪境から南側の坪は、A－3区は微高地で、水田面が削平されていたため水田は確認されなかった。南部 No. 4の1a区はこの坪に隣接する北側の坪を調査しているが、1a区南壁沿いは圃場整備による削平を受けて水田面が残存していなかった。おそらく、A－3区から南部 No. 4の1a区の間は微高地で、後世の削平を受けて水田面が残存していないと推測される。

変則的な畦畔の事例としては、A－1区北東の水田区画を斜行する2条の並走する畦畔である（Fig.10・11）。水田面56の東辺の南北畦畔から2条の畦畔が並走し、水田面133の北東角からはそのまま水田を区画する畦畔となっている。この二重畦畔の高まりは低平であるが、畦畔と認識できるものであった。二重畦畔から南東にかけて、帯状の低地が斜めに入っているため、その範囲の畦畔は低地に対して平行または直行方向に造られている。したがって、この二重畦畔も低地に対応したものと考えられる。類似する二重畦畔の事例としては、南部 No.10のA区で検出されている。また、横手南川端遺跡においても類似する遺構（「A区8号溝・B区4号溝・C区4号溝」）が検出されている。横手南川端遺跡の遺構は規模が大きく、畦畔は低平であるが水口を有し、畦畔に挟まれた溝は深さ20cm前後ある。

今回検出された As-B 下水田に伴う主な水路は、A－1区の南北大畦畔上の W－88である。地形の傾斜から、

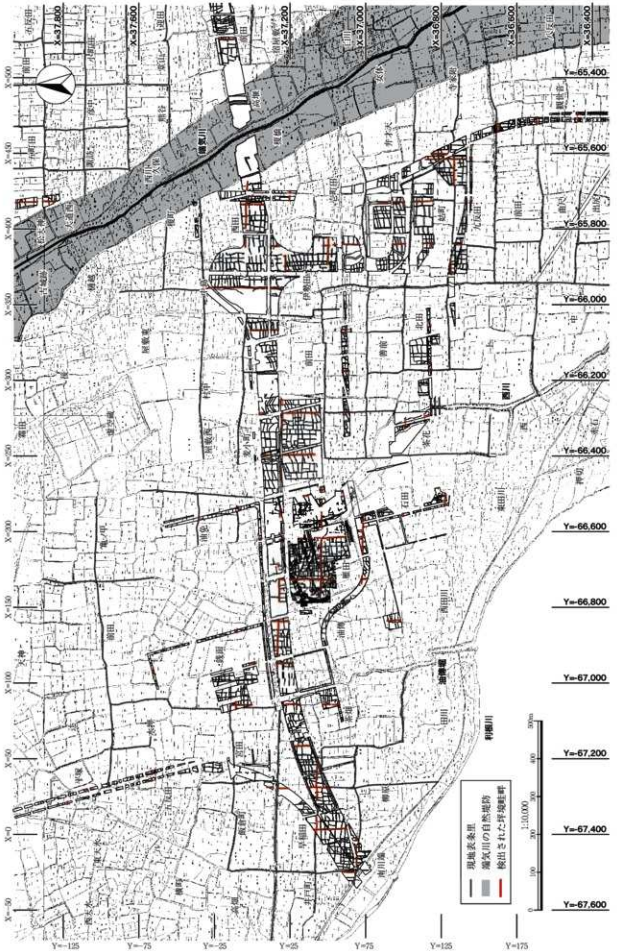


Fig.64　前橋台地南部地域のAs-B下水田

この溝は水口を通じて西側の坪の水田の余水を集める機能をもっていると考えられる。東側の坪へは給排水両方の役割があり、水田面24の水口（断面74）ではW－88から取水し、水田面47の水口（断面100）ではW－88へ排水し、水田面50の水口（断面81）ではW－88から取水していたと考えられる。また、水田面48の南西角は水口はないが畦畔が低平であるため、余水をW－88に配水したようにも見受けられる。この水路をもつ坪境畦畔は、北は横手湯田遺跡のG区で検出され、南は南部No.8のA区で検出されている。調査区外も続くと仮定すると、およそ232mで、2町以上続いていると考えられる。

W－88が坪境畦畔とともに造成されたのに対し、谷地形を利用した水路が、B－1区で検出されたW－13・14、1号窪地で、これらは1条の溝と考えられる。隣接する南部No.10のC区「W－9・12・15」は、溜井状の「X－1号窪地」から始まり1条の溝を成す水田の排水路と指摘されている[20]。本調査区のW－13・14は南部No.10のC区「W－9・12」の間を繋ぐ溝である。「X－1号窪地」から北の先は検出されていないが、等高線を見ると、谷地形の最も低い部分は「X－1号窪地」あたりから西へ傾き、本調査区B－1区北の1号窪地あたりを通っているようである。「X－1号窪地」は溝の屈曲部で、攪乱やW－15に切られているが、西に大きく傾いて1号窪地と繋がると推測される。谷地形を利用したこの水路は、南方の南部No.7のⅡ区（「1号窪地」）、南部No.4の2a区（「11号溝」）、南部No.3の12区南（「落ち込み」）でも検出されている。場所によって幅や深さなど形状が異なるのは、自然の谷地形を利用しているためであろう。B－1区の北に位置する横手湯田遺跡H・I区では、この水路の続きは検出されていない。後世の溝が集中しているため、それらに削平されたと考えられる。

水田の細かな小水路としては、W－43が検出された。この溝は北西端部付近で2条に分かれ、南東方向に向かって水を流している。北西端部は11号窪地・W－44によって削平されており、溝の出発点は不明だが、削平された先に溝の続きは確認できなかったので、重複した箇所から水路は始まっていると考えられる。この溝の南東端部の続きは南部No.11で「1・2号道跡」等として報告されているが、すぐ北側の帯状の低地部分に流れやすくなっている水を、南の水田面にも流れるようにするための水路の役割があったと考えたい。

中世以降について

古代末あるいは中世の早い段階で起きたと考えられる洪水の痕跡、中世以降の溝、耕作痕、道路状遺構、土坑が検出された。洪水跡の観察から、洪水はA－1区では北西から南東方向へ流れたと考えられる。B－1区では、谷地形に影響を受けたためか、南に方向を傾け、およそ北北西から南南東の方向で流れたと考えられる。

先述したように、本遺跡は現地表条里が残存していない。調査では、As-B降下後の溝・耕作痕は多数検出されたが、南北方向の溝の走行軸は東西に約15～20度、東西方向の溝の走行軸は南北に約10～30度ずれており、条里の区画を踏襲するような遺構は検出されなかった。今回の調査地では、As-B降下後、条里の規格は踏襲されず、地形の傾斜に従った区画へと変化したと考えられる。

中世以降、主要な用水路は2箇所に集中している。一つはA－1区調査区西端の溝群（W－11・15～17・19）である。西端の溝群の新旧関係は古い順にW－19→W－17→W－16→W－15→W－11である。W－15は戦後の米軍写真から、現代まで地割として残っていることが確認でき、水路を辿ると端気川から取水していることが確認された。またこの溝群は、油傳と雁田との小字境に位置する。もう一つの用水路はA－3区の溝群（W－96～99）である。溝の新旧関係は古い順にW－99→W－98→W－97→W－96である。北側の南部No.10のC区においてもこれらの溝の続きと考えられる溝（「W－13・16・17」）が検出されている。この溝群の位置は戦後の米軍写真の地割と一致する。また、亀里村と鶴光路村境はこの溝群が境界となっており、現代まで地割が踏襲されてきたといえる。

註

（1）福田　2014
（2）坂口　2013
（3）大庭　2020
（4）財団法人埋蔵文化財調査事業団　2002　『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』
（5）斎藤　2001
（6）財団法人埋蔵文化財調査事業団　2001、2002　『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』
（7）上滝榎町北遺跡の事例と同様のものと考えられる。
（8）この図は南部拠点地区遺跡群 No. 4 報告書第 58 図を基にしている。明治時代の小字については下川澄村誌編纂委員会　1958、萩原進　1981、群馬県史編さん委員会　1991、前橋市南部第二土地改良史編集委員会　1994、昭和 45 年以降の耕地図『下川澄村全図』を参考とした。
（9）前橋市教育委員会　2021
（10）前橋市教育委員会　2014　『南部拠点地区遺跡群 No.10』

参考文献

論文等

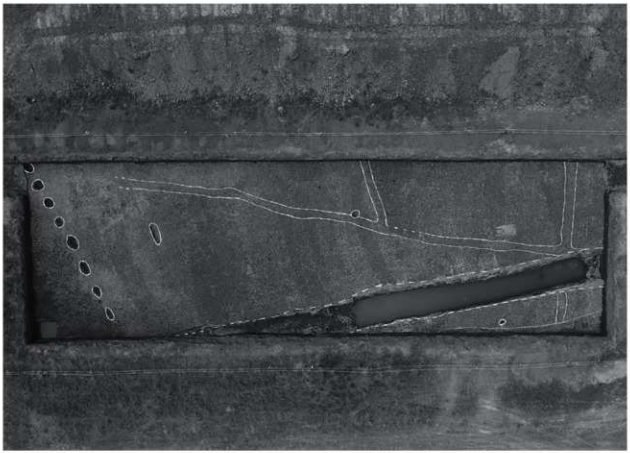
下川澄村誌編纂委員会　1958　『下川澄村誌』　下川澄村誌編纂委員会
萩原進監修　1981　『上野国郡村誌』4 群馬郡（1）　群馬県文化事業振興会
工楽善通　1991　『水田の考古学』東京大学出版会
前南換地研究会　1994　『前南の換地』
前橋市南部第二土地改良史編集委員会　1994　『前橋南部土地改良史』
坂口一　1999　「古墳時代水田における畔つくり過程の復原」『研究紀要』16　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
田口一郎　2000　「北関東西部における S 字状口縁甕の波及と定着」『S 字甕を考える』第 7 回東海考古学フォーラム三重大会事務局
中里　正憲　2000　「砂町遺跡における大畦畔の調査例」　群馬考古学手帳 10
斎藤英敏　2001　「小区画水田・極小区画水田の構造」『研究紀要』19 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
坂口一　2013　「榛名二ツ岳（Hr-FA）・榛名二ツ岳伊香保テフラ（Hr-FP）およびそれらに起因する火山泥流の堆積時間と季節に関する考古学的検討」『第四紀研究』52
福田　聖　2014　『低地遺跡からみた関東地方における古墳時代への変革』　六一書房
大庭重信　2020　「東日本の古墳時代水田畦畔システム」『柳本照男さん古稀記念論集』柳本照男さん古稀記念論集刊行会

発掘調査報告書

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団　2001　『横手平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団　2002　『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団　2002　『上滝榎町北遺跡』
高崎市教育委員会　1981　『元島名将軍塚古墳』
高崎市教育委員会　2022　『萩原・沖中遺跡 9』
前橋市教育委員会　2009　『南部拠点地区遺跡群 No. 1』
前橋市教育委員会　2009　『南部拠点地区遺跡群 No. 2』
前橋市教育委員会　2010　『南部拠点地区遺跡群 No. 3』
前橋市教育委員会　2010　『南部拠点地区遺跡群 No. 4』
前橋市教育委員会　2010　『南部拠点地区遺跡群 No. 5』
前橋市教育委員会　2011　『南部拠点地区遺跡群 No. 6』
前橋市教育委員会　2014　『南部拠点地区遺跡群 No. 7』
前橋市教育委員会　2014　『南部拠点地区遺跡群 No. 8』
前橋市教育委員会　2014　『南部拠点地区遺跡群 No. 9』
前橋市教育委員会　2014　『南部拠点地区遺跡群 No.10』
前橋市教育委員会　2014　『南部拠点地区遺跡群 No.11』
前橋市教育委員会　2021　『西善福録遺跡』
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1998　『横手湯田Ⅲ遺跡・笹丸仲田Ⅱ遺跡・西善尺司Ⅱ遺跡・下増田越渡Ⅲ遺跡』

写真図版

南部拠点地区遺跡群周辺景観
USA-R1250-38（1948年撮影）

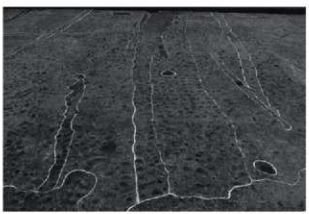


A－2区１面全景（上が西）

A－3区１面全景（北西から）

A－1区W－1・93号溝（北西部分）全景（南西から）

A－1区W－2号溝全景（南西から）



A－1区W－3・6・20号溝・工具痕全景（南から）

A－1区W－5号溝全景（南から）

A－1区W－8号溝全景（東から）

A－1区W－9号溝全景（北東から）

A－1区W－10号溝全景（東から）

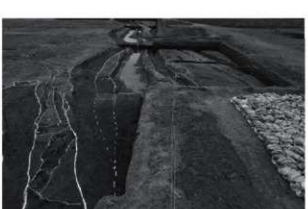
A－1区W－11号溝全景（北から）

A－1区西端溝群全景（上が西）

A－1区W－14号溝全景（北から）

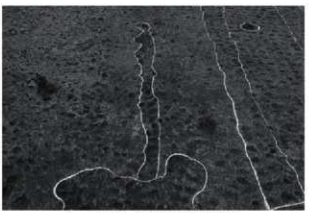
A－1区W－15号溝木杭列検出状況（南から）

A－1区W－15～17・19号溝全景（南から）



A－1区W－15～17・19号溝全景（北から）

A－1区W－16～19・89・90号溝全景（北から）



A－1区W－20号溝全景（南から）

A－1区W－21・30号溝全景（東から）

A－1区W－21・35号溝全景（北西から）

A－1区W－26・27号溝全景（南西から）

A－1区W－34号溝全景（南東から）

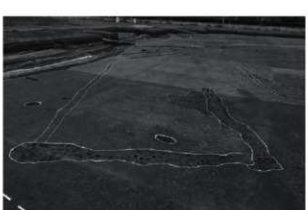
A－1区W－34・46号溝全景（北西から）

A－1区W－37～39号溝全景（南西から）

A－1区W－33・44号溝全景（上が北）

A－1区W－42・53号溝全景（南から）

A－1区W－45号溝全景（南東から）



A－1区W－48・49号溝全景（南東から）

A－1区W－51号溝全景（南から）

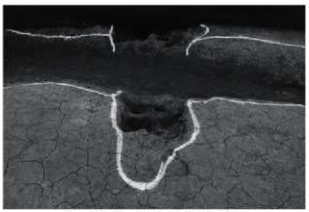
PL.6

A－1区W－56号溝全景（南東から）

A－1区W－57・58号溝・8号窪地全景（北から）

A－1区W－59～61号溝・7号窪地全景（北から）

A－1区W－65号溝全景（西から）



A－1区W－72号溝全景（東から）

A－2区W－73号溝全景（南から）

A－1区W－75号溝全景（南西から）

A－1区W－77～79号溝全景（北から）

A－3区W－96～99号溝全景（南東から）

A－1区1号窪地全景（東から）

A－1区2号窪地全景（北東から）

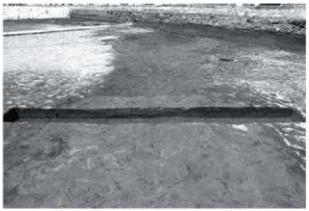
A－1区4号窪地全景（南西から）

A－1区5号窪地全景（北西から）

A－1区6・10号窪地全景（東から）

A－1区11号窪地全景（西から）

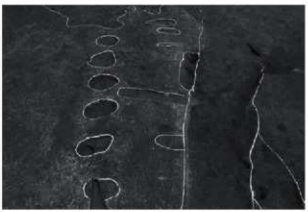
A－1区12号窪地全景（南東から）



A－１区13号窯地断面223（南東から）

A－１区13号窯地全景（南東から）

A－１区14号窯地全景（南東から）



A－１区A－１号道路状遺構全景（南西から）

A－１区D－93号土坑全景（東から）

A－１区D－210号土坑礫検出状況（東から）

A－２区D－230～236・238号土坑全景（北東から）

A－２区D－238号土坑断面（南東から）

A－1区As-B下水田南北坪境畦畔周辺全景（南から）

A－1区As-B下水田畦畔断面8（南から）

A－1区As-B下水田畦畔断面41（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面72～75）全景（南から）

A－1区As-B下水田水口（断面76）全景（南から）

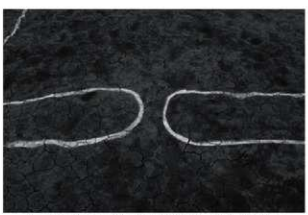
A－1区As-B下水田水口（断面77～79）全景（南から）

A－1区As-B下水田水口（断面80）全景（南から）

A－1区As-B下水田水口（断面81）全景（南から）

A－1区As-B下水田水口（断面82）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面83）全景（南から）


A－1区As-B下水田水口（断面84）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面85）全景（北から）

A－1区As-B下水田水口（断面86）全景（南から）

A－1区As-B下水田水口（断面87）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面88）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面89）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面90）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面91）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面92）全景（北西から）

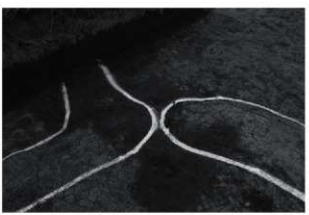
A－1区As-B下水田水口（断面93）全景（西から）

A－1区As-B下水田水口（断面94）全景（南から）

A－1区As-B下水田水口（断面95）全景（北西から）

A－1区As-B下水田水口（断面96）全景（北西から）

A－1区As-B下水田水口（断面97）全景（西から）


A－1区As-B下水田水口（断面98）全景（北西から）

A－1区As-B下水田水口（断面99）全景（南東から）

A－1区As-B下水田水口（断面100）全景（南から）

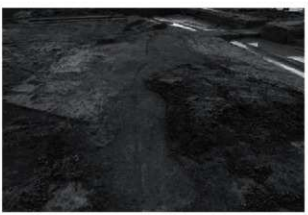
A－1区北東As-B下水田置石検出状況（南から）

A－1区W－43号溝全景（北西から）

A－1区W－88号溝全景（南から）

A－1区W－22号溝全景（南から）

A－1区W－71号溝全景（南西から）



A－1区W－94・95号溝全景（北から）

A－1区8号トレンチ断面（南から）

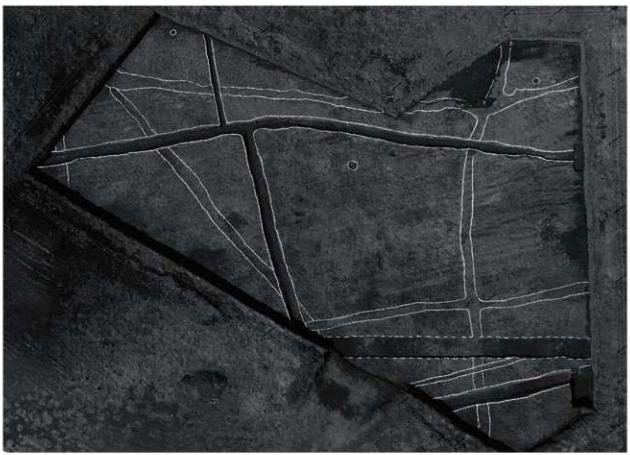
A－1区9号トレンチ断面（南から）

A－1区9号トレンチ全景（西から）

A－1区作業風景（東から）

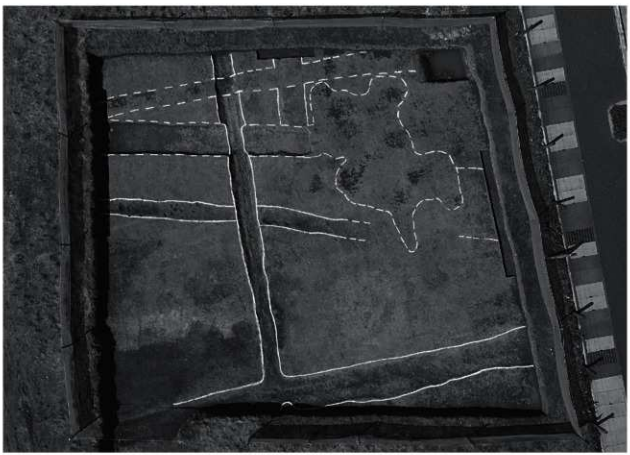
B－1区1面全景（上が北）

B－1区2面全景（上が北）



B－2区1面全景（上が北）

B－3区1面全景（上が西）



B－4区1面全景（上が北）

B－4区W－1号溝全景（北から）

B－3区W－2・5号溝全景（西から）

B－3区W－3・4号溝全景（西から）

B－2区W－6号溝全景（西から）

B－2区W－9号溝全景（北東から）

B－1区W－15号溝全景（東から）

B－1区2号窪地全景（北西から）

B－1区3・4号窪地全景（北から）

B－1区5号窪地全景（北西から）

B－1区6号窪地全景（北から）

B－1区As-B下水田東西坪境畦畔全景（東から）

B－4区As-B下水田東西坪境畦畔・W－4号溝全景（西から）

B－1区As-B下水田畦畔断面7（東から）

B－2区W－8号溝全景（東から）

B－1区W－13号溝全景（北から）

B－1区W－14号溝全景（北から）

B－1区1号窪地全景（北東から）

B－1区W－17号溝全景（北から）

B－1区W－17・19・24・25・30号溝全景（南から）

B－1区W－18号溝全景（北から）

B－1区W－18・21号溝全景（南から）

B－1区W－20号溝全景（南から）

B－1区W－22号溝断面8（西から）

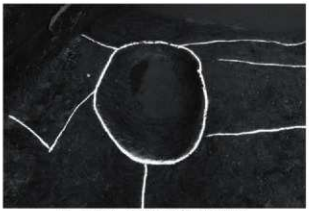
B－1区W－27号溝全景（南から）

B－1区W－28号溝全景（南から）

B－1区W－29号溝全景（東から）

B－3区D－3号土坑全景（西から）

B－1区D－5号土坑全景（東から）



B－1区D－6号土坑全景（西から）

B－3区2面確認トレンチ全景（南から）

A－1区
W－2－1

A－1区
W－44－1（1/2）

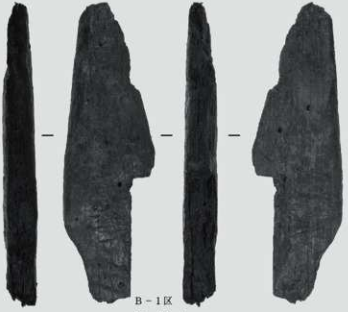
B－1区
W－23－1

B－1区
W－21－1

B－1区
W－23－2

B－1区
W－21－2

B－1区
W－23－3



B－1区
W－23－4

B－1区
D－5－1

B－1区
Hr-FA 洪水層下水田－1

B－1区
遺構外－1（1/4）

B－1区
遺構外－2（1/4）

B－1区
遺構外－3（1/4）

報告書抄録

カタカナ	ナンブキョテンチクイセキグンNo.12
書名	南部拠点地区遺跡群No.12
副書名	店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書No.12
巻次	－
シリーズ名	－
シリーズ番号	－
編著者名	並木史一・茂木佑輔
編集機関	技研コンサル株式会社
編集機関所在地	〒371－0033　群馬県前橋市国領町２丁目21番12号
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒371－0853　群馬県前橋市総社町３丁目11番地４
発行年月日	2022年10月31日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	位置 北緯	位置 東経	調査期間	調査面積	調査原因
ナンブキョテンチクイセキグン 南部拠点地区遺跡群 No.12 マエバシシ イセキ （前橋市0379遺跡）	マエバシシカメサトマチ 前橋市亀里町2008	102021	3 G 76	36°19′56	139°05′26	20220318 / 20220629	18,011㎡	店舗建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ナンブキョテンチクイセキグン 南部拠点地区遺跡群 No.12 マエバシシ イセキ （前橋市0379遺跡）	集落 生産 その他	古墳時代 奈良時代 平安時代 中・近世	As-B下水田 Hr-FA洪水層下水田 周溝状遺構　1基 溝　127条 土坑　270基 窪地　22基	須恵器・土師器 陶磁器 銅製品（煙管）	古墳時代前期の周溝状遺構。 ６世紀初頭の榛名山噴火を起因とする洪水堆積物に覆われた水田跡。 1108年の浅間山噴火によるAs-Bに覆われた条里型水田。

南部拠点地区遺跡群No.12

店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書No.12

2022年10月14日　印刷
2022年10月31日　発行

発行　前橋市教育委員会事務局文化財保護課
〒371－0018　群馬県前橋市総社町３丁目11番地４
TEL　027-280-6511

編集　技研コンサル株式会社
印刷　朝日印刷工業株式会社